山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第２６５集

はち　まん　じん　じゃ

八幡神社遺跡

研究棟建設事業に伴う発掘調査報告書

２０１０．３
山梨県教育委員会
山 梨 県 企 画 部

はち　まん　じん　じゃ

八幡神社遺跡

研究棟建設事業に伴う発掘調査報告書

２０１０．３
山梨県教育委員会
山 梨 県 企 画 部

八幡神社遺跡の概要

八幡神社遺跡は、甲府市宮前町にあり、八幡神社の境内を中心とした遺跡です。以前より、縄文時代の遺物が散布していることが知られていました。

今回、山梨大学の研究棟建設事業に伴い、発掘調査がされたのは、神社の境内の東側でした。調査前は，県の部長宿舎が数棟建っていました。2008 年の 7 月から 9 月に発掘調査が行われました。その結果、旧石器時代から近代までのたくさんの遺物が出土しました。

八幡神社

旧石器時代

旧石器時代では、約 23,000 年前の石器が 4 点発見されました。ナイフ型石器 2 点と切出形石器 1 点、縦長剥片 1 点です。これまでこの近くでは、旧石器時代の遺跡が発見されていませんでしたが、今回の発見により、まだ知られていない旧石器時代の遺跡が他にもある可能性が大きくなりました。

縄文時代

縄文時代では、住居跡は発見されませんでしたが、埋甕 1 基とピットが発見され、また早期から中期までの土器片 3,000 点以上と土偶 3 点、黒曜石等が 10,000 点以上発見されました。土器は、中期中葉から後葉が中心となります。土偶 3 点はいずれも包含層中からの出土でした。石器の中では、特に石鏃が 180 点出土していることが、注目されます。また剥片も多く、石器を製作していた場所である可能性があります。このような石器は黒曜石だけではなく、水晶やジャスパーまたチャートなどの石材でも作られています。

古墳時代

発掘調査をしている時に、須恵器がまとまって出土しました。しかし、どのようなまとまりかたをしているのか、また、器形がどのようなものかは、わかりませんでした。整理をしていく中で、まず須恵器の甕がありました。そして、提瓶（さげべ・またはていへい）と呼ばれる、現代でいう水筒のような使われ方をした容器がありました。また環（かん）と呼ばれる青銅製の耳飾りが出土しており、これには金箔が施されていたことがわかりました。これらの他に土師器と呼ばれる素焼きの土器で、坏と高坏がありました。これらの遺物は、環をほぼ中心にして直径約 10 mの範囲に帯状に巡っていることがわかりました（第 50 図）。以上のことから、この場所に、古墳時代後期の円墳があったことがわかりました。近くには、

古墳時代の須恵器・堤瓶

古墳時代の環（金箔）

山八幡古墳という円墳などもあったことが知られています（第 51 図）。

平安時代以降

平安時代の遺物は、2 号溝から出土した土師器の坏 1 点です。八幡神社遺跡の北に山梨大学遺跡という奈良・平安時代の遺跡があるので、この近くにも遺跡があることが考えられます。

中世には、武田城下町遺跡の北東端に位置します。しかし中世の遺物は、素焼きの皿や鉢と青磁（写真図版 12）が出土しただけです。皿の中には、灯明皿として使われていたために、煤が付着しているものもありました。青磁は 15 世紀頃の所産です。

近世は、素焼きの鉢と灯明皿に使われていた陶器の皿の 2 点が出土しました。今回調査した場所には、近世の絵図などに長谷寺または大野寺とかかれた寺が記載されていたために、参道などの寺に関連した遺構や遺物のことも念頭において調査を行いましたが、発見することはできませんでした。

第二次世界大戦中とおもわれる遺物が、数点出土しました（写真図版 12）。調査区の中には、甲府大空襲の時の焼土と思われる層が部分的に残っていました。八幡神社はこの空襲で消失しました。国民食器と呼ばれる丼、口縁に 2 本の緑の線があることと、底面に統制番号である「岐　1.066」とあることが特徴です。また陶器の卸皿は、金属の代用品として使われていたものです。玩具の中にも、ガラス製の石蹴り（直径 5㎝）で、「忠勇」とあるものがあります。

この他に玩具には、碁石、ガラス製おはじき（直径約 1.7 ～ 3.1cm）などがありました（写真図版 12）。

以上のようなことから、八幡神社遺跡は、縄文時代の遺跡としてだけではなく、幅広い時代にまたがった遺跡であることが新たに確認されました。

現在の八幡神社遺跡（調査区）

序

本報告書は山梨大学の研究棟建設に伴い、平成 21 年 7 月～ 9 月にかけて発掘調査した甲府市宮前町に所在する八幡神社遺跡について、その成果をまとめたものです。

八幡神社は近世には甲斐惣八幡宮とも呼ばれ、境内の東隣には大野寺（または長谷寺）もあったことが知られています。

かつて、境内地から土偶が出土したことが報告され、また甲府市の分布図には古墳が存在した記録もあります。

発掘調査は八幡神社の東側にあたる県の施設があった場所の内約２０００㎡を対象として実施しました。遺物は旧石器時代、縄文時代、古墳時代、平安時代、中・近世のものが出土しました。特に縄文時代では黒曜石、水晶、チャート、ジャスパーなどの剥片が多量に出土しており、石鏃などの製作跡の存在が推定されます。なお、旧石器時代のナイフ形石器も縄文人によって石材として持ち込まれた可能性があります。また土偶も 3 点出土し、本県が縄文中期の土偶の出土量が最も多い地域であることを裏付けています。

古墳時代の出土遺物は提瓶と金環ですが、遺物の分布からかつて古墳が存在したことが明らかになりました。以前の分布調査の記録を検討すると、古墳時代後期の円墳が複数存在した可能性があり、今後も注意深く見守っていく必要があります。

甲府市にあって市街化が進んでいるなかで、神社の境内地とその周辺の市街化を免れた地域にあって、旧石器時代から近世に至る遺構・遺物を発見したことは地域の歴史を明らかにするために有意義であると思われます。その意味において、今後ともこの報告書が活用されることを願っております。

末筆となりましたが、ご協力を賜った関係機関各位、並びに直接調査に当たられた皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

2010 年 3 月

山梨県埋蔵文化財センター
所長　　小野　正文

例言

1　本書は、山梨県甲府市宮前町６－４３に所在する八幡神社遺跡の発掘調査報告書である。
2　調査は山梨県企画部の依頼を教育委員会が受けて、埋蔵文化財センターが実施した。
3　発掘調査は平成 20 年 7 月 1 日～ 10 月 10 日、基礎的整理作業は平成 21 年 2 月 12 日～ 3 月 27 日、本格的整理作業は平成 21 年 7 月 13 日～平成 22 年 1 月 15 日まで行った。
4　本書の編集は田口明子が行った。執筆は、第 3 章第 2 節は保坂康夫が行い、それ以外は田口が行った。
5　本書に掲載した発掘現場での写真は、田口明子・正木季洋、遺物写真は、石器の一部を株式会社シン技術コンサルに委託し、他を田口が撮影した。
6　発掘調査時のグリッド杭・標高杭設定は、株式会社一瀬調査設計に委託した。
7　発掘調査時の遺構・遺物出土位置の光波測距儀による測量および整理・報告書作成時のデータ管理・出力には、株式会社シン技術コンサルのコンピュータシステム「遺跡管理システム 2000」を使用した。
8　水晶製石器の写真・実測・トレースと小形石器の写真と一部の素図作成は、株式会社シン技術コンサルに委託した。
9　旧石器の実測・トレース及び、原稿執筆は、県立考古博物館保坂康夫学芸課長に依頼した。また、縄文時代等の石器の分類、石材の同定もお願いした。
10　発掘調査および報告書作成にあたって下記の方々からご協力をいただいた。記して謝意を表したい。
甲府市教育委員会　水上道子　石岡有希（県立韮崎高等学校）　内田　圭（県立白根高等学校）　若林允文（身延町立中富中学校）　藤巻浩太郎（韮崎市立韮崎西中学校）　新津みどり　末木　健　石神孝子
11　本書にかかわる出土品および図面、写真は、山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センターが保管している。

凡例

1　遺構・遺物の縮尺は各図中に示した。
2　グリッド設定は、世界測地系の座標に基づいている。座標値は第 3 図に示した。
3　図中の方位は、第 1・2 図以外は真北を示す。
4　遺構の縮尺は全体図の平面図が 1 ／ 500、土層図は 1 ／ 80、埋甕・土坑は 1 ／ 30、溝は平面図が 1 ／ 30、土層図が 1 ／ 60 である。遺物は 1 ／ 3 を基本とするが、旧石器・小形の石器等原寸にしたものがある。それぞれ図中にスケールを付けた。
5　遺構図の土層図等のポイント横にある数値は標高を示す。
6　遺物図版中の拓影は、断面の左側に外面、右側に内面を掲載した。また断面黒色は須恵器を示す。石器実測図の網掛けは磨面範囲を表す。
7　写真図版の縮尺は統一されていない。
8　土層と土器の色は農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版　標準土色帖』2001・2008 年版を使用した。
9　観察表中の（　）は現存値、〔　〕は推定値を示す。

目　次

序
八幡神社遺跡の概要
目次
例言・凡例
第１章　調査に至る経緯と経過
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　発掘調査の経過 …… 1
　第３節　整理調査の経過 …… 2
　第４節　調査組織 …… 2
第２章　　遺跡の環境
　第１節　地理的環境 …… 3
　第２節　歴史的環境 …… 3
第３章　　調査の成果
　第１節　基本層序 …… 3
　第２節　旧石器時代 …… 4
　第３節　縄文時代以降 …… 5
　　１　遺構 …… 5
　　２　遺物 …… 6
　　３　遺物分布 …… 6
第４章　まとめ …… 6

挿図目次

第 1 図　調査範囲（S＝1/2000）
第 2 図　試掘トレンチ位置図（S＝1/1000）
第 3 図　全体図（S＝1/500）
第 4 図　基本層序（S＝1/80）
第 5 図　旧石器時代の石器（S＝1/1）
第 6 図　１号埋甕・4 ～ 8 号ピット（S＝1/30）
第 7 図　１号溝（S＝1/60・1/30）
第 8 図　1～3号ピット・2号溝（S＝1/60・1/30）
第 9 図　遺構出土土器 (1)
第 10 図　遺構出土土器 (2)
第 11 図　遺構外出土縄文土器 (1)
第 12 図　遺構外出土縄文土器 (2)
第 13 図　遺構外出土縄文土器 (3)
第 14 図　遺構外出土縄文土器 (4)
第 15 図　遺構外出土縄文土器 (5)
第 16 図　遺構外出土縄文土器 (6)
第 17 図　遺構外出土縄文土器 (7)
第 18 図　遺構外出土縄文土器 (8)
第 19 図　遺構外出土縄文土器 (9)
第 20 図　遺構外出土縄文土器 (10)
第 21 図　遺構外出土縄文土器 (11)
第 22 図　遺構外出土縄文土器 (12)
第 23 図　遺構外出土縄文土器 (13)
第 24 図　台付土器
第 25 図　土製円盤
第 26 図　土偶
第 27 図　１号溝出土石器
第 28 図　遺構外出土石器 (1)
第 29 図　遺構外出土石器 (2)
第 30 図　遺構外出土石器 (3)
第 31 図　遺構外出土石器 (4)
第 32 図　遺構外出土石器 (5)
第 33 図　遺構外出土石器 (6)
第 34 図　遺構外出土石器 (7)

第 35 図　遺構外出土石器 (8)
第 36 図　遺構外出土石器 (9)
第 37 図　遺構外出土石器 (10)
第 38 図　遺構外出土石器 (11)
第 39 図　遺構外出土石器 (12)
第 40 図　遺構外出土石器 (13)
第 41 図　遺構外出土石器 (14)
第 42 図　遺構外出土石器 (15)
第 43 図　遺構外出土石器 (16)
第 44 図　遺構外出土石器 (17)
第 45 図　古墳時代出土遺物 (1)
第 46 図　古墳時代出土遺物 (2)
第 47 図　中世以降出土遺物
第 48 図　旧石器・縄文石器分布図
第 49 図　縄文土器分布図
第 50 図　古墳時代遺物分布図
第 51 図　周辺の遺跡（Ｓ＝１／25,000）

写真図版目次

写真図版１　１．調査前全景（南から）　２．調査区全景（南から）
写真図版２　１．Ｄ－ 11 北壁セクション　２．Ａ～Ｄ－４・５西壁セクション
写真図版３　１．Ｆ－３・４西壁セクション　２．１号埋甕検出状況　３．１号埋甕崩落状況
４．１号埋甕セクション　５．１号埋甕内土完掘状況
写真図版４　１．１号ピットセクション　２．２号ピットセクション　３．１・２号ピット完掘
４．３号ピットセクション　５．３号ピット完掘　６．４号ピットセクション
７．４号ピット完掘
写真図版５　１．５号ピットセクション　２．５号ピット遺物出土状況　３．５号ピット完掘
４．６号ピットセクション　５．６号ピット遺物出土状況　６．６号ピット完掘
７．７号ピットセクション　８．７号ピット完掘
写真図版６　１．８号ピットセクション　２．８号ピット完掘　３．１号溝セクション
４．１号溝中央部遺物出土状況　５．１号溝完掘
写真図版７　１．２号溝セクション　２．２号溝遺物出土状況　３．２号溝完掘
写真図版８　１．Ｃ～Ｅ－ 10・11 遺物出土状況　２．Ｂ～Ｄ－５～９遺物出土状況
写真図版９　１．Ｆ・Ｇ－４～７遺物出土状況　２．土偶１出土状況　３．土偶３出土状況
４．Ｃ－６須恵器出土状況
写真図版 10　１．旧石器　２．縄文土器・繊維（6 ピット・1 溝）　３．縄文土器・繊維
４．縄文土器・押型文　５．１号埋甕　６．５号ピット出土土器（１）
７．５号ピット出土土器（２）
写真図版 11　１．土偶１（正面）　２．土偶１（裏面）　３．土偶１（下面）　４．土偶１（上面）
５．土偶１（側面）６．土偶２（左：正面）・(右：下面）　７．土偶３（正面）
８．土偶３（上面）
写真図版 12　１．石鏃（黒曜石）　２．石鏃（左：ジャスパー）・(右：水晶）　３．石匙（ジャスパー）
４．掻器（黄玉石）　５．須恵器・提瓶　６．環（金箔）　７．青磁（Ｉ－３）
８．碁石（左：1 号ピット・右：Ｅ－ 15）　９．ガラス・おはじき（東側調査区・試掘５トレンチ）
10．国民食器・丼（岐　1.066）（Ｍ－４撹乱）　11．陶器・卸皿（Ｅ・Ｆ－ 10）
12．ガラス・石蹴り（東側調査区）

第１章　調査に至る経緯と経過

第１節　調査に至る経緯（第２図）

八幡神社遺跡は、1997（平成 9）年に、甲府市教育委員会が、個人住宅建設のための試掘調査を行ったが、1945（昭和 20）年の甲府空襲の火災による焼土層が発見されたのみで、それ以前の遺構・遺物は、発見されなかった。その後、2000（平成 12）年に、知事公舎駐車場整備事業に伴う試掘調査を山梨県埋蔵文化財センターが行い、不定形の落ち込み１基と古代以降の土師器片が発見されている。

また、それ以前の 1993（平成 5）年に八幡神社の境内で、縄文時代中期の土偶が表面採集されて、小野正文により紹介されている。この土偶は頭部と両腕が欠損している。

今回の発掘調査は、燃料電池研究開発関連事業に伴い研究棟建設のために、2008（平成 20）年 5 月 8 日～12 日に試掘調査を実施したところ、溝状遺構１条と縄文時代の土器・石器、平安時代の土師器、近代の陶磁器片等が確認された。これにもとづき協議を行い本調査が実施された。

本調査は 2008 年 7 月 1 日から 10 月 10 日、基礎的整理作業は 2009 年 2 月 12 日から 3 月 27 日、報告書作成のための本格的整理作業は、2009 年 7 月 13 日から 2010 年 1 月 15 日まで、山梨県埋蔵文化財センターが行った。

八幡神社遺跡の発掘調査に関わる法的手続きは以下のとおりである。

2008（平成 20）年 6 月 24 日　文化財保護法第 99 条第 1 項の規定による発掘調査の報告を山梨県教育委員会教育長に提出。

2008（平成 20）年 10 月 14 日　文化財保護法第 100 条第 2 項の規定による埋蔵文化財の発見の通知を山梨県教育委員会教育長に提出し、甲府警察署長への通知を依頼。

引用文献

小野正文（1995）「甲府市八幡神社採集の縄文土偶」『研究紀要』11　山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター

山梨県埋蔵文化財センター（2001）『年報』17　2000 年度

甲府市教育委員会（2007）『甲府市内遺跡Ⅳ－平成 9 ～ 10 年度試掘調査報告書－』甲府市文化財調査報告 35

山梨県教育委員会（2009）『山梨県内分布調査報告書（平成 20 年 1 月～ 12 月）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 263 集

第２節　発掘調査の経過

1. 立会い調査（第１図）

本調査に先立ち、既存の建物基礎を撤去し、あわせて西側調査区南側の発掘調査範囲を確定するための立会調査が、2008（平成 20）年 6 月 17 日から 19 日にかけて行われた。

6 月 17 日には、西側調査区北端の立会いを行った。建物基礎の周囲を掘削してあり、その土の中に縄文時代中期の土器片が発見された。その後、東側調査区北端との境にあるコンクリート撤去の立会いを行ったが、現地表下約 0.3 ｍの掘削では、遺構・遺物は発見されなかった。

6 月 18 日は、西側調査区の北から 2 区画目の立会いを行った。土器片 1 が出土した。

6 月 19 日は、西側調査区の北から 3･4 区画目の立会いを行い、縄文土器片と土師器片が発見された。その後、5 区画目の立会いを行ったが、遺構・遺物は無く基礎の下は、水田の床土のように鉄分を多く含んだ層であった。以上のことから、本調査の範囲を西側調査区では、北から 4 区画目までとした。

2. 調査期間

発掘調査は、2008（平成 20）年 7 月 1 日から開始し、10 月 10 日に終了した。重機による表土剥ぎ取りは、2 回行った。1 回目は東側調査区で、7 月 1 日から 7 月 3 日、2 回目は西側調査区で、8 月 12 日から 8 月 22 日まで行った。埋め戻しは、道の西側北から 3 区画目より南側のみ行い、10 月 2 日から 10 月 10 日まで実施した。

3. 調査区について（第 1 図）

調査区は、道を挟んで東側と西側に分かれる。西側は宅地の区画が 4 区画あり、グリッドの設定前は北から何区画目かで大まかに呼称した。

4. グリッドの設定（第 3 図）

世界測地系の座標にあわせた、5 m四方のグリッドを設定し、調査区全体を南北は北からＡ～Ｏ、東西は西から 1 ～ 18 としたが、1 は調査区外である。Ａ・Ｂ－ 5・6 杭は、Ｘ＝－ 36080、Y=6885、Ｍ・Ｎ－ 5・6 杭は、Ｘ＝－ 36140、Y=6885 である。

5. 遺物出土位置の記録

土器片は、500 円玉より大きいものについては、光波測距儀とハンドコンピューターにより、Ｘ・Ｙ・Ｚ座標の位置を記録し、石器は、出土位置が確実なものについては同様に位置を記録した。番号は、土器･土師器（P)・陶磁器（TOU）・須恵器（SUE）・土偶（DO）・黒曜石（OB）・チャート（CH）・水晶（CR）・ジャスパー（J）・打製石斧（G）・磨製石斧（MA）・磨石類（SU）・環（KIN）等の種類ごとに通し番号を付けた。遺構から出土したものは、種類ごとに各遺構で通し番号を付けた。表土より出土したもの、また位置が不明のもの、500 円玉より小さい土器片などはグリッド一括等で取り上げた。

6. 遺構の測量

光波測距儀とハンドコンピューターによる座標位置の記録と平行して、平板測量と微細図の実測を行った。

第 3 節　整理調査の経過

１．整理期間

2009（平成 21）年 2 月 12 日から 2010 年 1 月 15 日まで実施した。

２．遺物の整理

出土遺物は、プラスティックコンテナ約 22 箱あり、その内約 4 箱が、黒曜石等の石器類であった。土器・石器ともに、水洗作業を最初に行った。遺跡の土壌が粘土のため、通常の約 4 倍の時間がかかった。そのため、注記作業は､一部のものだけに行い､接合･分類作業を行った。注記は､「八幡神社 A-1P1」のようにした。土器類は、土壌の性質のために、全てボロボロで摩耗している。そのため、接合はあまりできず、接合できたものは、１ｍ以内の破片同士であった。一部の土器等は、補強のために石膏を充填した。

黒曜石等は、超音波洗浄機で水洗し、水洗時に種類がわかったものはピックアップした。その後、最大長が 2 ㎝より大きいもの、1㎝より大きく 2㎝以下のもの、1㎝以下の 3 つに分けた。その内 2㎝より大きいものを保坂康夫が分類した。

第 4 節　調査組織

調査主体　山梨県教育委員会

調査機関　山梨県埋蔵文化財センター

2000（平成 12）年度試掘調査　担当：小林広和・小林公治

2008（平成 20）年度試掘調査　担当：田口明子・正木季洋

作業員：小菅春江・鮫田勝男・千野富子

2008（平成 20）年度発掘調査　担当：田口明子・正木季洋

作業員：荒木昭彦・鶴田久美・波木井祥和・古屋袈裟男・前島和代・横内光夫・松野達夫・保坂悌司・新津正大・手塚能成・塩釜大輔・青木卓也・高柳昌弘・輿石渓

2008（平成 20）年度基礎的整理作業　担当：田口明子・正木季洋

作業員：横内光夫・新津正大・手塚能成・塩釜大輔・青木卓也・高柳昌弘

2009（平成 21）年度本格的整理作業　担当：田口明子

作業員：斉藤律子・新津多恵・新津みどり

第２章　遺跡の環境（第 51 図）

第１節　地理的環境

本遺跡は甲府駅の北北東約 600 ｍに位置する。相川扇状地の東端の扇央部付近にある。相川扇状地は、下積翠寺付近を扇頂とし、扇状地の西縁を相川が南流する。東側は岩窪山に発源する藤川が流れ、扇状地面を中流部で深く侵食している。調査区は南に緩やかに傾斜し、標高約 297 ｍである。東側には藤川が南流している。西側は八幡神社の境内である。今回の調査区のすぐ北側には、元知事公舎が建っているが、西側の八幡神社敷地をみても、そこが一段高いテラス状になっているので、そのあたりに遺跡の中心がある可能性が予想される。

第２節　歴史的環境

遺跡の名前となった八幡神社は、武田信虎が居館を石和から甲府に移転した時に、石和八幡神社を躑躅ヶ崎館の西隣に勧請した府中八幡神社（現在、相川小学校の西に所在）が元となる。これを江戸時代、甲府城が築城された後、現在の宮前町の地に遷座されたものである。

調査地点は、永禄年中（1558 ～ 1570 年）に長谷寺（または大野寺）という真言宗寺院が創建された場所である。この寺は、1849（嘉永 2）年『懐宝甲府絵図』に表記されているが、それ以後記録が認められない。調査前、東側調査区は、樹木のある空き地であったが、西側調査区には、1960（昭和 35）年に建てられた県の部長宿舎があった。

相川扇状地の扇央部から扇端部にかけては、縄文時代の遺跡は大手下遺跡（8）・緑ヶ丘２丁目遺跡（10）が知られているにすぎない。また甲府市北部の山麓には、古墳が多いことが知られている。本遺跡の北西には、山八幡古墳（2）、北には、うなり塚古墳（3）・コツ塚古墳（4）が存在していた。山八幡古墳については、第 51 図では、甲府市教委委員会（1986）に記載されている位置にドットを落としたが、この時の地目は「神社」となっている。また、若林ほか（1965）の図によると八幡神社の裏山にドットがあり、封土、石室若干残るとなっており、地形は南面傾斜地とある。そして甲府市役所（1991）では消滅とされている。山八幡古墳という名称からも、実際の位置は八幡神社の裏山（八幡山）にあったと考えられるのではないだろうか。

引用文献

若林信一ほか（1965）「甲府市北東部山地の古墳分布一覧表（2）」『富士国立公園博物館研究報告第 13 号』
上原常治（1967）「甲府市北部の古墳と遺物について」『甲斐考古』7
竹内理三編（1984）『角川日本地名大辞典　19　山梨県』
甲府市教育委員会（1986）『甲府市の遺跡　～甲府市内遺跡詳細分布調査報告書～』
甲府市役所（1991）『甲府市史　通史編　第一巻』原始・古代・中世

第３章　調査の成果

第１節　基本層序（第４図）

西側調査区のＢ～Ｄ－５～９と東側調査区のＤ－ 10・11 に厚い包含層が確認された。また、西側調査区の大部分は撹乱を受けていた。西側調査区最北端では、現地表から 0．２～１ｍは盛土（1・2 層）で、南に行くほど厚く堆積する。盛土の下に甲府空襲の際の焼土層（3 層）が部分的にみられるが、調査区内にはほとんどみられなかった。遺物包含層は４・5 層だが、４層が主体となる。西側調査区の北から２区画目では、表土（1 層）が約 0．３～ 0．４ｍあり、その下（2 層）に最北端の 5 層に対応する遺物包含層がみられる。3 区画目以南の区画でもこれと同層が認められる。東側調査区Ｄ－ 11 北壁では、表土（1 ～ 3 層）が約 0．３～ 0．４ｍあり、その

下に遺物包含層（4・5層）がみられた。西側調査区最北端の4・5層に対応する。遺物観察表の層位は、1が最北端の4層、2が最北端の5層、3が遺構覆土を示している。

第2節　旧石器時代（第5図）

八幡神社遺跡出土の石製品をすべて観察した結果、4点の旧石器時代石器を確認した。

第5図1（D-7OB9032）は、二側縁加工ナイフ形石器である。素材は縦長剥片と思われるが、比較的厚手であり、縦半分を二次加工によって大きく切り取られているため、石刃であったかは確認できない。素材背面の剥離はいずれも大きい剥離で、主剥離とほぼ同一方向である。素材打点側を基部とし、正面右側縁に素材刃縁を残して二次加工を施している。二次加工は鋸歯縁状の急角度剥離であり、正面右側縁は器体中央部から基部に、左側縁は全体を加工している。いずれも腹面側からの打撃が主であるが、左側縁部中央の最も厚みのある部分には背面側からの対向剥離が若干施されている。加工縁はやや湾曲しながら平行するが、基部に丸みをもたせるように、加工が回っていて、打面は除去されている。先端部が欠損し、欠損時に生じたと思われる弱い縦溝状剥離が背面にみられる。武蔵野台地Ⅳ下・Ⅴ層段階と考えられよう。黒色透明な良質黒曜石製で、信州産の内でも諏訪星ヶ台や和田峠付近の原産地と思われる。長さ5.0㎝、幅1.6㎝、厚さ0.9㎝、重さ5.7ｇ。風化がなく、旧石器時代に当地に持ち込まれたものと考えられよう。

第5図2（F-17OB421）は、二側縁加工ナイフ形石器である。先端側を大きく欠損する。素材は石刃と思われ、素材背面の剥離は主剥離と同一方向である。素材打面側を基部としている。正面右側の加工は、先端側から基部側にかけて全体に厚く施され、中央部分には背面側からの対向剥離がみられる。左側は先端側ほど小規模な剥離となっており、非加工刃縁部は残存しないものの、左側にあったものと推定される。加工は腹面側加工縁が直線的であり、打撃後、石によるこすりつけがなされた刃潰し加工と思われる。素材打面は基部に残存し、単剥離打面である。武蔵野台地Ⅶ層段階のものである可能性を指摘しておきたい。黒スジの入る黒曜石で、信州産の内でも諏訪星ヶ台や和田峠付近の原産地と思われる。残存長3.6㎝、幅1.8㎝、厚さ0.8㎝、重さ4.5ｇ。全体に転摩を受け、稜線が摩耗しており、縄文時代に黒曜石原石とともに持ち込まれた可能性がある。

第5図3（D-7OB4211）は、切出形石器である。横長剥片を横位に使用している。素材背面の剥離は、主剥離と同一方向である。素材打面側の右側縁は全体を二次加工し、打面側が切り取られている。加工は急角度剥離で、中央部には対向剥離が見られる。加工縁に細かな剥離が連続するが、こすりつけによるものではなく、打撃による鋸歯縁加工と考えられる。左側縁を大きくガジリで欠損しているが、残存する加工剥離から、ほぼ全体が加工されていたと思われるが、急角度剥離であったかは判断できない。武蔵野台地Ⅳ下・Ⅴ層段階と考えられよう。クズ湯状に曇った黒曜石で、夾雑物が若干はいるが、和田峠周辺の産と思われる。長さ3.5㎝、幅1.3㎝、厚さ0.6㎝、重さ2.6ｇ。基部側の稜線に摩耗があり、縄文時代に石錐に転用されたものと思われる。風化はみられないので、旧石器時代に当地に持ち込まれたものであろう。

第5図4（D-11OB3400）は、折れた縦長剥片である。打面は単剥離で、大きい。打面縁に頭部調整状の微細剥離が若干みられる。背面の剥離は、右側がほぼ横方向から、左側が主剥離と同一方向である。こうした特徴から、ＡＴ下位から幅広い時期の可能性が考えられ、時期の特定はできない。顆粒状の夾雑物を多量に含むため、信州産の内、いわゆる冷山系の黒曜石と思われる。残存長2.8㎝、幅3.0㎝、厚さ1.1㎝、重さ7.6ｇ。風化がみられず、旧石器時代に当地に持ち込まれたものであろう。

甲府盆地で発見される旧石器遺跡の大半がこうした石器のみが単独出土する遺跡であり、剥片などを多く残した本格的な生活が展開された居住地とは考えられない。しかし、当地に少なくとも武蔵野台地Ⅳ下・Ⅴ層段階（炭素14年代で23，000年前頃）にヒトの出入りがあったものと推定されることは大変重要な点である。今後周辺で生活遺跡が発見される可能性があり、注意深く探究する必要があろう。

（保坂康夫）

第 3 節　縄文時代以降

1．遺構

本遺跡からは、埋甕 1 基、ピット 8 基、溝 2 条が発見された。

1 号埋甕（F － 6）（第 6・9 図）

確認面で、約 0.37 m× 0.32 mのやや長円形の掘り込みに土器（第 9 図 1）が埋まっていることが認められた。半載している途中で、降雨により崩落した。掘り込みの深さは、約 0.1 mで、胴部下半から底部にかけての深鉢が正位に埋設されていた。時期は、縄文時代中期。その他の出土遺物はない。

1 号ピット（E － 16）（第 8 図）

約 0.36 × 0.31 mのほぼ円形で、確認面からの深さは約 0.37 mである。出土遺物は碁石 1 点。時期は不明。

2 号ピット（E － 16）（第 8 図）

1 号ピットの西約 0.1 m。0.28 × 0.25 mのほぼ円形で、確認面からの深さは約 0.15 mである。出土遺物はない。時期は不明。

3 号ピット（E － 17）（第 8 図）

北約 0.2 mに 2 号溝がある。約 0.34 × 0.32 mの円形で、確認面からの深さは約 0.17 mである。出土遺物はない。時期は不明。

4 号ピット（M － 5）（第 6・9 図）

約 0.82 × 0.75 mのほぼ円形で、確認面からの深さは約 0.31 mである。底に長さ約 0.3 mの自然石がある。確認面で縄文時代中期中葉の土器片 1 点（第 9 図 2）出土。時期は不明。

5 号ピット（G － 5）（第 6・9・24 図）

約 1 × 0.9 mの不整形で、確認面からの深さは約 0.1 mである。覆土から縄文時代中期の土器片 20 点以上と黒曜石の剥片 4 点と水晶の剥片 1 点が出土。第 9 図 3 は深鉢で胴部～底部が残存するパネル文土器。7 は胴部破片で、三角押文による文様描出がされる。第 9 図 4 と 5 は口縁部。6 は胴部破片で、隆帯上に連続爪形文があり集合沈線が充填されている。第 24 図 386 は台付土器の台部破片である。時期は縄文時代中期中葉。

6 号ピット（F － 5）（第 6・9 図）

北側約半分は撹乱により残存しない。最大長 0.8 m。確認面からの深さは約 0.2 mである。覆土から縄文時代中期の土器片約 4 点と黒曜石の剥片 6 点が出土。第 9 図 9 は胴部破片で無文。13 は胴部破片で隆帯の際に沈線が施される。14 は胴部破片で縄文。時期は縄文時代中期中葉。

7 号ピット（D － 8・9）（第 6・9 図）

約 0.8 × 0.65 mの不整形で、確認面からの深さは約 0.46 mである。覆土から縄文時代中期の土器片約 30 点と黒曜石の剥片 9 点が出土。第 9 図 12 は胴部破片でキャタピラ文に波状沈線。11 は胴部破片。10 は胴部破片で三角押文。時期は縄文時代中期中葉。

8 号ピット（C － 9）（第 6・9 図）

約 0.25 × 0.23 mの円形で、確認面からの深さは約 0.13 mである。覆土から縄文土器片 1 点（第 9 図 15）と黒曜石剥片 1 点、ジャスパー剥片 1 点が出土。時期は不明。

1 号溝（D・E － 12 ～ 14）（第 7・9・10・27 図）

試掘時に西側が削られた。ほぼ西から東に流れる。東・西端ともに消滅している。確認された上場の長さは約 9 mで確認面からの最大深さは東端で約 0.6 mである。最大幅は約 2 m。底に幅約 0.2 m、深さ約 0.03 ～ 0.9 mの細い溝が東西方向に 3 箇所確認された。遺物は覆土から縄文時代中期の土器片多数と黒曜石石鏃 2 点、黒曜石石錐 1 点、黒曜石剥片 365 点、水晶石鏃 1 点、水晶剥片 10 点、チャート石鏃 1 点、チャート剥片 2 点、ジャスパー剥片 5 点、打製石斧 1 点。また古墳時代以降の土師器小片約 20 点、須恵器 5 点。近世の陶器灯明皿 1 点（第 10 図 34）。遺物は混在しているため、時期は近世以前とおもわれる。

2 号溝（D ～ F － 16・17）（第 8・10 図）

ほぼ南北に伸び、長さ約 11.5 m、最大幅約 1.8 m、深さは約 0.4 ～ 0.6 mである。北側は調査区外に伸び、南側は終結する。遺物は縄文時代中期中葉～後葉の土器片約 40 点、黒曜石石鏃 2 点、黒曜石剥片 62 点、水晶剥片 2 点、チャート剥片 2 点。古墳時代以降の土師器片約 20 点が出土した。第 10 図 38 は縄文時代中期中葉の底部破片。35 は中期中葉の胴部破片。36 は中期後葉の胴部破片。40 は土師器ハケ甕の胴部。43 は土師器坏口縁部。41 は土師器ハケ甕。42 は土師器甕底部。時期は平安時代とおもわれる。

2. 遺物（第 11 ～ 47 図）

縄文・古墳・中世・近世以降の土器・石器・陶磁器等が出土した。詳細は観察表（第 1 ～ 8 表）に記載した。

3. 遺物分布（第 48 ～ 50 図）

旧石器の遺物は 4 点だけなので、分布の特徴は語れないが、出土層位は包含層の最下層からである。

縄文時代の石器は包含層が厚く残るＢ～Ｄ－ 5 ～ 9 とＤ－ 10・11 にほぼ集中している。石鏃の数が 180 点、石核が 124 点と多く出土していることと、これらの石材のほとんどが黒曜石であることが特徴的である。土器は早期末の繊維土器、押型文土器が量は少ないが出土している。主体となるのは中期中葉から後葉である。ほとんど破片である。

古墳時代では、土師器（Ｈ）と須恵器（ＳＵＥ）と環（ＫＩＮ）が出土した。分布図（第 50 図）をみると、Ｃ・Ｄ－ 6・7・8 で須恵器が径約 10 mの範囲に弧状に巡ることがわかる。それに土師器もそこに集中する。須恵器の中には、古墳から出土することが多い提瓶が出土した。また環が弧のほぼ中央に位置するところから出土している。須恵器等の出土層位は、縄文時代の包含層中にあることから、周溝があったものと考えられる。これらのことからここに古墳があったと考えられる。

第４章　まとめ

今回の調査地点は、八幡神社遺跡の東端にあたる。縄文時代の遺跡として知られていたが、発掘調査によっていくつかの発見があった。まず、旧石器時代の石器が 4 点出土し、その内 3 点は、縄文時代の石器石材として搬入されたものではなく、旧石器時代のものであると考えられること。今後、この周辺で旧石器の生活した跡が発見される可能性が考えられる。

縄文時代では、中期中葉から後葉の土器片が主体となって出土しており、いずれも破片であるが、西側調査区最北端の区画の立会調査で出土した量は他から出土したものより多く、破片も大きかった。住居跡は発見できなかったが、建物を建てたときに破壊された可能性もある。土偶は 3 点が出土した。包含層中からで若干の時期差がある。また、今回の調査区の西側または北側に集落が展開している可能性も、今後視野に入れるべきであろう。縄文時代では、黒曜石の量の多さが注目される。剥片は 10,133 点、水晶剥片が 336 点、チャート剥片が 115 点、ジャスパー剥片が 133 点であった。遺物包含層がある所に集中しており、特に落ち込み等は確認されなかったが、この近くで、石器、特に石鏃の製作が行われたことが考えられる。

古墳時代では、墳丘は現存しなかったが、遺物の分布から周溝を伴う古墳が 1 基あったことが確認された。6 世紀代の円墳とおもわれ、南側半分は攪乱を受けているために確認できなかったが、北側に古墳の範囲を示すよう径約 10 mの帯状に遺物の分布がみられた。主体部とおもわれる場所からは、金環 1 点が出土した。周辺は宅地となっているが、まだ知られていない古墳が今後発見される可能性もあるだろう。

調査区のあたりは、中世から近世まで存続していた大野寺または長谷寺といわれた寺院があったことが、文献や絵図で知られていたが、今回の調査では、寺院に伴う遺構・遺物は発見されなかった。お堂の痕跡がまだ残っているとすれば、元知事公舎の建っている比較的平らな地点ではないかとおもわれる。

第１表　遺構出土土器等観察表

図番号	番号	実測番号	遺構	細分類	遺物番号	枝番	一括	接合	層位	種類	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第9図	1	60	1号埋甕	P	1	1			3	土器	深鉢	—	(8.2)	12.2	にぶい赤褐	金雲母、石英	良好	縄文	中期	
第9図	2	361	4ピット	P			一括			土器	深鉢	—	(3.2)	—	明赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	藤内	
第9図	3	119	5ピット	P	1	1			3	土器	深鉢	—	(11.8)	—	橙	小石、白粒、石英	良好	縄文	藤内３	
第9図	4	42	5ピット	P	11			P 14	3	土器	深鉢	(30.6)	(9.0)	—	にぶい褐	金雲母多、石英	良好	縄文	井戸尻	
第9図	5	290	5ピット	P	20				3	土器	深鉢	—	(9.2)	—	明赤褐	石英多、金雲母多	良好	縄文	井戸尻	
第9図	6	291	5ピット	P	21				3	土器	深鉢	—	(5.3)	—	明赤褐	石英多、金雲母多、赤粒	良好	縄文	井戸尻	
第9図	7	289	5ピット	P	2				3	土器	深鉢	—	(4.5)	—	明黄褐	石英、金雲母、赤粒	良好	縄文	新道	
第9図	8	349	6ピット	P	1				3	土器	深鉢	—	(3.0)	—	暗褐	石英、黒雲母、繊維、赤粒	良	縄文	早期末	繊維土器
第9図	9	292	6ピット	P	2				3	土器	深鉢	—	(4.1)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期	
第9図	10	360	7ピット	P			一括		2	土器	深鉢	—	(2.2)	—	褐	石英、金雲母	良好	縄文	新道	
第9図	11	295	7ピット	P	2				3	土器	深鉢	—	(2.3)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期	
第9図	12	296	7ピット	P	1				3	土器	深鉢	—	(3.2)	—	橙	石英、赤粒	良好	縄文	藤内	
第9図	13	293	6ピット	P	3				3	土器	深鉢	—	(3.1)	—	褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第9図	14	294	6ピット	P	4				3	土器	深鉢	—	(2.6)	—	明赤褐	金黒雲母、石英少	良好	縄文	中期	
第9図	15	359	8ピット	P			一括			土器	深鉢	—	(2.6)	—	橙	石英、金黒雲母、赤粒	良	縄文	中期中葉～後葉	
第9図	16	424	1溝	P	89				3	土器	深鉢	〔33. 4〕	(4.4)	—	明赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文		
第9図	17	423	1溝	P	96				3	土器	深鉢	(20.4)	(4.0)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文		
第9図	18	403	1溝	P	55				3	土器	深鉢	—	(8.1)	—	橙	石英、金雲母	良	縄文		
第9図	19	331	1溝	P	103				3	土器	深鉢	—	(3.7)	—	明黄褐	石英、赤粒、繊維	良	縄文	早期末	繊維土器
第9図	20	332	1溝	P	82				3	土器	深鉢	—	(3.5)	—	にぶい黄褐	石英、繊維	不良	縄文	早期末	繊維土器
第9図	21	330	1溝	P	93				3	土器	深鉢	—	(2.2)	—	浅黄	石英、赤粒、繊維	不良	縄文	早期末	繊維土器
第9図	22	350	1溝	P	67				3	土器	深鉢	—	(1.9)	—	褐	石英、黒雲母、赤粒、繊維	良	縄文	早期末	繊維土器
第9図	23	353	1溝	P	63				3	土器	深鉢	—	(2.5)	—	赤褐	金雲母多、石英	良	縄文	早期	押型文、ネガティブ
第10図	24	402	1溝	P	65				3	土器	深鉢	—	(7.0)	—	橙	石英、金雲母	良	縄文		
第10図	25	111	1溝	P	91	1			3	土器	不明	—	(5.2)	—	明褐	金雲母多、石英	良	縄文	中期中葉	
第10図	26	405	1溝	P	44				3	土器	深鉢	—	(3.8)	—	明褐	金雲母多、石英	良	縄文		
第10図	27	396	1溝	P	20				3	土器	深鉢	—	(6.4)	—	明赤褐	石英	良好	縄文	藤内	
第10図	28	398	1溝	P	110				3	土器	深鉢	—	3.6	—	明赤褐	石英、金雲母	良好	縄文		
第10図	29	400	1溝	P	38				3	土器	深鉢	—	(6.6)	—	褐	石英、金雲母	良好	縄文		
第10図	30	399	1溝	P	90				3	土器	深鉢	—	6.5	—	明褐	金雲母、石英	良	縄文		
第10図	31	397	1溝	P	107				3	土器	深鉢	—	(5.1)	—	赤褐	金雲母、石英	良	縄文		
第10図	32	404	1溝	P	56				3	土器	深鉢	—	(6.1)	—	明赤褐	石英多	良好	縄文		
第10図	33	401	1溝	P	8			P 28	3	土器	深鉢	—	10.9	—	橙	金雲母、石英	良好	縄文		
第10図	34	323	1溝	TOU	8				3	陶器	小皿	8.2	1.9	3.4	にぶい褐	灰白粒	良好	近世		瀬戸、鉄釉、外面スス付着（灯明皿）
第10図	35	406	2溝	P	41				3	土器	深鉢	—	(4.4)	—	明黄褐	石英多、黒雲母少	良	縄文	曽利Ⅰ	
第10図	36	407	2溝	P	42				3	土器	深鉢	—	(4.4)	—	明赤褐	石英多、黒雲母	良	縄文	曽利Ⅰ	
第10図	37	106	2溝	P	10				3	土器	深鉢	—	(6.2)	—	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	把手
第10図	38	418	2溝	P	7				3	土器	深鉢	—	(2.6)	(10.2)	明赤褐	石英多、金雲母	良	縄文	井戸尻	
第10図	39	322	2溝	P	18				3	土師器	壷	(10.6)	(3.0)	—	橙	石英、金黒雲母、赤粒	良好	古墳		
第10図	40	321	2溝	P	1				1	土師器	甕	—	(5.3)	—	橙	石英、金黒雲母、赤・白粒、小石	良好	古墳		外面磨耗、内面ハケ
第10図	41	320	2溝	P	28			P 17－1	3	土師器	甕	—	(3.6)	—	橙	石英、雲母	良好	古墳		外面磨耗、内面ハケ
第10図	42	267	2溝	P	25				3	土師器	甕	—	(2.3)	(9.4)	褐	石英、黒雲母少	良好	古墳		外面ヘラ削り
第10図	43	266	2溝	P	4	0			3	土師器	坏	(10.9)	(2.8)	—	淡黄褐	赤粒	良好	平安		内外面磨耗

第２表　遺構外出土縄文土器観察表

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 11 図	44	113	F-5	P	一括				深鉢	—	(3.0)	—	明褐	繊維、石英、黒粒	良好	縄文	早期末～前期	繊維土器
第 11 図	45	319	G-7	P	一括				深鉢	—	(2.5)	—	明褐	石英、繊維	良	縄文	早期末	繊維土器
第 11 図	46	318	G-7	P	一括				深鉢	—	(1.3)	—	明褐	石英、金雲母、繊維	良	縄文	早期末	繊維土器
第 11 図	47	317	G-7	P	一括				深鉢	—	(2.2)	—	褐	石英、金雲母、繊維	良	縄文	早期末	繊維土器
第 11 図	48	395	I-3	P	2852			2	深鉢	—	(4.4)	—	にぶい黄橙	石英、黒雲母、白粒、繊維	良	縄文	早期	外面に絡条体圧痕、内面に貝殻条痕
第 11 図	49	354	I-3	P	2938			2	深鉢	—	(4.4)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	早期	押型文
第 11 図	50	352	I-4	P	一括				深鉢	—	(1.8)	—	明褐	石英、金黒雲母	良	縄文	早期	押型文
第 11 図	51	351	C-8	P	一括				深鉢	—	(2.4)	—	明褐	石英、金黒雲母	良	縄文	早期	押型文
第 11 図	52	356	G-7	P	一括				深鉢	—	(1.8)	—	褐	石英、金雲母	良好	縄文	早期	押型文
第 11 図	53	237	D-10	P	一括				深鉢	—	(3.1)	—	明黄褐	石英多、黒雲母少	良	縄文	五領ヶ台	
第 11 図	54	308	H-4	P	2807			2	深鉢	—	(2.3)	—	褐	石英、金雲母	良好	縄文	五領ヶ台	
第 11 図	55	258	D-9	P	一括				深鉢	—	(2.3)	—	明褐	石英、金雲母多	良好	縄文	狢沢～新道	
第 11 図	56	227	D-10	P	28			2	深鉢	—	(2.2)	—	赤褐	石英多	良好	縄文	新道	
第 11 図	57	164	C-8	P	1857			2	深鉢	—	(7.0)	—	褐	石英、金雲母多	良好	縄文	新道	
第 11 図	58	20	C-8	P	1559			2	深鉢	—	(4.5)	—	褐	金黒雲母、石英	やや良	縄文	新道２～藤内１	
第 11 図	59	167	C-8	P	1817			2	深鉢	—	(6.1)	—	赤褐	金雲母多、石英	良好	縄文	新道～藤内	
第 11 図	60	171	C-8	P	1490			2	深鉢	(16.0)	(5.0)	—	にぶい黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	61	412	B-7	P	654			2	深鉢	(14.4)	(3.9)	—	褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	62	316	G-7	P	1317			2	深鉢	(30.0)	(8.2)	—	褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	63	30	B-7	P	967			2	深鉢	—	(4.9)	—	赤褐	金雲母多、石英少	良好	縄文	中期中葉	藤内１か？ボロボロ
第 11 図	64	233	D-10	P	145			2	深鉢	—	(4.5)	—	明赤褐	石英、黒雲母、赤粒	良	縄文	藤内～井戸尻	表面も裏面も剥離
第 11 図	65	21	C-7	P	2221			2	深鉢	—	(4.5)	—	褐	金雲母、石英多、白粒	やや良	縄文	藤内	
第 11 図	66	336	B-8	P	1119			2	深鉢	—	(3.8)	—	黄褐	石英、金雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	67	346	C-5	P	1656			2	深鉢	—	(3.3)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	68	347	C-5	P	751			2	深鉢	—	(3.7)	—	橙	石英、白粒	良好	縄文	藤内	
第 11 図	69	22	B-8	P	682			2	深鉢	—	—	—	褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	70	133	C-7	P	639			2	深鉢	—	(4.9)	—	暗褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	71	123	C-7	P	1238			2	深鉢	—	(5.5)	—	明褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	72	256	D-9	P	2105			2	深鉢	—	(4.0)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	73	247	D-10	P	385			2	深鉢	—	(4.2)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	74	246	D-10	P	337			2	深鉢	—	(5.4)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	75	248	D-10	P	166			2	深鉢	—	(4.2)	—	明赤褐	石英多、金雲母多	良好	縄文	藤内	
第 11 図	76	245	D-10	P	376			2	深鉢	—	(4.2)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 11 図	77	251	D-11	P	326			2	深鉢	—	(3.9)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	78	252	D-11	P	408			2	深鉢	—	(6.4)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	79	115	F-7	P	891			2	深鉢	—	(3.6)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	80	384	G-5	P	1234			2	深鉢	—	(3.7)	—	褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	81	380	F-17	P	87			1	深鉢	—	(5.0)	—	にぶい赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	82	393	H-7	P	1400			2	深鉢	—	(4.8)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	83	299	J-4	P	2771			2	深鉢	—	(5.2)	—	明黄褐	石英、金雲母、赤粒	良	縄文	藤内	
第 12 図	84	298	J-4	P	2769	1		2	深鉢	—	(4.3)	—	明赤褐	石英	良好	縄文	藤内	
第 12 図	85	303	I-4	P	2936			2	深鉢	—	(5.6)	—	橙	石英多、赤粒	良好	縄文	藤内	
第 12 図	86	112	J-3	P	2860			2	深鉢	—	(5.1)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	87	306	I-4	P	2933			2	深鉢	—	(3.8)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	藤内	
第 12 図	88	279	西側最北端表採	P					深鉢	—	(3.8)	—	明黄褐	石英、金雲母、赤粒	良好	縄文	藤内	実測№ 285 と同一か
第 12 図	89	300	J-4	P	2772	1	P 2773 － 1	2	深鉢	—	(4.6)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文	藤内	

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第12図	90	114	K-3	P	2928			2	深鉢	—	(5.0)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	藤内	
第12図	91	283	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.1)	—	橙	石英、黒雲母	良	縄文	藤内	
第12図	92	285	西側最北端表採	P					深鉢	—	(5.2)	—	明黄褐	石英、黒雲母、赤粒	良好	縄文	藤内	実測№279と同一か
第12図	93	37	西側最北端表採	P					深鉢	—	(10.2)	—	橙	赤粒、石英、金黒雲母	良好	縄文	藤内～井戸尻	
第12図	94	274	西側最北端表採	P					深鉢	—	(7.2)	—	橙	石英	良	縄文	藤内	
第12図	95	275	西側最北端表採	P					深鉢	—	(6.4)	—	明黄褐	石英、赤粒	良	縄文	藤内	
第12図	96	357	試掘4トレンチ東	P					深鉢	—	(4.5)	—	明赤褐	石英、金雲母多	良好	縄文	藤内	
第12図	97	109	東側調査区表採	P					深鉢	—	(5.6)	—	赤褐	石英多、金黒雲母、小石	やや粗	縄文	藤内	
第12図	98	45	B-7	P	665			2	深鉢	—	(4.5)	—	赤褐	白・黒粒、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第12図	99	16	B-6	P	712			2	深鉢	(16.6)	(7.2)	—	明赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第12図	100	32	B-7	P	991	1		2	深鉢	—	(9.0)	—	赤褐	石英多、白粒、黒雲母少	良好	縄文	井戸尻	
第12図	101	99	D-11	P	460			2	深鉢	—	(6.2)	—	明褐	赤粒、石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第12図	102	348	B-8	P	1120			2	深鉢	—	(3.2)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第12図	103	342	B-8	P	603			2	深鉢	—	(3.5)	—	橙	石英、金雲母	良	縄文	井戸尻	把手
第12図	104	365	C-6	P	855			2	浅鉢？	(31.4)	(4.1)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第12図	105	19	B-6	P	707			2	深鉢	—	(4.3)	—	褐	金黒雲母、白粒、石英多	良	縄文	井戸尻	
第13図	106	14	C-6	P	2804			2	深鉢	—	—	—	褐	金黒雲母、石英多、黒粒	良	縄文	井戸尻	
第13図	107	25	C-7	P	1780			2	深鉢	—	(3.7)	—	にぶい黄橙	金黒雲母、石英	良	縄文	井戸尻	
第13図	108	209	D-7	P	1412			2	深鉢	—	(3.7)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第13図	109	2	C-8	P	2355			2	深鉢	—	(5.5)	—	赤褐	石英、金黒雲母、白粒	やや良	縄文	井戸尻	
第13図	110	161	C-10	P	397			2	深鉢	—	(3.9)	—	褐	金雲母、石英	良	縄文	井戸尻	
第13図	111	145	C-7	P	1960			2	深鉢	(26.0)	(6.3)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第13図	112	425	B-6	P	1131			2	深鉢	(26.0)	(5.8)	—	明赤褐	金雲母、石英	良好	縄文	井戸尻	
第13図	113	13	D-7	P	2014			2	深鉢	—	(6.6)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第13図	114	104	D-8	P	2543			2	深鉢	—	(4.4)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	伊那谷の方から来た
第13図	115	6	C-9	P	1414			2	深鉢	—	(5.7)	—	褐	金雲母、石英、白粒	良	縄文	井戸尻	
第13図	116	15	D-7	P	2494			2	深鉢	—	(6.2)	—	赤褐	白・黒粒、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第13図	117	49	C-8	P	2713			2	深鉢	—	(5.8)	—	褐	金黒雲母、石英多	良	縄文	井戸尻	
第13図	118	105	D-10	P	434			2	深鉢	—	3.4	—	赤褐	石英多、金雲母	やや粗	縄文	井戸尻	
第13図	119	150	D-7	P	2002			2	深鉢	—	(4.9)	—	明赤褐	石英、金雲母多	良好	縄文	井戸尻	
第13図	120	4	C-7	P	758			2	深鉢	—	(5.0)	—	褐	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第13図	121	107	D-8	P	1582			2	深鉢	—	(3.3)	—	褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第13図	122	176	C-7	P	2061			2	深鉢	—	(8.0)	—	明赤褐	石英、金雲母多、赤粒	良好	縄文	井戸尻	把手
第13図	123	101	D-10	P	380			2	深鉢	—	(8.1)	—	橙	黒粒、石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第13図	124	5	C-7	P	958			2	深鉢	—	(6.0)	—	褐	石英多、金雲母、白粒	良	縄文	井戸尻	
第13図	125	170	C-8	P	1113			2	深鉢	—	(6.0)	—	明褐	石英多、金雲母	良	縄文	井戸尻	把手
第13図	126	196	D-8	P	2387			2	有孔鍔付	—	(4.1)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第13図	127	165	C-8	P	1854			2	深鉢	—	(5.3)	—	明褐	金雲母多、石英	良好	縄文	井戸尻	把手
第14図	128	73	C-7	P	1767		P 1769・1770	2	深鉢	(26.2)	(8.0)	—	赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第14図	129	204	D-8	P	2619			2	深鉢	—	(5.8)	—	明褐	石英多、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第14図	130	255	D-11	P	560			2	深鉢	—	(4.7)	—	橙	石英多、金黒雲母多	良	縄文	井戸尻	
第14図	131	200	D-8	P	1885	1		2	深鉢	—	(7.2)	—	明褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第14図	132	207	D-7	P	1288			2	深鉢	—	(4.9)	—	明褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	把手
第14図	133	76	D-10	P	484			2	深鉢	—	(8.5)	—	明褐	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第14図	134	79	D-8	P	2634			2	深鉢	—	(7.9)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第14図	135	205	D-8	P	2677			2	深鉢	—	(5.0)	—	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第14図	136	70	C-8	P	1103			2	深鉢	(20.0)	(4.5)	—	明褐	石英多、金黒雲母、赤粒	良好	縄文	井戸尻	
第14図	137	264	J-3	P	2893			2	深鉢	—	(3.7)	—	明褐	石英多、黒雲母	良	縄文	中期中葉～後葉	井戸尻か

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 14 図	138	78	I-3	P	2902			2	深鉢	—	(4.2)	—	橙	赤粒、石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 14 図	139	35	J-4	P	2772	2		2	深鉢	—	(4.4)	—	淡黄褐	石英、小石	やや良	縄文	井戸尻	
第 14 図	140	315	E-11	P	27			2	深鉢	—	(1.9)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 14 図	141	58	西側最北端表採	P					深鉢	—	(7.2)	—	橙	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 14 図	142	46	D-8	P	2413			2	深鉢	—	(5.5)	—	黄褐	金黒雲母多、石英	やや粗	縄文	井戸尻	
第 14 図	143	391	G-7	P	1395			2	深鉢	—	(3.3)	—	にぶい黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 14 図	144	394	J-3	P	2871			2	深鉢	—	(3.0)	—	明黄褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 14 図	145	102	I-3	P	2931			2	深鉢	—	(6.1)	—	明赤褐	赤粒、石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 14 図	146	38	試掘 4 トレンチ東	P					深鉢	—	(5.7)	—	明赤褐	赤粒、金黒雲母、石英多	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	147	110	C-8	P	2366			2	深鉢	—	(9.5)	—	淡黄褐	金黒雲母、石英	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	148	238	D-10	P	334			2	深鉢	—	(5.1)	—	赤褐	石英多、金雲母多、小石	良	縄文	中期中葉	井戸尻か
第 15 図	149	262	J-3	P	2745			2	深鉢	—	(5.2)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文	中期中葉	井戸尻か
第 15 図	150	260	J-3	P	2894			2	深鉢	—	(5.2)	—	にぶい黄褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	151	17	C-5	P	750			2	深鉢	—	(4.7)	—	にぶい褐	石英少、金黒雲母少	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	152	24	F-17	P	291				深鉢	—	(5.5)	—	褐	金黒雲母、石英多	やや良	縄文	井戸尻	座標データ没
第 15 図	153	39	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.7)	—	明褐	赤粒、石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	154	416	B-7	P	811			2	深鉢	—	(6.0)	—	明赤褐	石英多	良好	縄文		井戸尻か
第 15 図	155	27	C-8	P	2115			2	深鉢	—	(6.7)	—	褐	石英、金黒雲母、黒粒	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	156	1	C-6	P	730			2	深鉢	—	(5.4)	—	褐	石英、金黒雲母、白粒	やや良	縄文	井戸尻	
第 15 図	157	135	C-7	P	1979			2	深鉢	—	(7.9)	—	赤褐	石英	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	158	136	C-7	P	1034			2	深鉢	—	(6.8)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	159	163	C-8	P	1101		P 1974	2	深鉢	—	(7.7)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	160	128	C-7	P	1980			2	深鉢	—	(5.8)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	161	159	C-10	P	588			2	深鉢	—	(5.9)	—	橙	石英、赤・白・黒粒	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	162	158	C-10	P	399			2	深鉢	—	(7.7)	—	明褐	石英多、白粒	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	163	213	D-7	P	2195			2	深鉢	—	(7.6)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	164	334	B-8	P	684			2	深鉢	—	(6.3)	—	明褐	石英多、金雲母	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	165	168	C-8	P	907			2	深鉢	—	(4.7)	—	黄褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	166	212	D-7	P	2081			2	深鉢	—	(3.0)	—	明赤褐	石英、金雲母、赤粒	良	縄文	井戸尻	
第 15 図	167	162	D-6	P	861			2	深鉢	—	(4.6)	—	赤褐	石英多、金黒雲母、赤粒	良好	縄文	井戸尻	
第 15 図	168	152	D-6	P	870			2	深鉢	—	(4.8)	—	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	169	335	B-8	P	686			2	深鉢	—	(5.0)	—	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	170	160	D-6	P	2162			2	深鉢	—	(4.9)	—	明褐	金雲母、石英、小石	良	縄文	井戸尻	
第 16 図	171	157	D-6	P	2164			2	深鉢	—	(5.8)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	172	154	D-7	P	1226			2	深鉢	—	(6.0)	—	明褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	173	156	D-7	P	2010			2	深鉢	—	(8.0)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 16 図	174	208	D-7	P	2152	2	P 2192	2	深鉢	—	(6.7)	—	暗赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	175	199	D-8	P	1403			2	深鉢	—	(7.5)	—	暗赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	176	81	D-8	P	2527			2	深鉢	—	(5.5)	—	赤褐	金雲母多、石英	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	177	202	D-8	P	2380			2	深鉢	—	(5.4)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 16 図	178	259	D-9	P	2266			2	深鉢	—	(5.0)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 16 図	179	192	D-9	P	2263			2	深鉢	—	(5.6)	—	黄褐	石英多、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第 16 図	180	229	D-10	P	522			2	深鉢	—	(6.1)	—	橙	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	No.228・No.230 と同一個体か
第 16 図	181	230	D-10	P	438			2	深鉢	—	(4.5)	—	橙	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	No.228・No.229 と同一個体か
第 16 図	182	231	D-10	P	424			2	深鉢	—	(4.0)	—	明褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第 16 図	183	47	D-11	P	328			2	深鉢	—	(6.3)	—	淡黄褐	金雲母多、石英、小石	やや良	縄文	井戸尻	
第 16 図	184	235	D-10	P	498			2	深鉢	—	(6.1)	—	明黄褐	石英、黒粒	良好	縄文	井戸尻	隆帯上に薄い刻み

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第16図	185	239	D-10	P	355			2	深鉢	—	(5.7)	—	明黄褐	石英、黒粒	良好	縄文	井戸尻	
第16図	186	23	D-7	P	1997			2	深鉢	—	(9.5)	—	赤褐	金黒雲母、石英	良	縄文	井戸尻	
第16図	187	392	G-17	P	205	1		1	深鉢	—	(3.4)	—	暗褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第16図	188	50	D-8	P	2095			2	深鉢	—	(5.8)	—	褐	金黒雲母、石英	やや粗	縄文	井戸尻	
第16図	189	77	F-16	P	29			1	深鉢	—	(6.6)	—	明褐	石英、白粒	良好	縄文	井戸尻	
第16図	190	261	J-3	P	2861			2	深鉢	—	(3.1)	—	明褐	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第16図	191	381	G-17	P	296			1	深鉢	—	(5.6)	—	橙	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第16図	192	385	G-5	P	1301			2	深鉢	—	(4.4)	—	明赤褐	石英多、金黒雲母、赤粒	良好	縄文	井戸尻	
第16図	193	273	西側最北端表採	P					深鉢	—	(7.9)	—	明黄褐	石英	良	縄文	井戸尻	
第16図	194	43	J-3	P	2862			2	深鉢	—	(5.5)	—	淡黄褐	石英、金黒雲母、小石	やや良	縄文	井戸尻	
第17図	195	228	D-10	P	439			2	深鉢	—	(9.5)	—	橙	石英、黒雲母	良	縄文	井戸尻	No.229・No.230と同一個体か
第17図	196	41	西側最北端解体立合	P					深鉢	—	(11.5)	—	明黄褐	赤粒、石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第17図	197	272	西側最北端表採	P					深鉢	—	(6.9)	—	明黄褐	石英、赤粒	良	縄文	井戸尻	
第17図	198	40	西側最北端表採	P					深鉢	—	(11.5)	—	明黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第17図	199	36	西側最北端表採	P					深鉢	—	(9.7)	—	橙	赤粒、石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻	
第17図	200	278	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.6)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	井戸尻	
第17図	201	326	西側最北端解体立合	P					深鉢	—	(5.4)	—	明褐	石英、金雲母、赤粒	良	縄文	井戸尻	
第17図	202	282	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.9)	—	赤褐	石英多、金雲母	良	縄文	井戸尻	
第17図	203	312	F-16	P	30			1	深鉢	—	(4.9)	—	明赤褐	石英多、金雲母	良	縄文	井戸尻	
第17図	204	146	D-11	P	301		P 492	2	深鉢	—	(4.9)	(6.6)	明赤褐	石英多、黒雲母、赤粒	良	縄文	井戸尻	
第17図	205	61	D-7	P	2078		P 2414・2480	2	台付土器	—	(6.3)	(16.0)	赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	井戸尻	
第17図	206	26	C-6	P	1658			2	深鉢	—	—	—	赤褐	金雲母、石英	良	縄文	井戸尻2	
第17図	207	12	D-11	P	231			2	深鉢	—	(4.0)	—	にぶい黄橙	白粒、金黒雲母	良	縄文	井戸尻3	
第17図	208	142	C-7	P	1782			2	深鉢	(18.0)	(4.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	井戸尻3	
第17図	209	413	B-7	P	2226			2	深鉢	—	(5.8)	—	橙	石英、金雲母	良	縄文	井戸尻～曽利	
第17図	210	166	C-8	P	1825			2	深鉢	—	(4.7)	—	褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻3	
第17図	211	130	C-8	P	2834			2	深鉢	—	(5.2)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	井戸尻3	
第17図	212	34	D-7	P	2479		一括	2	深鉢	(11.0)	(8.5)	—	褐	石英、金黒雲母、小石	良	縄文	曽利Ⅰ	
第17図	213	370	C-6	P	731			2	深鉢	(13.0)	(6.5)	—	褐	石英多、金黒雲母、赤粒	良	縄文	曽利Ⅱ	
第17図	214	9	C-8	P	1554			2	深鉢	—	(10.4)	—	にぶい褐	金黒雲母、石英	良	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	215	108	C-8	P	1114			2	深鉢	—	(6・0)	—	淡黄褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	216	18	C-8	P	961	1		2	深鉢	—	(12.3)	—	褐	石英多、金黒雲母	やや良	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	217	169	C-8	P	2282			2	深鉢	—	(5.7)	—	赤褐	金雲母多、石英	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	218	408	B-6	P	703			2	深鉢	—	(6.1)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	219	59	F-16	P	46			1	深鉢	—	(4.0)	—	明黄褐	金黒雲母、石英多	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	220	172	C-8	P	2324			2	深鉢	—	(4.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	221	277	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.2)	—	褐	石英、金雲母、赤粒	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	222	276	西側最北端表採	P					深鉢	—	(5.4)	—	褐	石英、黒雲母、赤粒	良	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	223	191	D-9	P	1441			2	深鉢	—	(4.7)	—	赤褐	石英、金雲母	良	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	224	364	C-6	P	1662			2	深鉢	—	(6.6)	—	明赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	225	368	C-6	P	1354			2	深鉢	—	(4.4)	—	褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	226	28	C-7	P	1328			2	深鉢	—	—	—	赤褐	金黒雲母、石英多、白粒	やや良	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	重弧文
第18図	227	203	D-8	P	2388			2	深鉢	—	(4.0)	—	明褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	228	243	D-10	P	457			2	深鉢	—	(4.6)	—	褐	石英、赤粒	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	229	373	C-9	P	2555			2	深鉢	—	(8.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	光波データ没
第18図	230	232	D-10	P	454			2	深鉢	—	(5.7)	—	褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	231	363	C-6	P	1648			2	深鉢	—	(5.7)	—	明褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第18図	232	134	C-7	P	1327			2	深鉢	—	(5.7)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	233	244	D-10	P	292			2	深鉢	—	(4.6)	—	にぶい褐	石英多、金雲母、赤粒	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	234	139	C-7	P	822			2	深鉢	—	(6.2)	—	明褐	石英、金黒雲母	良	縄文	曽利Ⅱ～Ⅲ	
第18図	235	215	D-7	P	1273			2	深鉢	—	(3.9)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	236	374	C-9	P	1546			2	深鉢	—	(7.4)	—	赤褐	石英、金雲母	良	縄文	曽利Ⅰ～Ⅱ	
第18図	237	375	C-9	P	601			2	深鉢	—	(2.6)	—	明黄褐	石英、黒雲母	良	縄文	曽利Ⅰ	
第18図	238	369	C-6	P	716			2	深鉢	—	(5.3)	—	明褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第18図	239	103	D-11	P	324	2		2	深鉢	—	(3.9)	—	橙	赤・黒粒、石英	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第18図	240	7	C-7	P	1223		P 630、C-8P789	2	深鉢	(2.0)	(7.8)	—	赤褐	金黒雲母、石英	良	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	241	124	C-7	P	1246			2	深鉢	—	(7.0)	—	褐	石英、金黒雲母、白粒	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	242	11	D-10	P	527			2	深鉢	—	(5.4)	—	赤褐	石英、金黒雲母、白粒	良	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	243	190	D-9	P	1547			2	深鉢	—	(5.4)	—	赤褐	石英、金雲母、赤・黒粒	良	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	244	194	C-7	P	1771		D-8P2685	2	深鉢	—	(7.8)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	245	188	D-9	P	2260			2	深鉢	—	(3.5)	—	にぶい赤褐	石英、黒雲母、赤粒	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	246	379	F-5	P	1197			2	深鉢	—	(4.0)	—	明赤褐	石英、金雲母多	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	247	253	D-11	P	461			2	深鉢	—	(4.5)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	248	210	D-7	P	1261			2	深鉢	—	(5.6)	—	明赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	249	125	C-7	P	1783			2	深鉢	—	(6.9)	—	赤褐	石英、金雲母多	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	250	122	C-7	P	1942			2	深鉢	—	(7.0)	—	赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	251	44	J-3	P	2865			2	深鉢	—	(5.8)	—	赤褐	金黒雲母、石英	やや良	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	252	153	D-7	P	2467			2	深鉢	—	(5.4)	—	暗褐	石英	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	253	214	D-7	P	1610			2	深鉢	—	(4.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	254	377	C-9	P	1537			2	深鉢	—	(5.0)	—	明赤褐	金雲母多、石英	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	255	305	I-4	P	2817			2	深鉢	—	(5.4)	—	褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	256	376	C-9	P	一括				深鉢	—	(2.3)	—	褐	石英、白粒、黒雲母	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	257	29	B-7	P	661			2	深鉢	—	(3.5)	—	灰褐	石英多	良好	縄文	曽利Ⅱ	
第19図	258	97	G-16	P	8			1	深鉢	(31.0)	(3.7)	—	明赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第19図	259	422	B-6	P	713	1		2	深鉢	(16.4)	(5.5)	—	明褐	石英、金黒雲母	良	縄文	曽利	
第19図	260	409	B-7	P	990			2	深鉢	—	(3.6)	—	赤褐	石英、白粒	良好	縄文	曽利	
第19図	261	414	B-7	P	1162			2	深鉢	—	(3.0)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	曽利	
第19図	262	129	C-7	P	1624			2	深鉢	—	(8.7)	—	赤褐	石英多	良好	縄文	曽利	
第19図	263	241	D-10	P	357			2	深鉢	—	(5.7)	—	明赤褐	石英、金雲母	良	縄文	曽利	
第19図	264	411	B-7	P	923			2	深鉢	—	(2.7)	—	明赤褐	石英、金雲母少	良好	縄文	曽利	
第19図	265	426	G-16	P	9			1	深鉢	—	(5.8)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第19図	266	56	F-4	P	1135			2	深鉢	—	(5.0)	—	褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第19図	267	3	C-9	P	1463			2	深鉢	—	(3.4)	—	褐	金黒雲母、石英	良	縄文	曽利	
第19図	268	410	B-7	P	663			2	深鉢	—	(8.1)	—	橙	石英、黒雲母	良好	縄文	曽利	ほとんど磨耗
第19図	269	52	C-7	P	1326			2	深鉢	—	(3.0)	(15.0)	橙		良好	縄文	曽利	
第19図	270	419	B-6	P	710			2	深鉢	—	(3.8)	(6.4)	明赤褐	石英	良好	縄文	曽利	
第20図	271	95	試掘4トレンチ西	P					深鉢	(38.0)	(4.4)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文	中期	
第20図	272	53	C-8	P	1290			2	深鉢	(20.6)	(5.0)	—	橙	金雲母、石英、赤粒	良好	縄文	中期	
第20図	273	288	西側最北端表採	P					深鉢	(23.0)	(4.8)	—	明赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第20図	274	287	西側最北端表採	P					深鉢	(20.0)	(3.4)	—	明黄褐	石英、黒雲母、赤・黒粒	良	縄文	中期中葉	
第20図	275	69	C-8	P	2584		P 2585	2	深鉢	(23.2)	(3.8)	—	明黄褐	石英、黒粒	良好	縄文	中期	光波データ没
第20図	276	143	C-7	P	1087			2	深鉢	(17.2)	(3.5)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第20図	277	120	C-7	P	1931			2	深鉢	(12.0)	(3.6)	—	明褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第20図	278	371	C-6	P	843			2	深鉢	—	(3.0)	—	暗褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第20図	279	240	D-10	P	497			2	深鉢	—	(4.2)	—	赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	中期	

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第20図	280	372	C-6	P	729			2	深鉢	—	(4.6)	—	黄褐	石英、金黒雲母、白粒	良好	縄文	中期	
第20図	281	249	D-11	P	507			2	深鉢	—	(4.8)	—	明褐	石英多、金雲母、赤粒	良	縄文	中期	
第20図	282	302	I-4	P	2818			2	深鉢	—	(5.4)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第20図	283	324	東側調査区表採	P					深鉢	—	(3.9)	—	赤褐	石英多、金雲母	良	縄文	中期中葉	
第20図	284	327	西側最北端解体立合	P					深鉢	—	(5.0)	—	明赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第20図	285	116	K-3	P	2929			2	深鉢	—	(4.1)	—	明赤褐	石英多、金雲母多	良好	縄文	中期中葉	
第20図	286	197	D-8	P	1576			2	深鉢	—	(7.3)	—	暗赤褐	石英、金黒雲母	良	縄文	中期	
第20図	287	286	西側最北端表採	P					深鉢	—	(5.2)	—	褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第20図	288	263	J-3	P	2892	1		2	深鉢	—	(2.8)	—	明褐	石英、金雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉	
第20図	289	88	G-16	P	10			1	深鉢	(17.0)	(3.1)	—	黄灰	石英多、黒雲母、赤粒	良好	縄文	中期後葉	
第20図	290	297	J-4	P	2878			2	深鉢	(28.0)	(5.3)	—	明赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第20図	291	71	C-6	P	1357			2	深鉢	(17.0)	(4.0)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第20図	292	65	D-8	P	2603			2	深鉢	(31.4)	(4.7)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第20図	293	8	C-7	P	817		P 2825	2	鉢	(11.6)	7.9	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第20図	294	67	C-9	P	2046			2	深鉢	(30.8)	(4.0)	—	明赤褐	石英多、金雲母、赤粒	良好	縄文	中期後葉	
第21図	295	74	C-8	P	2369			2	深鉢	—	(4.8)	—	淡黄褐	石英、金黒雲母、小石	良	縄文	中期中葉～後葉	
第21図	296	93	D-8	P	1587			2	深鉢	(16.0)	(3.9)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	297	94	D-10	P	518			2	深鉢	(18.0)	(5.2)	—	褐	石英多、金黒雲母、赤粒	良	縄文	中期後葉	
第21図	298	421	B-6	P	1138			2	深鉢	(24.6)	(4.9)	—	明褐	石英、金雲母	良	縄文	中期後葉	
第21図	299	54	C-6	P	835			2	深鉢	(37.6)	(4.5)	—	明赤褐		良好	縄文	中期後葉か？	
第21図	300	211	D-7	P	2033			2	深鉢	—	(3.7)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	301	138	C-7	P	2209			2	深鉢	—	(3.1)	—	赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	302	187	D-9	P	2251			2	深鉢	—	(5.2)	—	明褐	石英、黒雲母、赤粒	良	縄文	中期後葉	
第21図	303	72	C-7	P	1630			2	深鉢	(27.0)	(6.4)	—	明褐	石英	良好	縄文	中期	
第21図	304	378	C-9	P	2547			2	深鉢	—	(7.1)	—	明褐	石英、黒雲母	良	縄文	中期	光波データ没
第21図	305	140	C-7	P	1766			2	深鉢	—	(4.4)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	306	257	D-9	P	2258			2	深鉢	—	(7.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第21図	307	189	D-9	P	1433			2	深鉢	—	(3.4)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第21図	308	355	試掘4トレンチ西	P					深鉢	—	(6.0)	—	明褐	石英、黒雲母多	良好	縄文	中期中葉	
第21図	309	234	D-10	P	441	1		2	深鉢	—	(5.9)	—	明赤褐	石英多、黒雲母	良	縄文	中期	
第21図	310	358	試掘1トレンチ	P					深鉢	—	(3.9)	—	明黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第21図	311	151	D-6	P	2707			2	深鉢	—	(3.9)	—	明褐	石英、黒雲母	良	縄文	中期後葉	
第21図	312	201	D-8	P	2627			2	深鉢	—	(2.7)	—	明褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	313	83	H-7	P	1300			2	深鉢	—	(4.7)	—	赤褐	石英、金雲母多	良好	縄文	中期後葉	
第21図	314	57	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.9)	—	橙	赤粒、石英、黒雲母	良好	縄文	中期後葉	
第21図	315	100	C-6	P	720			2	深鉢	—	(4.2)	—	赤褐	石英、黒雲母	良	縄文	中期後葉	
第21図	316	280	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.9)	—	明黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第21図	317	226	G-7	P	886			2	深鉢	—	(2.8)	—	明黄褐	石英少、黒雲母少	良好	縄文	中期	
第21図	318	84	K-4	P	2923			2	深鉢	—	(5.3)	—	赤褐	石英多、金雲母多	良	縄文	中期	
第21図	319	147	D-7	P	2037			2	深鉢	—	(5.0)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉	撚糸文
第21図	320	310	F-16	P	240			1	深鉢	—	(5.9)	—	橙	石英多、金黒雲母多	良好	縄文	中期後葉	
第21図	321	48	I-4	P	2735			2	深鉢	—	(6.5)	—	赤褐	金雲母多、石英、小石	やや粗	縄文	中期中葉	
第21図	322	141	C-7	P	1240			2	深鉢	—	(3.1)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第21図	323	131	C-7	P	2144			2	深鉢	—	(5.6)	—	暗赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第21図	324	344	B-8	P	1056			2	深鉢	—	(3.3)	—	褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第21図	329	250	D-11	P	262			2	深鉢	—	(4.9)	—	橙	石英多、黒雲母	良	縄文	中期中葉	
第22図	325	284	西側最北端表採	P					深鉢	—	(10.1)	—	明黄褐	石英、金黒雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉	
第22図	326	195	D-8	P	2438			2	深鉢	—	(6.4)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 22 図	327	329	B-8	P	撹乱				深鉢	—	(3.3)	—	暗赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	328	80	J-3	P	2876			2	深鉢	—	—	(5.0)	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	330	304	I-4	P	2812			2	深鉢	—	(5.4)	—	橙	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	331	328	B-8	P	撹乱				深鉢	—	(3.7)	—	明黄褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	332	55	F-3	P	一括				深鉢	—	(3.1)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	藤内	
第 22 図	333	367	C-6	P	1671			2	深鉢	—	(3.9)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	334	314	E-10	P	172			2	深鉢	—	(5.2)	—	褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	335	311	F-16	P	86			1	深鉢	—	(2.8)	—	橙	石英、黒雲母	良	縄文	中期中葉	
第 22 図	336	333	B-8	P	683			2	深鉢	—	(2.7)	—	褐	石英、金雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	337	82	F-5	P	1196			2	深鉢	—	(3.5)	—	赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	338	325	東側調査区表採	P					深鉢	—	(3.7)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	339	117	K-4	P	2924			2	深鉢	—	(4.1)	—	赤褐	石英、金黒雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	340	313	G-7	P	1367			2	深鉢	—	(3.7)	—	明褐	石英、黒雲母	良	縄文	中期中葉	
第 22 図	341	309	H-4	P	2919			2	深鉢	—	(3.9)	—	明赤褐	石英多、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 22 図	342	307	J-3	P	2898			2	深鉢	—	(4.5)	—	黄褐	石英、金雲母	良	縄文	中期中葉	
第 22 図	343	281	西側最北端表採	P					深鉢	—	(5.4)	—	褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	344	388	G-17	P	42			1	深鉢	—	(6.1)	—	橙	石英多、黒雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	345	254	D-11	P	421			2	深鉢	—	(5.5)	—	褐	石英多	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	346	389	G-17	P	160			1	深鉢	—	(4.1)	—	明赤褐	石英多、金雲母、赤粒	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	347	390	G-17	P	199			1	深鉢	—	(3.6)	—	橙	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	348	242	D-10	P	572			2	深鉢	—	(5.1)	—	明赤褐	石英、金雲母	良	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	349	148	D-7	P	2086			2	深鉢	—	(4.0)	—	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	350	386	G-16	P	101			1	深鉢	—	(6.0)	—	橙	石英多、金黒雲母多、赤粒	良	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	351	155	D-7	P	1988			2	深鉢	—	(5.3)	—	赤褐	石英多、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	352	149	D-7	P	1611			2	深鉢	—	(4.9)	—	赤褐	石英、小石	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	353	173	C-8	P	2267			2	深鉢	—	(7.5)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	354	175	C-8	P	1925			2	深鉢	—	(4.3)	—	褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	355	343	B-8	P	685			2	深鉢	—	(3.9)	—	褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	356	415	B-7	P	657			2	深鉢	—	(3.3)	—	黄褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	357	132	C-7	P	1971			2	深鉢	—	(6.3)	—	赤褐	石英多、金雲母多	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	358	137	C-7	P	1646			2	深鉢	—	(4.3)	—	赤褐	石英	良好	縄文	中期中葉～後葉	
第 22 図	359	118	K-4	P	2880			2	深鉢	—	(6.9)	—	明赤褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期	
第 22 図	360	387	G-16	P	99			1	深鉢	—	(6.7)	—	橙	石英多、金黒雲母	良	縄文	中期	
第 22 図	361	75	C-8	P	1486			2	台付土器	—	(3.2)	—	褐	白粒、石英、黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	362	174	C-8	P	2526			2	深鉢	—	(7.2)	—	黄褐	石英、金雲母多、赤粒	良好	縄文	中期	
第 23 図	363	144	C-7	P	823			2	深鉢	—	(7.5)	—	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	364	121	C-7	P	1714			2	深鉢	—	(6.1)	—	にぶい黄褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	365	126	C-7	P	1172			2	深鉢	—	(5.1)	—	橙	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	366	366	C-6	P	850			2	深鉢	—	(5.1)	—	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	367	127	C-7	P	818			2	深鉢	—	(3.3)	—	赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	368	86	西側最北端表採	P					深鉢	—	(1.4)	(8.6)	明褐	石英多、白粒	良	縄文	中期	
第 23 図	369	89	G-6	P	1284			2	深鉢	—	(1.5)	(7.0)	赤褐	石英多、金雲母多	良好	縄文	中期	
第 23 図	370	206	D-7	P	2517		P 2705	2	深鉢	—	(9.7)	—	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	371	420	B-7	P	一括				深鉢	—	(3.5)	(10.2)	赤褐	石英多、金雲母少	良好	縄文	中期	
第 23 図	372	62	D-7	P	2512			2	深鉢	—	(3.3)	(11.4)	赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	373	91	I-4	P	2909			2	深鉢	—	(1.4)	(15.0)	明赤褐	石英多、金黒雲母、黒粒	良好	縄文	中期	
第 23 図	374	92	D-8	P	1377			2	深鉢	—	(4.1)	(14.6)	黄褐	石英多、金黒雲母	良	縄文	中期	
第 23 図	375	90	F-3	P	1126			2	深鉢	—	(2.2)	(17.0)	赤褐	石英多	良好	縄文	中期	

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	枝番	接合	層位	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 23 図	376	68	C-8	P	1568			2	深鉢	—	(2.4)	(17.4)	明褐	石英多、金雲母多	良	縄文	中期	
第 23 図	377	85	西側最北端表採	P					深鉢	—	(4.3)	(17.0)	明褐	石英多、金黒雲母、白粒	良好	縄文	中期	
第 23 図	378	64	C-9	P	1471			2	深鉢	—	(1.4)	(14.0)	橙	石英多、金黒雲母	良	縄文	中期	
第 23 図	379	87	D-11	P	306		P 369	2	深鉢	—	(5.6)	(17.0)	明赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	380	66	C-9	P	1027			2	深鉢	—	(3.0)	(15.0)	明赤褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	381	51	C-7	P	1332			2	深鉢	—	(5.2)	〔10．4〕	明赤褐	石英、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 23 図	382	63	D-7	P	2029			2	深鉢	—	(4.9)	(10.6)	明褐	金雲母、石英	良	縄文	中期	
第 23 図	383	33	D-11	P	321		西側最北端表採	2	台形土器	(23.0)	2.1	—	褐	石英、金黒雲母	良	縄文	中期	
第 23 図	384	98	D-11	P	267		P 489	2	深鉢	—	(4.7)	(29.2)	明赤褐	石英多、金黒雲母、小石	良好	縄文	中期	
第 24 図	385	383	西側最北端表採	P					台付土器	—	(4.9)	(17.0)	明褐	石英、金雲母	良好	縄文	中期中葉	
第 24 図	386	96	5 ピット	P	9	2	P 15、一括	3	台付土器	(12.4)	(2.8)	—	赤褐	石英多、金黒雲母	良好	縄文	中期	
第 24 図	387	382	C-9	P	2723			2	台付土器	—	(5.6)	(18.0)	明褐	石英、黒雲母	良好	縄文	中期中葉	

第 3 表　土製円盤観察表

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	長径（cm）	短径（cm）	厚さ（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 25 図	1	427	C-9	P	一括		土製円盤	2.7	2.4	1.0	明褐	白・赤粒、黒雲母、石英	良	縄文		
第 25 図	2	435	D-10	P	一括		土製円盤	2.9	2.7	1.0	橙	白・黒粒、石英、金黒雲母	良好	縄文		
第 25 図	3	434	C-8	P	一括		土製円盤	2.9	2.8	0.8	赤褐	白・赤粒、石英、金雲母	良好	縄文		
第 25 図	4	429	D-7	P	一括		土製円盤	3.2	(2.9)	1.0	明褐	白・赤粒、石英、金雲母、小石	良好	縄文		
第 25 図	5	438	C-8	P	一括		土製円盤	3.2	3.1	0.8	赤褐	白・赤粒、石英、金雲母	良	縄文		
第 25 図	6	430	D-11	P	494	2	土製円盤	3.8	3.6	1.4	褐	白・赤粒、石英、黒雲母	良	縄文		
第 25 図	7	428	D-7	P	1250	2	土製円盤	3.6	3.6	1.0	明赤褐	白・赤・黒粒、金雲母、石英	良好	縄文		
第 25 図	8	433	C-6	P	一括		土製円盤	3.7	3.6	1.2	明赤褐	白・赤粒、金黒雲母	良好	縄文		
第 25 図	9	439	D-10	P	282	2	土製円盤	3.8	3.4	0.9	褐	黒粒、石英、金黒雲母	良	縄文		
第 25 図	10	436	C-6	P	2710	2	土製円盤	3.7	3.4	1.2	褐	白・黒粒、石英、金黒雲母	良	縄文		
第 25 図	11	437	B-6	P	705	2	土製円盤	3.8	3.5	1.2	褐	白粒、金黒雲母、石英	良	縄文		
第 25 図	12	431	D-9	P	1446	2	土製円盤	4.4	3.9	1.1	明赤褐	白・赤・黒粒、黒雲母、石英	良好	縄文		
第 25 図	13	432	C-7	P	2207	2	土製円盤	4.2	(3.3)	1.3	橙	白・赤粒子、石英、黒雲母	良好	縄文	中期	

第 4 表　土偶観察表

図番号	番号	大グリッド	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	部位	色調	胎土	最大長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重量（g）	時期
第 26 図	2		C-7		一括		土偶	頭部	褐	雲母・白色砂礫	(2.2)	(3.5)	(1.4)	(10.3)	中期中葉
第 26 図	3	C-007	C-7	DO	2	2	土偶	脚部	明褐	黒雲母・石英・白粒	(4.2)	(9.7)	(4.4)	(115.3)	中期
第 26 図	1	D-011	D-11	DO	1	2	土偶	頭部	黄褐	雲母・石英	(7.2)	(5.8)	(4.6)	(137.9)	中期中葉

第５表　小形石器内訳表

	石鏃				石錐		石匙			楔形石器			二次加工剥片		ＵＦ（ＭＦ）		石核				原石		
	黒曜石	チャート	水晶	ジャスパー	黒曜石	チャート	黒曜石	チャート	ジャスパー	黒曜石	チャート	ジャスパー	黒曜石	チャート	黒曜石	チャート	黒曜石	チャート	水晶	ジャスパー	黒曜石	水晶	ジャスパー
1 号溝	4	1	1																				
2 号溝	2																						
B-7	1																						
B-8	2																						
C-5	1																						
C-6	8	1								3					2		3				4		
C-7	10	1		1	1	1	1			9	2		5		1		5				5	1	
C-8	30	3			1				1	7	1		4	1	3	1	21	1			11		1
C-9	6				3					3		1	2		2		11				1		
C-10	2																2						
D-6	2	1											1		1		3				1		
D-7	5	1									1		3				7			1	2		
D-8	17	1			1			1		2			5	1	2	1	17			1	4		3
D-9	1									1							3						
D-10	20	2			2					3	1	1	1	1	2	1	16		1		4		
D-11	23	1	1		1												10				4		
D-16（撹乱）	1																						
E-10	1																						
E-15																	1						
F-4	1																						
F-5	1				1																		
F-6																							
F-7	1																						
F-15																							
F-16																	1						
F-17	1																1						
G-5																	3						
G-6	3																				1		
G-7	6									1							1						
G-8	1																						
G-16	1																2						
G-17	1									1											1		
H-4																			1				
H-6															1								
H-7	2																2				1		
I-2								1															
I-3																							
I-4	2																1						
J-2																	1						
J-3	2																						
K-3																							
K-4	1																1			1			
東側調査区一括	5																		1				
一括	1																						
計	165	12	2	1	10	1	1	2	1	30	5	2	21	3	14	3	112	1	3	3	39	1	4

第６表　石器観察表

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
第 27 図	1	1 溝	OB	135	3	石鏃	黒曜石	24.6	12.6	3.9	0.9	片脚欠	1
第 27 図	2	1 溝	CH	9	3	石鏃	チャート	(12.4)	(11.8)	3.5	0.5	先端・片脚欠	87
第 27 図	3	1 溝	CR	10	3	石鏃	水晶	(15.7)	(13.4)	5.0	1.0	欠	98
第 27 図	4	1 溝	OB	101	3	石錐	黒曜石	21.8	8.3	3.8	0.5		
第 28 図	5	D-11	OB	2245	2	石鏃	黒曜石	9.1	8.5	0.9	0.1		62
第 28 図	6	D-11	OB	2948	2	石鏃	黒曜石	12.3	11.9	2.4	0.2		66
第 28 図	7	C-6	OB	4606	2	石鏃	黒曜石	(11.7)	(11.6)	2.7	0.3	片脚欠	5
第 28 図	8	H-7	OB	一括		石鏃	黒曜石	13.0	(11.5)	2.7	0.3	片脚欠	83
第 28 図	9	C-8	OB	5826	2	石鏃	黒曜石	(9.7)	(10.3)	3.0	0.3	先端・片脚欠	20
第 28 図	10	C-8	OB	4036	2	石鏃	黒曜石	13.0	12.4	2.7	0.3		14
第 28 図	11	D-10	OB	3416	2	石鏃	黒曜石	13.6	15.2	3.5	0.5		70
第 28 図	12	C-9	OB	5533	2	石鏃	黒曜石	11.5	9.7	2.9	0.3		32
第 28 図	13	D-10	OB	3032	2	石鏃	黒曜石	16.2	14.9	4.1	0.8		53
第 28 図	14	C-7	OB	5987	2	石鏃	黒曜石	(11.4)	(13.6)	2.5	0.3	先端・片脚欠	11
第 28 図	15	D-11	OB	2848	2	石鏃	黒曜石	(14.9)	(16.4)	3.9	0.6	先端・片脚欠	65
第 28 図	16	C-6	OB	5279	2	石鏃	黒曜石	17.8	15.9	3.6	0.8		8
第 28 図	17	D-11	OB	2980	2	石鏃	黒曜石	18.2	17.4	3.0	0.7		67
第 28 図	18	D-7	CH	114	2	石鏃	チャート	(15.6)	19.4	3.8	1.1	先端欠	93
第 28 図	19	G-7	OB	6940	2	石鏃	黒曜石	(14.5)	(16.7)	2.7	0.5	先端・両脚欠	76
第 29 図	20	D-11	CH	95	2	石鏃	チャート	17.3	14.4	6.1	1.1		97
第 29 図	21	C-8	OB	6553	2	石鏃	黒曜石	(16.0)	(11.8)	2.5	0.3	片脚欠	26
第 29 図	22	D-11	OB	1936	2	石鏃	黒曜石	16.7	14.2	3.6	0.7		59
第 29 図	23	D-8	OB	9147	2	石鏃	黒曜石	19.4	16.9	5.4	1.0		45
第 29 図	24	C-10	OB	1529	2	石鏃	黒曜石	13.3	10.4	2.7	0.3		35
第 29 図	25	D-8	CH	54	2	石鏃	チャート	(16.0)	(11.2)	2.9	0.4	先端・片脚欠	94
第 29 図	26	C-7	OB	7114	2	石鏃	黒曜石	15.9	11.9	2.9	0.4		12
第 29 図	27	D-10	OB	3702	2	石鏃	黒曜石	(13.4)	(9.5)	3.5	0.4	先端・両脚欠	149
第 29 図	28	C-8	OB	7753	2	石鏃	黒曜石	(15.3)	(10.5)	3.1	0.3	両脚欠	28
第 29 図	29	C-8	OB	6172	2	石鏃	黒曜石	17.7	11.9	3.9	0.6		24
第 29 図	30	C-8	OB	8340	2	石鏃	黒曜石	(13.3)	12.0	4.1	0.6	先端欠	30
第 29 図	31	K-4	OB	9630	2	石鏃	黒曜石	(11.7)	(11.8)	3.4	0.5	先端・両脚欠	86
第 29 図	32	D-10	OB	2792	2	石鏃	黒曜石	(17.7)	(14.4)	3.1	0.7	両脚欠	50
第 29 図	33	C-8	CH	92	2	石鏃	チャート	(14.3)	13.3	4.2	0.7	先端欠	90
第 29 図	34	C-7	CH	74	2	石鏃	チャート	(15.0)	(12.0)	3.5	0.5	先端・片脚欠	89
第 29 図	35	C-6	CH	一括		石鏃	チャート	17.1	(11.7)	3.2	0.5	片脚欠	88
第 29 図	36	D-11	OB	2837	2	石鏃	黒曜石	(16.6)	(12.0)	3.8	0.5	先端・片脚欠	64
第 29 図	37	C-8	OB	6073	2	石鏃	黒曜石	(15.0)	(12.4)	4.0	0.6	両脚欠	22
第 29 図	38	C-9	OB	5024	2	石鏃	黒曜石	(19.3)	(12.0)	3.3	0.5	両脚欠	31
第 29 図	39	D-8	OB	5166	2	石鏃	黒曜石	19.3	(13.7)	4.7	0.9	片脚欠	41
第 29 図	40	D-8	OB	8449	2	石鏃	黒曜石	(22.2)	(13.3)	4.1	0.5	先端・片脚欠	43
第 30 図	41	D-10	OB	3260	2	石鏃	黒曜石	(17.7)	(15.3)	3.4	0.7	両脚欠	55
第 30 図	42	G-8	OB	一括		石鏃	黒曜石	18.3	13.2	3.8	0.6		79
第 30 図	43	D-11	OB	151	2	石鏃	黒曜石	(20.3)	(13.7)	3.4	0.6	片脚欠	58
第 30 図	44	I-4	OB	9579	2	石鏃	黒曜石	22.3	16.0	4.2	1.2	片脚欠	84
第 30 図	45	C-7	OB	4423	2	石鏃	黒曜石	19.8	14.3	6.3	1.2		10
第 30 図	46	D-11	OB	2280	2	石鏃	黒曜石	20.8	12.0	3.9	0.7		61
第 30 図	47	C-8	OB	7766	2	石鏃	黒曜石	19.2	14.3	4.4	1.0	右側一部欠か	29

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
第 30 図	48	D-9	OB	9345	2	石鏃	黒曜石	19.4	(12.3)	4.6	0.8	片脚欠	46
第 30 図	49	B-8	OB	4474	2	石鏃	黒曜石	17.0	11.3	3.2	0.5		3
第 30 図	50	C-8	OB	7584	2	石鏃	黒曜石	15.6	12.1	2.8	0.5		27
第 30 図	18	C-8	OB	5787	2	石鏃	黒曜石	19.9	15.7	3.9	1.0		18
第 30 図	52	F-4	OB	5337	2	石鏃	黒曜石	16.7	11.6	4.0	0.7		73
第 30 図	53	D-8	OB	8500	2	石鏃	黒曜石	19.3	9.8	4.1	0.7		44
第 30 図	54	D-8	OB	4163	2	石鏃	黒曜石	19.2	(11.0)	3.4	0.5	片脚欠	37
第 30 図	55	C-9	OB	9181	2	石鏃	黒曜石	(21.0)	14.1	3.8	0.9	先端・片脚欠	34
第 30 図	56	C-7	OB	8784	2	石鏃	黒曜石	(20.9)	16.9	4.6	1.5	先端欠	13
第 30 図	57	D-8	OB	7260	2	石鏃	黒曜石	(22.2)	(13.3)	4.1	0.9	先端・片脚欠	42
第 30 図	58	D-11	CR	14	2	石鏃	水晶	(9.2)	9.6	2.0	0.1	先端欠	99
第 30 図	59	D-10	CH	131	2	石鏃	チャート	25.4	15.0	4.1	1.3		95
第 30 図	60	D-11	OB	3042	2	石鏃	黒曜石	19.2	(12.5)	2.9	0.4	片脚欠	68
第 31 図	61	D-10	OB	2877	2	石鏃	黒曜石	21.5	16.0	4.8	1.1		51
第 31 図	62	C-6	OB	5256	2	石鏃	黒曜石	18.4	12.0	2.6	0.4		7
第 31 図	63	D-10	OB	3379	2	石鏃	黒曜石	31.1	(16.4)	3.4	1.4	片脚欠	57
第 31 図	64	D-10	OB	3036	2	石鏃	黒曜石	(22.8)	(14.0)	4.2	1.0	先端・片脚欠	54
第 31 図	65	D-10	CH	21	2	石鏃	チャート	(16.9)	16.9	4.3	1.2	先端欠	96
第 31 図	66	C-8	OB	6039	2	石鏃	黒曜石	(20.8)	(11.9)	2.9	0.4	片脚欠	21
第 31 図	67	D-10	OB	3316	2	石鏃	黒曜石	18.6	(9.2)	2.4	0.3	片脚欠	56
第 31 図	68	E-10	OB	3869	2	石鏃	黒曜石	19.8	(11.9)	3.1	0.4	片脚欠	72
第 31 図	69	D-11	OB	2748	2	石鏃	黒曜石	19.1	(10.5)	3.0	0.3	片脚欠	63
第 31 図	70	D-10	OB	1758	2	石鏃	黒曜石	23.3	(13.6)	3.8	0.7	片脚欠	48
第 31 図	71	D-8	OB	4731	2	石鏃	黒曜石	(18.9)	(11.0)	2.7	0.7	両脚欠	39
第 31 図	72	C-8	OB	5789	2	石鏃	黒曜石	(17.9)	(14.6)	2.9	0.5	片脚欠	19
第 31 図	73	C-8	OB	4863	2	石鏃	黒曜石	(13.4)	(11.0)	2.6	0.2	先端・片脚欠	17
第 31 図	74	D-8	OB	4178	2	石鏃	黒曜石	22.7	(14.8)	5.4	1.0	片脚欠	38
第 31 図	75	I-4	OB	9716	2	石鏃	黒曜石	(12.2)	13.3	3.1	0.3	先端欠	85
第 32 図	76	C-6	OB	5289	2	石鏃	黒曜石	26.8	16.5	4.3	1.3		9
第 32 図	77	D-11	OB	3393	2	石鏃	黒曜石	19.9	(14.4)	3.3	0.5	片脚欠	69
第 32 図	78	B-8	OB	4010	2	石鏃	黒曜石	(12.2)	(9.1)	2.4	0.2	両脚欠	2
第 32 図	79	D-11	OB	2230	2	石鏃	黒曜石	13.0	(9.7)	2.6	0.2	片脚欠	60
第 32 図	80	D-10	OB	2558	2	石鏃	黒曜石	15.7	(8.4)	2.4	0.4	片脚欠	49
第 32 図	81	G-7	OB	一括		石鏃	黒曜石	(19.1)	(17.2)	1.4	0.5	先端・両脚欠	78
第 32 図	82	C-8	OB	4861	2	石鏃	黒曜石	14.2	12.0	3.3	0.5		16
第 32 図	83	C-8	OB	6207	2	石鏃	黒曜石	16.4	13.9	3.9	0.6		25
第 32 図	84	D-8	OB	5151	2	石鏃	黒曜石	16.7	11.0	4.0	0.5		40
第 32 図	85	C-5	OB	4664	2	石鏃	黒曜石	15.8	10.7	3.8	0.5	焼けてる	4
第 32 図	86	D-11	OB	3791	2	石鏃	黒曜石	17.9	13.5	4.4	0.9		71
第 32 図	87	C-8	OB	4551	2	石鏃	黒曜石	17.0	14.4	4.9	0.8		15
第 32 図	88	C-6	OB	5234	2	石鏃	黒曜石	(11.7)	(11.6)	2.7	0.8	片脚欠	6
第 32 図	89	H-7	OB	7314	2	石鏃	黒曜石	10.4	8.9	1.7	0.1	焼いた剥片を加工	82
第 32 図	90	G-7	OB	7307	2	石鏃	黒曜石	12.4	9.5	1.8	0.2		77
第 32 図	91	D-10	OB	255	2	石鏃	黒曜石	(14.4)	(16.0)	4.3	1.0	先端欠	47
第 32 図	92	C-8	CH	52	2	石鏃	チャート	21.3	(14.9)	5.9	2.1	一部欠	91
第 32 図	93	G-6	OB	6928	2	石鏃	黒曜石	17.8	(13.2)	3.2	0.6	欠	75
第 33 図	94	J-3	OB	9537	2	石鏃	黒曜石	23.4	15.4	6.4	1.9		81
第 33 図	95	C-8	CH	33	2	石鏃	チャート	23.6	19.0	6.9	2.9		92

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（㎜）	最大幅（㎜）	最大厚（㎜）	重量（g）	備考	委託番号
第 33 図	96	C-7	J	33	2	石鏃	ジャスパー	21.5	18.3	4.8	1.6		100
第 33 図	97	G-17	OB	1966	1	石鏃	黒曜石	(23.6)	(16.9)	7.6	2.4	下部欠	80
第 33 図	98	C-9	OB	7549	2	石鏃	黒曜石	20.1	16.6	7.2	1.9		33
第 33 図	99	D-7	OB	8429	2	石鏃	黒曜石	15.4	10.3	3.8	0.6		36
第 33 図	100	C-8	OB	6126	2	石鏃	黒曜石	(15.7)	(14.3)	4.7	1.0	先端欠、焼けてる	23
第 33 図	101	F-5	OB	一括		石鏃	黒曜石	(15.4)	(12.1)	4.2	0.7	欠	74
		1 溝	OB	26	3	石鏃	黒曜石	(1.4)	(0.8)	(0.3)	(0.2)	片脚欠	
		1 溝	OB	155	3	石鏃	黒曜石	(0.8)	(0.7)	(0.2)	(0.1)	破片	
		1 溝	OB	264	3	石鏃	黒曜石	(1.1)	(1.3)	(0.4)	(0.4)	両脚欠	
		2 溝	OB	49	3	石鏃	黒曜石	(1.6)	(1.2)	(0.3)	(0.4)	先端・片脚欠	
		2 溝	OB	61	3	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.1)	(0.2)	(0.2)	先端・両脚欠	
		B-7	OB	4453	2	石鏃	黒曜石	(1.2)	(0.9)	(0.4)	(0.3)	両脚欠	
		C-10	OB	2290	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.0)	(0.2)	(0.1)	両脚欠	
		C-6	OB	4580	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.1)	(0.3)	(0.3)	両脚欠	
		C-6	OB	5275	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(1.2)	(0.2)	(0.3)	先端・両脚欠	
		C-6	OB	8147	2	石鏃	黒曜石	(1.0)	(1.5)	(0.3)	(0.4)	先端・片脚欠	
		C-7	OB	4758	2	石鏃	黒曜石	(1.5)	(1.1)	(0.2)	(0.3)	両脚欠	
		C-7	OB	5624	2	石鏃	黒曜石	(1.3)	(1.0)	(0.3)	(0.2)	片脚残存	
		C-7	OB	5700	2	石鏃	黒曜石	(1.5)	(1.1)	(0.3)	(0.3)	両脚欠	
		C-7	OB	6512	2	石鏃	黒曜石	(2.0)	(1.3)	(0.5)	(1.0)	片脚欠	
		C-7	OB	7974	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(0.7)	(0.3)	(0.1)	破片	
		C-7	OB	8804	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.1)	(0.4)	(0.6)	片脚欠	
		C-8	OB	4047	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(0.9)	(0.2)	(0.2)	両脚欠	
		C-8	OB	4889	2	石鏃	黒曜石	(2.0)	(1.7)	(0.4)	(0.9)	先端・片脚欠	
		C-8	OB	5909	2	石鏃	黒曜石	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.6)	先端・片脚欠	
		C-8	OB	6014	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(1.2)	(0.3)	(0.4)	両脚欠	
		C-8	OB	6165	2	石鏃	黒曜石	(2.2)	(1.2)	(0.3)	(0.6)	片脚欠	
		C-8	OB	6756	2	石鏃	黒曜石	(1.5)	(0.7)	(0.3)	(0.2)	片脚残存	
		C-8	OB	7381	2	石鏃	黒曜石	(1.1)	(0.9)	(0.2)	(0.1)	先端・片脚欠	
		C-8	OB	7580	2	石鏃	黒曜石	(1.8)	(1.2)	(0.6)	(0.9)	両脚欠	
		C-8	OB	7774	2	石鏃	黒曜石	(1.0)	(1.3)	(0.3)	(0.2)	両脚欠	
		C-8	OB	8680	2	石鏃	黒曜石	(1.0)	(1.6)	(0.2)	(0.2)	先端欠	
		C-8	OB	9121	2	石鏃	黒曜石	(1.6)	(1.3)	(0.3)	(0.5)	先端・片脚欠	
		C-8	OB	9569	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(1.1)	(0.4)	(0.5)	両脚欠	
		C-9	OB	5904	2	石鏃	黒曜石	(1.0)	(1.3)	(0.3)	(0.5)	先端欠	
		C-9	OB	9323	2	石鏃	黒曜石	(1.6)	(1.5)	(0.4)	(0.7)	両脚欠	
		D-10	OB	2316	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.5)	(0.5)	(1.1)	先端・両脚欠	
		D-10	OB	2541	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.1)	(0.2)	(0.1)	両脚欠	
		D-10	OB	3029	2	石鏃	黒曜石	22.0	16.5	5.6	1.9	作りかけ	52
		D-10	OB	3411	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.1)	(0.2)	(0.2)	先端・両脚欠	
		D-10	OB	3583	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(1.0)	(0.2)	(0.2)	破片	
		D-10	OB	3591	2	石鏃	黒曜石	(0.7)	(1.6)	(0.3)	(0.4)	先端欠	
		D-10	OB	3602	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.2)	(0.3)	(0.3)	先端・片脚欠	
		D-10	OB	3682	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(0.9)	(0.4)	(0.3)	両脚欠	
		D-11	OB	77	3	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.1)	(0.3)	(0.3)	先端・片脚欠	
		D-11	OB	801	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(1.0)	(0.2)	(0.2)	先端・片脚欠	
		D-11	OB	1175	2	石鏃	黒曜石	(0.5)	(0.5)	(0.2)	0.0	破片	
		D-11	OB	1798	2	石鏃	黒曜石	(0.7)	(0.8)	(0.1)	(0.1)	両脚欠	

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備考	委託番号
		D-11	OB	2726	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(1.0)	(0.3)	(0.4)	先端・片脚欠	
		D-11	OB	2856	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.5)	(0.3)	(0.3)	先端欠	
		D-11	OB	3293	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(0.8)	(0.4)	(0.4)	先端・片脚欠	
		D-11	OB	3442	2	石鏃	黒曜石	(1.0)	(1.1)	(0.2)	(0.2)	両脚欠	
		D-11	OB	3558	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(0.7)	(0.3)	(0.1)	両脚欠	
		D-11	OB	3613	2	石鏃	黒曜石	(0.9)	(0.5)	(0.2)	0.0	破片	
		D-6	OB	8062	2	石鏃	黒曜石	(0.6)	(0.5)	(0.1)	0.0	破片	
		D-6	OB	8072	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(0.6)	(0.1)	(0.1)	破片	
		D-7	OB	4243	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(0.9)	(0.4)	(0.4)	先端・両脚欠	
		D-7	OB	4281	2	石鏃	黒曜石	(1.3)	(1.0)	(0.3)	(0.3)	先端・片脚欠	
		D-7	OB	6272	2	石鏃	黒曜石	(0.8)	(1.0)	(0.2)	(0.2)	両脚欠	
		D-7	OB	7502	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(1.1)	(0.3)	(0.4)	両脚欠	
		D-8	OB	4186	2	石鏃	黒曜石	12.6	(15.7)	5.5	0.5	片脚欠	
		D-8	OB	4193	2	石鏃	黒曜石	(1.9)	(1.1)	(0.6)	(0.7)	先端・片脚欠	
		D-8	OB	6139	2	石鏃	黒曜石	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.4)	先端・両脚欠	
		D-8	OB	6499	2	石鏃	黒曜石	1.1	1.0	0.3	0.2		
		D-8	OB	7204	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.8)	(0.3)	(0.9)	先端・片脚欠	
		D-8	OB	7864	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.2)	(0.4)	(0.6)	先端・片脚欠	
		D-8	OB	9246	2	石鏃	黒曜石	(1.4)	(1.7)	(0.5)	(1.0)	先端・両脚欠	
		D-8	OB	9255	2	石鏃	黒曜石	(1.1)	(1.4)	(0.3)	(0.4)	先端・両脚欠	
		F-17	OB	892	1	石鏃	黒曜石	(1.5)	(0.8)	(0.3)	(0.3)	先端・片脚欠	
		F-7	OB	5487	2	石鏃	黒曜石	(1.2)	(1.7)	(0.4)	(0.6)	先端・片脚欠	
		G-16	OB	440	1	石鏃	黒曜石	(1.2)	(0.8)	(0.2)	(0.2)	先端・両脚欠	
		G-6	OB	5411	2	石鏃	黒曜石	(1.2)	(1.6)	(0.3)	(0.5)	先端欠	
		G-6	OB	5420	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.3)	(0.3)	(0.6)	先端欠	
		G-7	OB	7005	2	石鏃	黒曜石	(2.3)	(1.3)	(0.3)	(0.3)		
		G-7	OB	7024	2	石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.4)	(0.3)	(0.5)		
		J-3	OB	9595	2	石鏃	黒曜石	(1.8)	(0.8)	(0.5)	(0.4)		
		C-8	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.7)	(1.4)	(0.4)	(0.7)	先端・片脚欠	
		D-16(撹乱)	OB	一括		石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.2)	(0.2)	(0.2)	先端	
		G-7	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.5)	(1.4)	(0.4)	(0.6)	先端・両脚欠	
		東側調査区	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.4)	(0.9)	(0.3)	(0.3)	両脚欠	
		東側調査区	OB	一括		石鏃	黒曜石	(0.9)	(1.5)	(0.5)	(0.4)	先端・両脚欠	
		東側調査区	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(0.9)	一部欠	
		東側調査区	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.8)	(1.3)	(0.4)	(0.6)	片脚欠	
		東側調査区	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.6)	(1.2)	(0.5)	(0.5)	片脚欠	
		一括	OB	一括		石鏃	黒曜石	(1.9)	(1.3)	(0.6)	(0.9)	片脚欠	
		D-6	CH	47	2	石鏃	チャート	(1.1)	(0.8)	(0.3)	(0.2)	片脚欠	
第 33 図	102	C-7	OB	7106	2	石錐	黒曜石	24.9	7.1	5.1	0.8		101
第 33 図	103	C-8	OB	4069	2	石錐	黒曜石	21.6	16.7	4.5	1.3		102
第 33 図	104	C-9	OB	8259	2	石錐	黒曜石	16.3	11.5	5.6	1.0		103
第 33 図	105	C-9	OB	7332	2	石錐	黒曜石	13.8	6.2	3.4	0.3		104
第 33 図	106	C-9	OB	7512	2	石錐	黒曜石	21.7	9.6	6.3	1.1		105
第 33 図	107	D-8	OB	5131	2	石錐	黒曜石	21.9	9.2	6.5	1.2		106
第 33 図	108	D-10	OB	2868	2	石錐	黒曜石	14.8	9.8	4.3	0.5		107
第 33 図	109	D-10	OB	2959	2	石錐	黒曜石	23.2	12.2	7.3	1.0		108
第 33 図	110	D-11	OB	2769	2	石錐	黒曜石	13.5	13.3	5.4	0.5	または有舌尖頭器基部	109
第 33 図	111	F-5	OB	6676	2	石錐	黒曜石	22.2	16.0	7.9	2.3		110

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（㎜）	最大幅（㎜）	最大厚（㎜）	重量（g）	備考	委託番号
第 33 図	112	C-7	CH	73	2	石錐	チャート	21.2	10.5	6.8	1.5		111
		東側調査区	OB	一括		石錐	黒曜石	25.3			1.6		
第 34 図	113	C-7	OB	8091	2	石匙	黒曜石	14.1	14.9	5.8	0.7	ミニ	112
第 34 図	114	Ⅰ－2		一括		石匙	チャート	22.6	18.3	7.7	3.0		114
第 34 図	115	D-8	CH	28	2	石匙	チャート	22.6	20.3	6.9	3.7	部分	113
第 34 図	116	C-8	J	83	2	石匙	ジャスパー	32.8	34.5	8.0	9.8		115
第 34 図	117	C-7	J	120	2	掻器	黄玉石	35.6	67.5	14.7	37.5		116
第 34 図	118	C-6	OB	5223	2	楔形石器	黒曜石	21.2	10.9	4.8	1.0		117
第 34 図	119	C-7	OB	7941	2	楔形石器	黒曜石	28.5	20.8	5.5	2.5		118
第 34 図	120	C-9	J	104	2	楔形石器	ジャスパー	31.7	16.1	6.8	4.2		125
第 34 図	121	D-11	OB	3780	2	楔形石器	黒曜石	26.8	9.2	7.5	1.4	削片	121
第 34 図	122	D-10	OB	2377	2	楔形石器	黒曜石	21.5	17.0	5.9	1.8		120
第 34 図	123	D-7	CH	122	2	楔形石器	チャート	25.4	14.7	7.6	3.0		123
第 34 図	124	D-10	J	15	2	楔形石器	ジャスパー	25.2	19.4	8.1	3.6		126
第 34 図	125	G-7	OB	5479	2	楔形石器	黒曜石	34.1	7.6	6.4	2.4		122
第 34 図	126	D-10	CH	23	2	楔形石器	チャート	26.0	24.2	9.5	6.8		124
第 34 図	127	C-7	OB	4437	2	楔形石器	黒曜石	24.0	13.8	7.5	2.1		119
		C-6	OB	5243	2	楔形石器	黒曜石	14.6			1.0		
		C-6	OB	5580	2	楔形石器	黒曜石	24.0			1.9		
		C-7	OB	4356	2	楔形石器	黒曜石	25.0			1.6		
		C-7	OB	4393	2	楔形石器	黒曜石	21.0			1.4		
		C-7	OB	6083	2	楔形石器	黒曜石	21.0			1.7		
		C-7	OB	7937	2	楔形石器	黒曜石	27.0			2.9		
		C-7	OB	8390	2	楔形石器	黒曜石	22.0			1.4		
		C-7	OB	8792	2	楔形石器	黒曜石	25.0			2.6		
		C-7	OB	9275	2	楔形石器	黒曜石	17.0			0.9		
		C-8	OB	4030	2	楔形石器	黒曜石	25.0			1.8		
		C-8	OB	4893	2	楔形石器	黒曜石	28.0			2.2		
		C-8	OB	6064	2	楔形石器	黒曜石	30.0			2.2		
		C-8	OB	7361	2	楔形石器	黒曜石	24.0			1.3		
		C-8	OB	8293	2	楔形石器	黒曜石	15.0			1.0		
		C-8	OB	8294	2	楔形石器	黒曜石	23.0			1.7		
		C-8	OB	9200	2	楔形石器	黒曜石	19.0			1.0		
		C-9	OB	5511	2	楔形石器	黒曜石	24.0			1.5		
		C-9	OB	5955	2	楔形石器	黒曜石	26.0			1.1		
		C-9	OB	9162	2	楔形石器	黒曜石	16.0			0.4		
		D-7	OB	一括		楔形石器	黒曜石	27.8			2.2		
		D-8	OB	5864	2	楔形石器	黒曜石	24.0			1.0		
		D-8	OB	8431	2	楔形石器	黒曜石	22.0			1.5		
		D-9	OB	8961	2	楔形石器	黒曜石	24.0			2.0		
		D-10	OB	3315	2	楔形石器	黒曜石	28.0			1.8		
		G-17	OB	1446	1	楔形石器	黒曜石	14.2			0.5		
		東側調査区表採	OB	一括		楔形石器	黒曜石	29.0			5.3		
		C-7	CH	48	2	楔形石器	チャート	27.0			3.3		
		C-8	CH	79	2	楔形石器	チャート	24.0			2.4		
		C-7	CH	一括		楔形石器	チャート	22.0			1.7		
第 35 図	128	C-7	OB	4765	2	二次加工剥片	黒曜石	20.8	12.9	3.5	1.1		127
第 35 図	129	C-7	OB	7616	2	二次加工剥片	黒曜石	29.2	9.2	4.8	0.9		128

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
第 35 図	130	C-8	OB	6668	2	二次加工剥片	黒曜石	19.6	14.6	6.0	1.3		129
第 35 図	131	C-8	OB	7561	2	二次加工剥片	黒曜石	29.7	11.5	5.7	1.3		130
第 35 図	132	C-9	OB	9513	2	二次加工剥片	黒曜石	19.6	11.5	4.0	0.7		131
第 35 図	133	D-8	OB	5881	2	二次加工剥片	黒曜石	15.2	8.6	2.9	0.3		132
第 35 図	134	D-10	OB	3574	2	二次加工剥片	黒曜石	20.6	13.0	6.9	1.7		133
第 35 図	135	C-8	CH	34	2	二次加工剥片	チャート	25.6	14.7	5.4	2.1		134
第 35 図	136	D-8	CH	39	2	二次加工剥片	チャート	30.0	14.6	3.5	1.7		135
第 35 図	137	D-10	CH	22	2	二次加工剥片	チャート	26.4	21.4	4.4	2.3		136
		C-7	OB	5983	2	二次加工剥片	黒曜石	14.0			0.4		
		C-7	OB	6081	2	二次加工剥片	黒曜石	16.2			0.6		
		C-7	OB	8355	2	二次加工剥片	黒曜石	23.0			1.0		
		C-8	OB	4031	2	二次加工剥片	黒曜石	24.0			1.7		
		C-8	OB	5721	2	二次加工剥片	黒曜石	21.0			0.5		
		C-9	OB	7722	2	二次加工剥片	黒曜石	15.0			0.6		
		D-6	OB	8225	2	二次加工剥片	黒曜石	12.4			0.3		
		D-7	OB	6794	2	二次加工剥片	黒曜石	22.0			1.6		
		D-7	OB	6849	2	二次加工剥片	黒曜石	20.0			0.4		
		D-7	OB	7868	2	二次加工剥片	黒曜石	12.2			0.4		
		D-8	OB	5872	2	二次加工剥片	黒曜石	23.0			2.1		
		D-8	OB	7232	2	二次加工剥片	黒曜石	24.0			1.6		
		D-8	OB	7663	2	二次加工剥片	黒曜石	16.2			0.2		
		D-8	OB	9042	2	二次加工剥片	黒曜石	15.6			0.5		
第 35 図	138	C-9	OB	7335	2	UF(MF)	黒曜石	24.3	36.3	6.3	4.5		137
第 35 図	139	D-6	OB	8049	2	UF(MF)	黒曜石	21.9	18.5	6.0	2.0		138
第 35 図	140	D-8	OB	7903	2	UF(MF)	黒曜石	23.9	13.0	5.8	1.3		139
第 35 図	141	D-8	OB	9060	2	UF(MF)	黒曜石	19.8	28.8	7.7	3.8		140
第 35 図	142	J-3	OB	9561	2	UF(MF)	黒曜石	30.0	14.4	8.7	2.7		141
第 35 図	143	D-10	CH	106	2	UF(MF)	チャート	21.3	16.3	2.5	0.8		142
		C-6	OB	4614	2	UF(MF)	黒曜石	27.0			1.6		
		C-6	OB	5313	2	UF(MF)	黒曜石	25.0			1.9		
		C-7	OB	8851	2	UF(MF)	黒曜石	25.0			0.9		
		C-8	OB	4499	2	UF(MF)	黒曜石	28.0			1.7		
		C-8	OB	4832	2	UF(MF)	黒曜石	23.0			0.9		
		C-8	OB	4887	2	UF(MF)	黒曜石	24.3			1.4		
		C-9	OB	7287	2	UF(MF)	黒曜石	27.0			2.0		
		D-10	OB	2960	2	UF(MF)	黒曜石	23.0			0.7		
		D-10	OB	3585	2	UF(MF)	黒曜石	22.0			1.6		
		H-6	OB	7010	2	UF(MF)	黒曜石	24.0			2.4		
第 35 図	144	D-7	OB	8036	2	石核	黒曜石	31.3	24.9	8.6	7.1		144
第 35 図	145	C-8	OB	4941	2	石核	黒曜石	20.0	22.1	7.3	4.2		143
第 36 図	146	D-11	OB	1890	2	石核	黒曜石	34.0	24.6	12.6	8.9		145
第 36 図	147	東側調査区	OB	一括		石核	黒曜石	51.8	30.1	30.0	32.7		146
第 36 図	148	D-8	J	75	2	石核	ジャスパー	55.7	31.3	18.9	31.6		148
第 36 図	149	東側調査区	CR	一括		石核	水晶	40.4	35.0	29.0	48.3		147
		C-10	OB	2568	2	石核	黒曜石	25.0			3.4		
		C-10	OB	3323	2	石核	黒曜石	21.0			2.1		
		C-6	OB	4620	2	石核	黒曜石	24.0			3.6		
		C-6	OB	5270	2	石核	黒曜石	43.0			8.3		

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
		C-6	OB	5294	2	石核	黒曜石	22.0			2.2		
		C-7	OB	4760	2	石核	黒曜石	21.0			5.3		
		C-7	OB	7482	2	石核	黒曜石	21.0			2.6		
		C-7	OB	7949	2	石核	黒曜石	25.0			4.6		
		C-7	OB	8780	2	石核	黒曜石	31.0			4.1		
		C-7	OB	8791	2	石核	黒曜石	23.0			1.7		
		C-8	OB	4543	2	石核	黒曜石	29.0			2.3		
		C-8	OB	5731	2	石核	黒曜石	21.0			2.3		
		C-8	OB	5732	2	石核	黒曜石	22.0			1.9		
		C-8	OB	5767	2	石核	黒曜石	28.0			3.4		
		C-8	OB	5772	2	石核	黒曜石	30.0			4.0		
		C-8	OB	5800	2	石核	黒曜石	25.0			2.9		
		C-8	OB	6124	2	石核	黒曜石	25.0			2.5		
		C-8	OB	6177	2	石核	黒曜石	23.0			2.5		
		C-8	OB	6355	2	石核	黒曜石	26.0			1.9		
		C-8	OB	6471	2	石核	黒曜石	25.0			2.6		
		C-8	OB	6559	2	石核	黒曜石	23.0			3.3		
		C-8	OB	7391	2	石核	黒曜石	27.0			3.2		
		C-8	OB	7492	2	石核	黒曜石	36.0			7.0		
		C-8	OB	8285	2	石核	黒曜石	30.0			5.2		
		C-8	OB	8309	2	石核	黒曜石	25.0			3.9		
		C-8	OB	8973	2	石核	黒曜石	24.0			4.4		
		C-8	OB	8984	2	石核	黒曜石	22.0			2.2		
		C-8	OB	8994	2	石核	黒曜石	27.0			4.2		
		C-8	OB	9001	2	石核	黒曜石	26.0			2.3		
		C-8	OB	9020	2	石核	黒曜石	24.0			2.8		
		C-9	OB	3990	2	石核	黒曜石	22.0			1.2		
		C-9	OB	3995	2	石核	黒曜石	26.0			2.3		
		C-9	OB	5032	2	石核	黒曜石	26.0			3.4		
		C-9	OB	5507	2	石核	黒曜石	26.0			3.3		
		C-9	OB	5517	2	石核	黒曜石	28.0			3.0		
		C-9	OB	7289	2	石核	黒曜石	28.0			3.0		
		C-9	OB	8261	2	石核	黒曜石	22.0			3.0		
		C-9	OB	8666	2	石核	黒曜石	21.0			2.4		
		C-9	OB	9180	2	石核	黒曜石	32.0			4.4		
		C-9	OB	9322	2	石核	黒曜石	22.0			1.6		
		C-9	OB	9573	2	石核	黒曜石	25.0			3.1		
		D-6	OB	8047	2	石核	黒曜石	21.0			3.1		
		D-6	OB	8228	2	石核	黒曜石	9.0			3.5		
		D-6	OB	8829	2	石核	黒曜石	25.0			1.3		
		D-7	OB	4302	2	石核	黒曜石	27.0			6.5		
		D-7	OB	7138	2	石核	黒曜石	30.0			4.9		
		D-7	OB	7456	2	石核	黒曜石	21.0			2.2		
		D-7	OB	7632	2	石核	黒曜石	29.0			2.3		
		D-7	OB	7637	2	石核	黒曜石	21.0			1.3		
		D-7	OB	9232	2	石核	黒曜石	21.0			3.6		
		D-8	OB	8496	2	石核	黒曜石	22.0			1.9		
		D-8	OB	8495	2	石核	黒曜石	31.0			4.9		

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（㎜）	最大幅（㎜）	最大厚（㎜）	重量（g）	備考	委託番号
		D-8	OB	8648	2	石核	黒曜石	25.0			3.6		
		D-8	OB	9035	2	石核	黒曜石	31.0			4.6		
		D-8	OB	9067	2	石核	黒曜石	26.0			3.2		
		D-8	OB	9153	2	石核	黒曜石	23.0			1.6		
		D-8	OB	9249	2	石核	黒曜石	24.0			2.5		
		D-8	OB	9254	2	石核	黒曜石	23.0			2.2		
		D-8	OB	9259	2	石核	黒曜石	26.0			6.2		
		D-8	OB	9282	2	石核	黒曜石	25.0			1.5		
		D-8	OB	4189	2	石核	黒曜石	21.0			2.4		
		D-8	OB	5135	2	石核	黒曜石	28.0			4.5		
		D-8	OB	5884	2	石核	黒曜石	25.0			2.4		
		D-8	OB	6018	2	石核	黒曜石	21.0			3.4		
		D-8	OB	6086	2	石核	黒曜石	24.0			1.7		
		D-8	OB	7712	2	石核	黒曜石	22.0			2.3		
		D-10	OB	1475	2	石核	黒曜石	31.0			3.8		
		D-10	OB	1489	2	石核	黒曜石	26.0			2.4		
		D-10	OB	2372	2	石核	黒曜石	22.0			2.0		
		D-10	OB	2405	2	石核	黒曜石	31.0			4.3		
		D-10	OB	2407	2	石核	黒曜石	33.0			4.1		
		D-10	OB	2566	2	石核	黒曜石	26.0			6.6		
		D-10	OB	2954	2	石核	黒曜石	32.0			4.3		
		D-10	OB	3014	2	石核	黒曜石	21.0			3.4		
		D-10	OB	3085	2	石核	黒曜石	22.0			2.6		
		D-10	OB	3213	2	石核	黒曜石	21.0			2.6		
		D-10	OB	3214	2	石核	黒曜石	22.0			2.5		
		D-10	OB	3224	2	石核	黒曜石	21.0			1.3		
		D-10	OB	3231	2	石核	黒曜石	22.0			1.5		
		D-10	OB	3310	2	石核	黒曜石	22.0			2.8		
		D-10	OB	3477	2	石核	黒曜石	21.0			3.6		
		D-10	OB	3582	2	石核	黒曜石	32.0			4.5		
		D-11	OB	150	2	石核	黒曜石	28.0			3.5		
		D-11	OB	2457	2	石核	黒曜石	31.0			3.5		
		D-11	OB	2463	2	石核	黒曜石	27.0			4.1		
		D-11	OB	2723	2	石核	黒曜石	23.0			3.6		
		D-11	OB	2742	2	石核	黒曜石	26.0			4.0		
		D-11	OB	2849	2	石核	黒曜石	23.0			5.6		
		D-11	OB	3157	2	石核	黒曜石	21.0			2.5		
		D-11	OB	3328	2	石核	黒曜石	24.0			2.0		
		D-11	OB	3549	2	石核	黒曜石	21.0			2.2		
		D-8	OB	9062	2	石核	黒曜石	21.0			3.2		
		D-9	OB	7277	2	石核	黒曜石	22.0			3.6		
		D-9	OB	8655	2	石核	黒曜石	26.0			2.4		
		D-9	OB	9380	2	石核	黒曜石	23.0			2.0		
		E-15	OB	420	1	石核	黒曜石	21.0			2.9		
		F-16	OB	1077	1	石核	黒曜石	26.0			5.5		
		F-17	OB	15	1	石核	黒曜石	29.0			4.8		
		G-17	OB	1968	1	石核	黒曜石	38.7			8.0		
		G-16	OB	537	1	石核	黒曜石	21.0			1.5		

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（㎜）	最大幅（㎜）	最大厚（㎜）	重量（g）	備考	委託番号
		G-16	OB	550	1	石核	黒曜石	25.0			2.7		
		G-5	OB	5371	2	石核	黒曜石	23.0			1.8		
		G-5	OB	6599	2	石核	黒曜石	21.0			1.6		
		G-5	OB	6768	2	石核	黒曜石	24.0			3.6		
		G-7	OB	7022	2	石核	黒曜石	22.0			3.3		
		H-7	OB	7042	2	石核	黒曜石	27.0			3.5		
		H-7	OB	7051	2	石核	黒曜石	21.0			2.2		
		I-4	OB	9581	2	石核	黒曜石	21.0			4.2		
		J-2	OB	9645	2	石核	黒曜石	28.0			4.4		
		K-3	OB	9634	2	石核	黒曜石	27.0			4.0		
		八幡神社	OB	一括		石核	黒曜石	29.0			10.9		
		西側調査区	OB	一括		石核	黒曜石	21.0			2.2		
		西側調査区	OB	一括		石核	黒曜石	22.0			0.8		
		C-8	CH	44	2	石核	チャート	22.0			2.6		
		D-10	CR	61	2	石核	水晶	21.0			4.6		
		H-4	CR	136		石核	水晶	34.0			8.5		
		D-7	J	94	2	石核	ジャスパー	21.0			4.7		
		K-4	J	113	2	石核	ジャスパー	26.0			4.5		
		C-6	OB	5238	2	原石	黒曜石	3.2			6.8		
		C-6	OB	5312	2	原石	黒曜石	2.6			1.6		
		C-6	OB	5918	2	原石	黒曜石	2.5			1.1		
		C-6	OB	7124	2	原石	黒曜石	2.3			3.2		
		C-7	OB	5021	2	原石	黒曜石	2.7			2.9		
		C-7	OB	5680	2	原石	黒曜石	2.1			2.9		
		C-7	OB	5682	2	原石	黒曜石	2.9			4.1		
		C-7	OB	5711	2	原石	黒曜石	3.0			2.7		
		C-7	OB	6082	2	原石	黒曜石	3.3			4.2		
		C-8	OB	4033	2	原石	黒曜石	3.0			2.4		
		C-8	OB	4940	2	原石	黒曜石	2.2			3.8		
		C-8	OB	4977	2	原石	黒曜石	2.8			3.6		
		C-8	OB	5722	2	原石	黒曜石	2.4			2.8		
		C-8	OB	5794	2	原石	黒曜石	3.3			2.9		
		C-8	OB	6069	2	原石	黒曜石	2.2			1.2		
		C-8	OB	6347	2	原石	黒曜石	3.6			11.2		
		C-8	OB	7358	2	原石	黒曜石	2.4			2.5		
		C-8	OB	7558	2	原石	黒曜石	3.4			3.3		
		C-8	OB	7566	2	原石	黒曜石	2.5			2.6		
		C-8	OB	7775	2	原石	黒曜石				3.5		
		C-9	OB	5956	2	原石	黒曜石	2.4			2.4		
		D-10	OB	981	2	原石	黒曜石	2.2			5.0		
		D-10	OB	3007	2	原石	黒曜石	2.8			6.6		
		D-10	OB	3096	2	原石	黒曜石	3.2			2.2		
		D-10	OB	3464	2	原石	黒曜石	4.5			13.1		
		D-11	OB	157	2	原石	黒曜石	2.9			3.5		
		D-11	OB	3291	2	原石	黒曜石	2.8			4.0		
		D-11	OB	3451	2	原石	黒曜石	2.3			2.5		
		D-11	OB	3539	2	原石	黒曜石	2.3			4.1		
		D-6	OB	8220	2	原石	黒曜石	6.5			43.3		

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
		D-7	OB	4299	2	原石	黒曜石	2.3			2.7		
		D-7	OB	7653	2	原石	黒曜石	31.0			4.2		
		D-8	OB	4085	2	原石	黒曜石	24.0			1.6		
		D-8	OB	4104	2	原石	黒曜石	31.0			2.9		
		D-8	OB	4160	2	原石	黒曜石	24.0			1.6		
		D-8	OB	7200	2	原石	黒曜石	23.0			3.3		
		G-17	OB	1449	1	原石	黒曜石	26.0			2.5		
		G-6	OB	6808	2	原石	黒曜石	26.0			5.3		
		H-7	OB	7071	2	原石	黒曜石	21.0			1.3		
		F-7	OB	一括		原石	黒曜石	27.0			3.1		
		C-7	CR	122	2	原石	水晶	32.0			18.1		
		C-8	J	82	2	原石	ジャスパー	27.0			6.3		
		D-8	J	84	2	原石	ジャスパー	31.0			16.8		
		D-8	J	122	2	原石	ジャスパー	55.0			64.3		
		D-8	J	121	2	原石	ジャスパー	41.0			40.7		
		J-3	J	115	2	剥片	黄玉石	22.0			3.6		
第 37 図	150	D-11	G	7	2	打製石斧	結晶片岩	10.9	5.5	1.9	121.0	全面磨耗	
第 37 図	151	B-7	G	11	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(11.3)	(4.8)	(1.8)	(125.0)	刃部欠、裏面に自然面	
第 37 図	152	I-4	G	39	2	打製石斧	粘板岩	9.5	6.2	1.9	132.0	全面やや磨耗	
第 37 図	153	C-7	G	10	2	打製石斧	結晶片岩	10.3	4.2	2.1	117.0	全面磨耗	
第 37 図	154	C-9	G	18	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	8.9	4.5	1.2	68.0	全面磨耗	
第 37 図	155	C-9	G	14	2	打製石斧	砂岩	(5.1)	(4.2)	(1.4)	(30.0)	刃部欠	
第 38 図	156	D-8	G	20	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	9.3	5.4	1.5	104.0	全面磨耗	
第 38 図	157	C-7	G	31	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	9.4	4.7	1.4	83.0		
第 38 図	158	D-7	G	8	2	打製石斧	粘板岩	9.1	4.9	1.8	73.0		
第 38 図	159	D-10	G	5	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	8.0	4.3	2.0	81.0		
第 38 図	160	C-8	G	25	2	打製石斧	粘板岩	8.6	4.3	1.1	53.0	表面に自然面	
第 38 図	161	D-7	G	21	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	11.8	4.9	1.7	146.0	全面磨耗	
		C-7	G	9	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(3.6)			(7.9)	破片	
		C-7	G	15	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(8.2)			(23.6)	破片	
		C-7	G	27	2	打製石斧	粘板岩	(2.6)			(8.0)	破片	
		C-8	G	22	2	打製石斧	結晶片岩	(9.3)			(24.5)	破片、ボロボロ	
		C-8	G	32	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(5.7)			(37.6)	破片	
		C-8	G	33	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(3.3)			(23.0)	破片	
		C-8	G	36	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(4.2)			(6.8)	破片	
		C-9	G	13	2	打製石斧	粘板岩	(4.9)			(16.0)	破片	
		C-9	G	17	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(7.1)			(44.3)	破片	
		D-10	G	3	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(9.7)			(28.5)		
		D-10	G	4	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(5.1)			(9.4)	破片	
		D-10	G	6	2	打製石斧	粘板岩	(5.6)			(53.2)	破片、ボロボロ	
		D-11	G	2	2	打製石斧	粘板岩	(4.1)			(9.4)	破片	
		D-7	G	30	2	打製石斧	粘板岩	(7.0)			(18.2)	破片	
		D-9	G	16	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(3.1)			(2.5)	破片	
		D-9	G	19	2	打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(5.6)			(19.2)	破片	
		H-7	G	12	2	打製石斧	粘板岩	(2.3)			(1.2)	破片	
		C-8	G	40	2	打製石斧	粘板岩	0.0			(0.7)		
		試掘 1 トレンチ	G	一括		打製石斧	粘板岩ホルンフェルス	(3.6)			(10.5)	破片	
第 39 図	162	C-8	MA	1	2	磨製石斧	凝灰岩	(6.9)	(4.3)	(3.3)	(134.0)	基部のみ	

図番号	番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	備考	委託番号
第 39 図	163	C-8	MA	2	2	磨製石斧	凝灰岩	(6.9)	(4.4)	(3.6)	(167.0)	基部のみ	
第 39 図	164	C-9	MA	4	2	磨製石斧	凝灰岩	(5.0)	(3.6)	(3.2)	(74.0)	基部のみ	
第 39 図	165	C-7	SU	4	2	磨石	砂岩	(3.9)	2.8	2.8	(61.0)	一部欠、下端はいくつかの面がある	
第 39 図	166	D-9	SU	20	2	磨石	花崗岩	10.9	7.6	6.2	699.0	表裏側面磨	
第 40 図	167	C-7	SU	3	2	磨石	安山岩	10.9	6.9	2.4	234.0	全面磨	
第 40 図	168	C-7	SU	2	2	磨石	安山岩	(7.6)	(6.0)	(4.9)	(252.0)	1/2 欠、下端敲打痕	
第 40 図	169	C-8	SU	23	2	磨石	花崗岩	(8.9)	(6.5)	(6.1)	(586.0)	1/2 欠、全面磨、下端敲打痕	
第 40 図	170	D-7	SU	18	2	磨石	安山岩	(8.8)	(7.2)	(5.1)	(535.0)	1/2 欠、表側面磨	
第 40 図	171	C-8	SU	12	2	磨石	安山岩	(8.4)	(8.7)	(5.3)	(503.0)	1/2 欠、表面磨	
第 41 図	172	D-10	SU	1	2	磨石	安山岩	(7.3)	(8.2)	(6.0)	(387.0)	1/2 欠、全面磨	
第 41 図	173	C-9	SU	6	2	磨石	安山岩	(5.8)	(9.1)	(3.8)	(267.0)	2/3 欠、全面磨	
第 41 図	174	H-7	SU	8	2	磨石	安山岩	(6.4)	(4.6)	(4.2)	(152.0)	破片、全面磨	
第 41 図	175	表採	SU			磨石	安山岩	(8.1)	(9.7)	(4.1)	(443.0)	1/2 欠、表裏面磨、現在の傷多、凹の可能性あり	
第 41 図	176	C-8	SU	21	2	凹石	デイサイト	8.7	7.1	4.9	401.0	全面磨	
第 41 図	177	C-7	SU	9	2	凹石	安山岩	9.8	9.8	3.9	509.5	全面磨	
第 42 図	178	D-8	SU	7	2	凹石	安山岩	10.7	9.1	4.0	507.0	一部欠、表裏面磨	
第 42 図	179	C-7	SU	10	2	凹石	安山岩	11.4	9.1	5.3	782.0	表裏面磨	
第 42 図	180	C-8	SU	11	2	凹石	安山岩	11.0	8.4	4.2	573.0	一部欠、全面磨	
第 43 図	181	C-7	SU	15	2	凹石	安山岩	11.6	9.2	4.3	678.0	表裏側面磨	
第 43 図	182	D-7	SU	19	2	凹石	安山岩	(8.3)	(7.3)	(6.6)	(496.0)	1/2 欠、表裏側面磨	
第 43 図	183	C-7	SU	5	2	凹石	安山岩	(7.6)	6.1	3.4	(241.0)	一部欠、表裏面磨	
第 43 図	184	C-7	SU	16	2	凹石	デイサイト	10.5	7.2	4.9	467.0	全面磨	
第 43 図	185	C-7	SU	17	2	凹石	安山岩	8.8	7.6	4.4	421.0	表裏面磨	
第 43 図	186	C-8	SU	13	2	凹石	安山岩	(15.1)	(7.8)	(4.4)	(605.0)	1/2 欠、全面磨、ヒビあり	
第 43 図	187	J-3	SU	22	2	凹石	安山岩	(9.4)	9.2	4.3	(553.0)	一部欠、表裏面磨	
第 44 図	188	C-8	SU	14	2	凹石	安山岩	(4.9)	(8.4)	(3.9)	(198.0)	1/2 欠、全面磨	

第 7 表　古墳時代出土遺物観察表

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	接合	層位	種類	器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調	胎土	焼成	時代	時期	備考
第 45 図	6	216	C-7	P	1002		2	土師器	坏	(14.0)	(3.0)	—	褐	小石、黒雲母、赤粒	良好	古墳		外面ヘラ撫で、内面わずかに指撫で
第 45 図	10	193	C-7	P	1735		2	土師器	高坏	—	(5.2)	—	淡黄橙	黒・赤粒、小石	良好	古墳		内外面ヘラ削り、全面磨耗
第 45 図	3	186	C-7	P	1741		2	土師器	坏	(12.0)	(3.6)	—	にぶい褐	金雲母、赤粒	良	古墳		全面磨耗
第 45 図	18	270	C-8	P	796		2	土師器	甕	(21.0)	(3.0)	—	橙	石英、金雲母	良	古墳	後期	実測№ 269 と同一か
第 45 図	5	268	C-8	P	1476	1477、C-9 一括、D-8 一括	2	土師器	坏	(11.8)	(3.4)	—	橙	赤粒	良好	古墳		内外磨耗、外面わずかにヘラ撫で
第 45 図	7	218	C-9	P	897		2	土師器	坏	(9.9)	(2.3)	—	黒褐	赤粒	良好	古墳	6 世紀代	内面黒色土器、内面ミガキ
第 45 図	4	184	D-7	P	1267		2	土師器	坏	(12.0)	(2.4)	—	にぶい橙	石英、赤・黒粒	良好	古墳		全面磨耗、外面にヘラ調整らしきものあり
第 45 図	9	185	D-7	P	1411	一括	2	土師器	高坏	—	(3.7)	—	にぶい橙	赤粒	良	古墳		全面磨耗、外面ヘラ
第 45 図	13	182	D-7	P	1521		2	土師器	高坏	—	(2.2)	(9.4)	淡黄橙	金黒雲母	良好	古墳		全面磨耗、内外面ヘラ撫でわずかに残る
第 45 図	14	180	D-7	P	一括			土師器	高坏	—	(1.8)	(10.0)	橙	赤粒	良好	古墳		全面磨耗
第 45 図	11	179	D-7	P	一括			土師器	高坏	—	(2.3)	(10.0)	橙	金黒雲母、黒・赤粒	良好	古墳		全面磨耗、内外面ヘラ
第 45 図	16	181	D-7	P	一括			土師器	壷	(14.1)	(2.2)	—	にぶい橙	白・赤粒、金黒雲母	良	古墳		
第 45 図	15	177	D-7	P	一括			土師器	壷	(12.0)	(3.1)	—	橙	石英、赤・黒粒	良好	古墳		
第 45 図	12	178	D-7	P	一括			土師器	高坏	—	(2.5)	(10.8)	橙	金黒雲母、赤粒	良好	古墳		全面磨耗
第 45 図	2	183	D-7	P	一括			土師器	坏	(11.8)	(3.0)	—	にぶい橙	赤粒、金雲母少	良好	古墳	後期	全面磨耗、外面にヘラ調整らしきものあり
第 45 図	17	269	D-8	P	988		2	土師器	甕	(21.0)	(3.0)	—	橙	石英、金雲母多、黒雲母	良	古墳	後期	実測№. 270 と同一か、外面ヘラ撫で
第 45 図	1	222	D-8	P	1590		2	土師器	坏	(9.9)	(2.6)	—	淡黄褐	石英、赤粒	良	古墳	6 世紀代	全面磨耗、外面下部削り
第 45 図	8	265	E-4	P	1191		2	土師器	坏	(13.2)	(1.9)	—	にぶい橙	赤粒	良好	古墳	6 世紀代	内面黒色土器、内面ミガキ

第 45 図	24	341	C-6	SUE	3	SUE5・12・13	2	須恵器	甕	—	(11.8)	—	にぶい褐	小石	不良	古墳		外面タタキ、内面オサエ
第 45 図	21	345	C-6	SUE	6	SUE8、37	2	須恵器	甕	—	(5.7)	—	にぶい褐	小石	不良	古墳		外面タタキ後カキメ、内面オサエ
第 45 図	22	339	C-6	SUE	8	SUE14	2	須恵器	甕	—	9.7	—	褐灰	白粒	不良	古墳		外面タタキ後カキメ、内面オサエ
第 45 図	19	337	C-6	SUE	17	SUE1・17・36・41・42・43・46・54 ～ 62、一括	2	須恵器	甕	23.8	(9.6)	—	灰	白粒	不良	古墳		外面タタキ後カキメ、内面オサエ
第 45 図	23	338	C-6	SUE	44	SUE53・93	2	須恵器	甕	—	(7.4)	—	にぶい褐	白・赤粒	不良	古墳		外面タタキ、内面オサエ
第 45 図	20	340	C-6	SUE	48		2	須恵器	甕	—	(6.3)	—	灰	小石、赤粒	不良	古墳		外面タタキ後カキメ、内面オサエ
第 46 図	25	271	D-7	SUE	80	SUE82～84･86～88･90･94	2	須恵器	提瓶	(9.8)	(13.0)	—	灰	小石	不良	古墳	6 世紀	外面ヘラ削りわずかに残る、指撫で

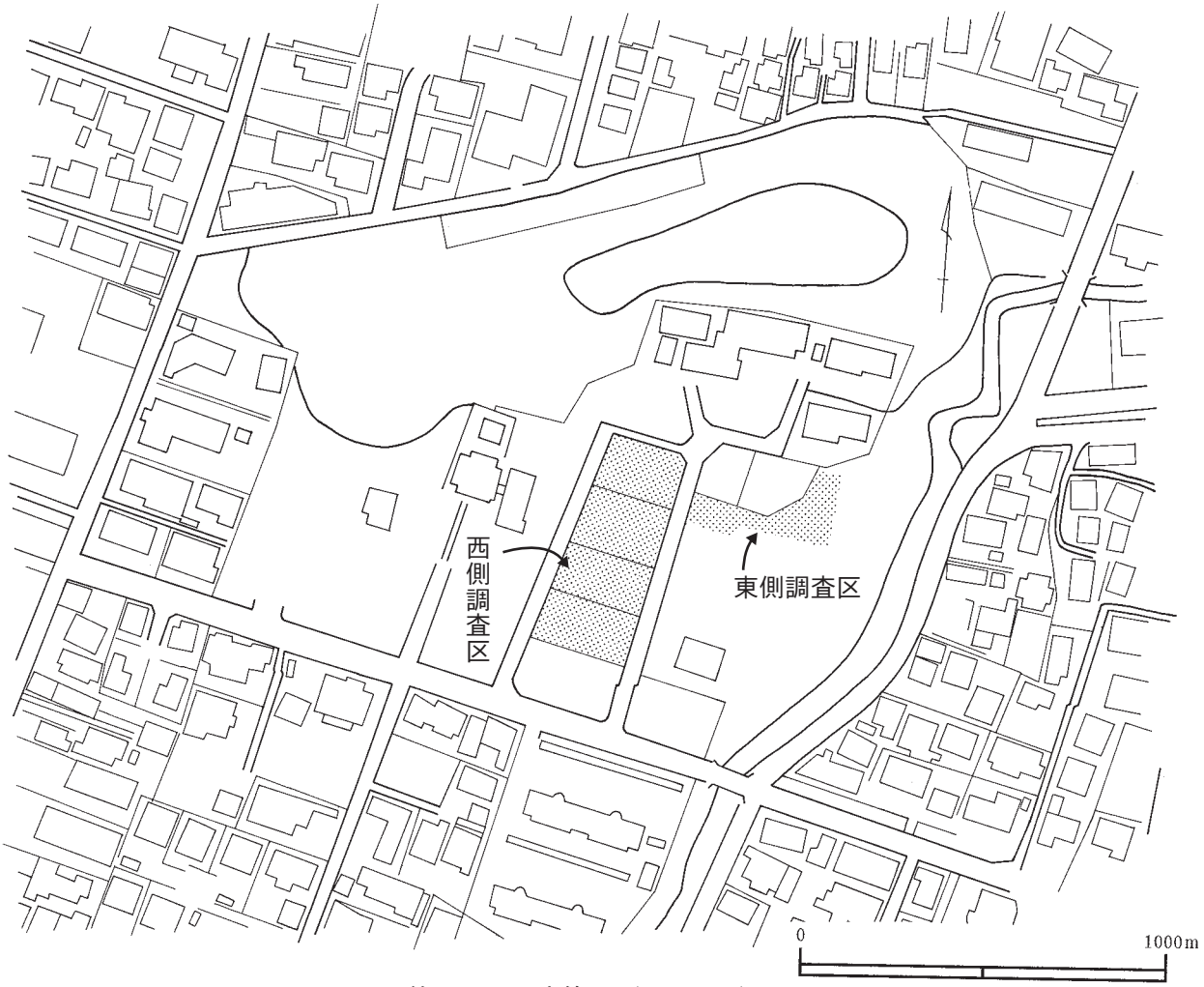
図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	接合	層位	種類	器形	長径 (cm)	短径 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	時代	時期	備考
第 46 図	26		C-8	KIN	1		2	銅製品	環	1.7	1.7	0.4	2.0	古墳		金箔

第 8 表　中世以降出土遺物観察表

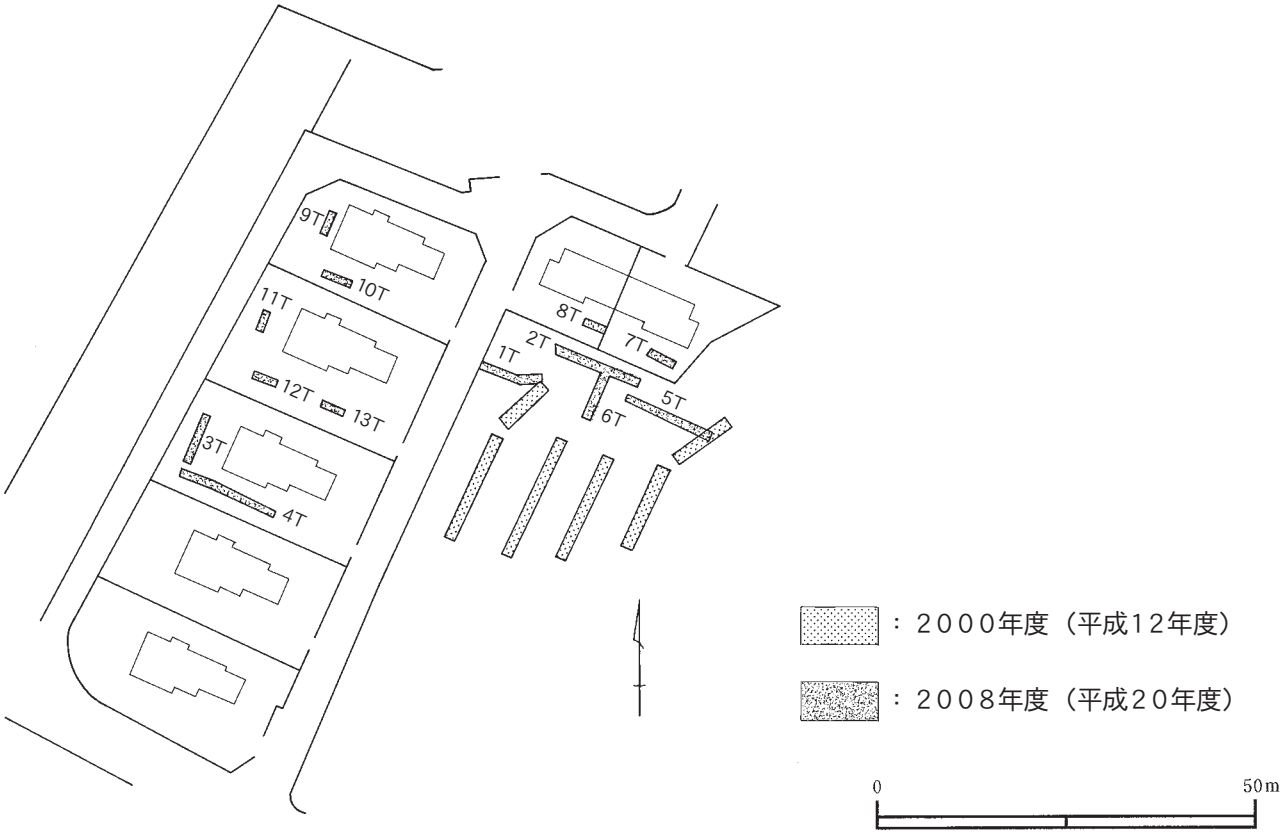
図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	色調	胎土	焼成	時代	備考
第 47 図	1	221	D-6	P	866	2	土器	小皿	7.3	1.8	4.3	淡黄褐	石英、金雲母、赤粒	良	中世	底部わずかに糸切痕あり
第 47 図	2	223	G-7	P	1373	2	土器	小皿	7.7	1.7	4.2	橙	金雲母多、白・赤粒、小石、石英	良好	中世	内外面スス付着（灯明皿）、底部糸切痕らしい
第 47 図	3	224	G-17	P	43	1	土器	小皿	(8.1)	2.1	(4.5)	橙	金黒雲母多、石英、赤粒	良好	中世	スス付着（灯明皿）、底部わずかに糸切痕
第 47 図	4	220	I-4	P	一括		土師質土器	皿	(12.8)	(2.2)	—	淡黄橙	金雲母、赤粒、石英	良好	中世	内外面撫で
第 47 図	5	217		P	試掘 2 トレンチ		土師質土器	小皿	(5.8)	1.3	(3.4)	にぶい橙	金黒雲母、石英	良好	中世	内外面撫で
第 47 図	6	219	J-3		一括		土器	埦	(12.8)	(2.8)	—	にぶい橙	金雲母、石英、赤粒	良好	中世	
第 47 図	7	301	I-4	P	2815	2	土器	鉢	(29.0)	(6.3)	—	橙	石英、金雲母、赤粒	良好	中世	外面指頭痕、実測№ 362 と同一か
第 47 図	8	362	I-3	P	2821	2	土器	鉢	—	(1.6)	(11.0)	黄褐	石英、金雲母	良好	中世	実測№ 301 と同一か
第 47 図	9	225	D-9	P	一括		土器	鉢？	(9.0)	(3.2)	−	褐	金雲母、赤粒、石英	良好	近世	内面スス付着、わずかにヘラ撫で残る

図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	色調	胎土	焼成	時代	備考
第 47 図	10		F-16		一括		土製品	イヌ？	(1.9)	(2.6)	(1.9)	にぶい褐	赤・黒粒	良好	不明	重量（6.5）g

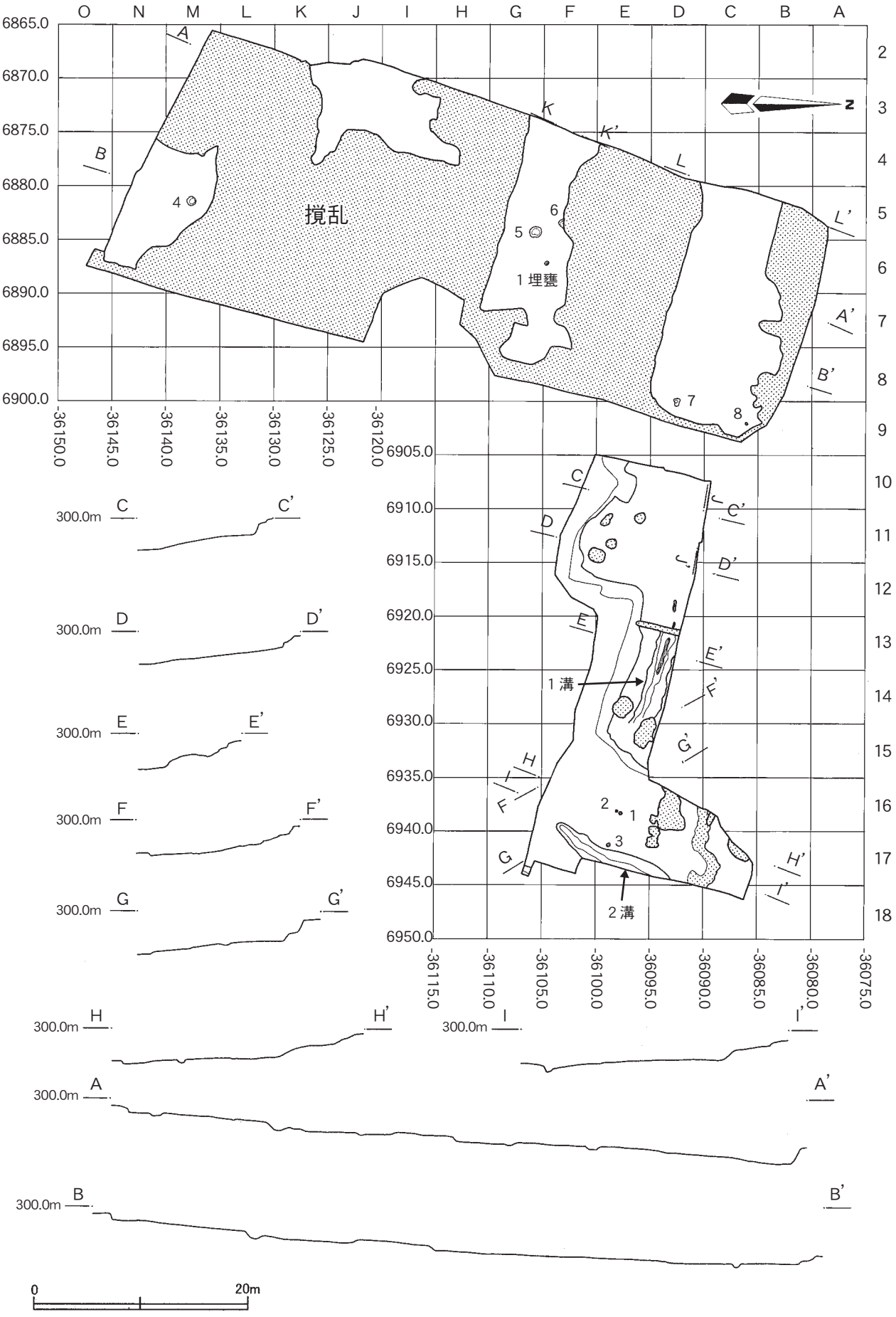
図番号	番号	実測番号	出土位置	細分類	遺物番号	層位	種類	石材	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	時代	備考
第 47 図	11		E-14		一括		砥石	粘板岩	(2.3)	(2.5)	(0.5)	(4.0)	近世	小さめの砥石
第 47 図	12		F-1		一括		砥石	粘板岩	(2.8)	(2.3)	(0.5)	(3.0)	近世	小さめの砥石



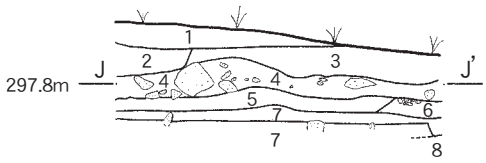
第１図　調査範囲（S=1/2000）



第２図　試掘トレンチ位置図（S=1/1000）

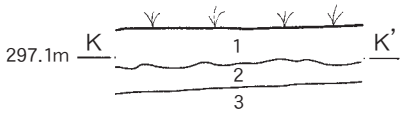


第 3 図　全体図（S=1/500）



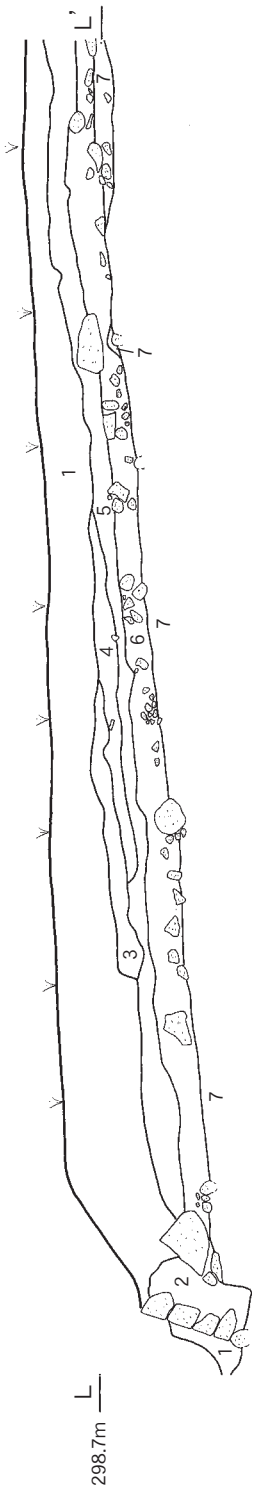
東側調査区 D-11 北壁

1 暗褐色土（10YR3/3） 盛土 しまりやや弱 粘性弱 径 10 ㎝以下砕石 20%
2 黒褐色粘土（10YR2/2） 土管埋設 しまりやや弱 径 10 ㎝以下円レキ 3%
3 黒褐色粘土（7YR2/2） 表土 しまり弱 粘性あり 径 2 ㎝以下角レキ
4 黒褐色粘土（10YR3/1） しまりやや弱 粘性強 径 40 ㎝以下角レキ部分的に含む 径 10 ㎝以下レキ 5%
径 0.3 ㎝以下黄褐色スコリア 2% 径 0.5 ㎝以下炭化材 2% 遺物包含層
5 暗褐色粘土（7.5YR3/3） しまりやや強 粘性強 径 5 ㎝以下角レキ 2% 径 0.5 ㎝以下炭化材 1%
遺物僅かに包含
6 黒褐色粘土（7.5YR3/2） しまり強 粘性強 径 15 ㎝以下角レキ（黄褐色）10%
7 暗褐色粘土（7.5YR3/4） 1 ㎝以下角レキ（黄褐色）5%
8 にぶい黄褐色粘土（10YR6/4） しまりきわめて強 粘性強 径 2 ㎝以下角レキ 2%



西側調査区 （北から 2 区画）

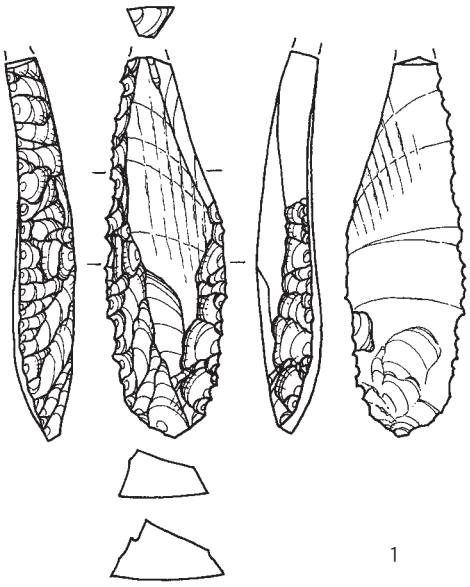
1 黒褐色土（10YR2/3） 表土 しまり弱 粘性強 径 15 ㎝以下レキ 10%
2 暗褐色粘土（10YR3/3） しまりやや強 粘性強 径 4 ㎝以下レキ 3% 径 1 ㎝鉄分 5%
径 0.5 ㎝以下炭化材 2% 遺物包含
3 褐色粘土（10YR4/4） しまり強 粘性強 径 70 ㎝以下レキ部分的に含む
径 10 ㎝以下レキ 5%

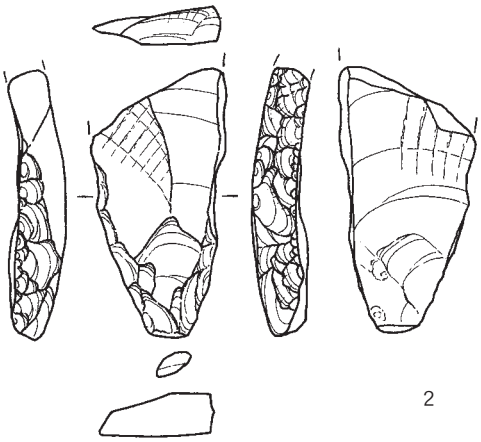


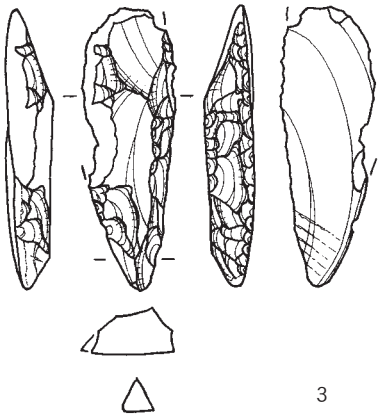
西側調査区 （最北端）

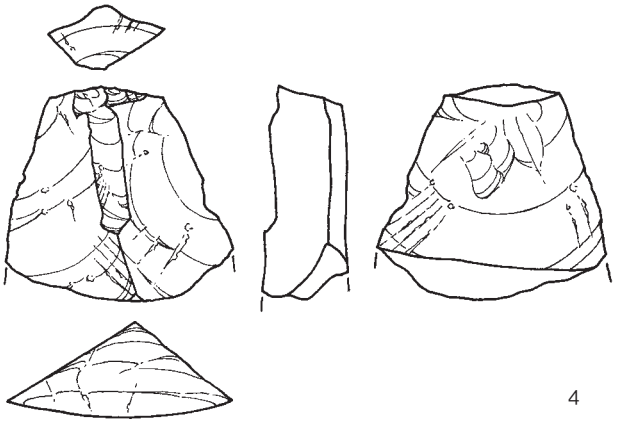
1 暗褐色粘土（10YR3/3） 表土 しまり弱 粘性強 径 15 ㎝以下レキ 10%
現代の陶磁器・ガラス片含む 宅地造成時の盛土か
2 暗褐色粘土（10YR3/3） しまりやや強 粘性強 径 20 ㎝以下円レキ 50%
石垣裏栗石
3 赤褐色土（2.5YR4/6） 焼土 径 5 ㎝以下角レキ 3% 甲府空襲の焼土か
4 黒褐色粘土（10YR2/3） しまりやや強 粘性強 径約 10 ㎝以下角レキ 5%
東側では径約 50 ㎝角レキ含む 径 1 ㎝以下焼土粒 1%
遺物包含層
5 暗褐色粘土（10YR3/3） しまり強 粘性強 径 3 ㎝以下角レキ 3%
径 10 ㎝以下黄褐色土粒 1% 上部に遺物少量含む
6 暗褐色粘土（7.5YR3/4） しまりきわめて強 粘性強 径 50 ㎝以下角レキ 10%
7 褐色粘土（7.5YR4/4） しまりきわめて強 粘性強 径 30 ㎝以下角レキ 20%

第 4 図　基本層序（S=1/80）



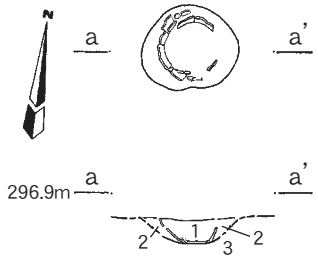


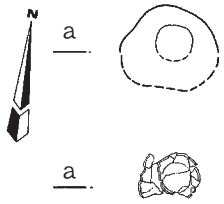




第５図　旧石器時代の石器（S=1/1）

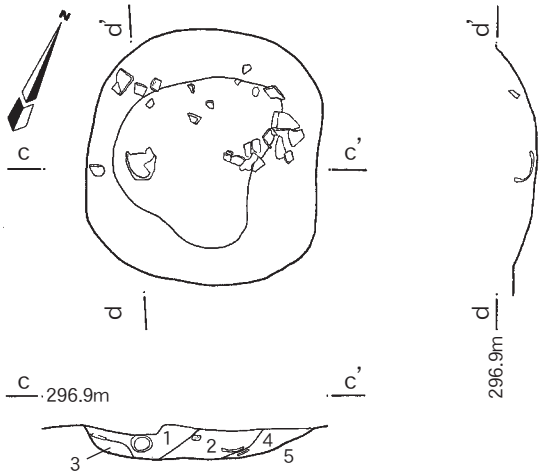
検出状況





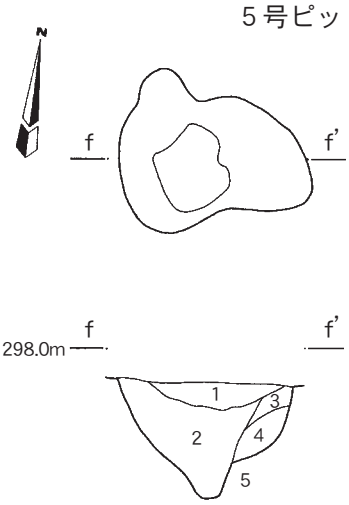
1号埋甕
1黒褐色土（10YR2/2）　しまりやや弱　粘性強　径1㎝以下焼土5%　径0.5㎝以下レキ2%
2黒褐色土（10YR2/3）　しまりやや弱　粘性強　径0.5㎝以下焼土2%
3褐色粘土（10YR4/4）　しまりきわめて強　粘性強　径1㎝以下鉄分3%　地山

1号埋甕



5号ピット
1黒褐色土（10YR3/2）　しまりやや弱　粘性強　径0.5㎝以下褐色土3%
2暗褐色土（10YR3/3）　しまりやや弱　粘性強　径0.3㎝以下褐色土5%
3黒褐色土（10YR3/2）　しまりやや弱　粘性強　径0.3㎝以下焼土3%　径3㎝以下角レキ1%
4暗褐色土（10YR3/4）　しまりやや弱　粘性強　径0.5㎝以下焼土1%
5褐色粘土（10YR4/4）　しまり強　粘性強　径2㎝以下鉄分3%　地山

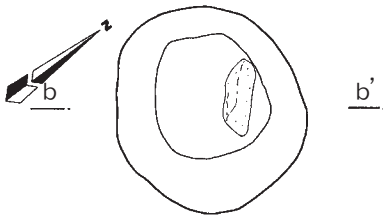
5号ピット



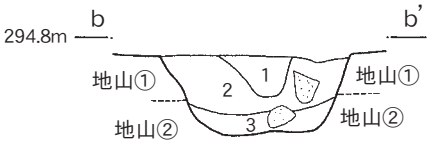
7号ピット
1黒褐色粘土（10YR2/2）　しまりやや強　粘性強　径0.5㎝以下炭化材2%
径1㎝以下角レキ1%　遺物包含層
2黒褐色粘土（10YR2/3）　しまりやや強　粘性強　径2㎝以下5層7%　径0.3㎝以下炭化材1%
3黒褐色粘土（10YR2/3）　しまりやや強　粘性強　径0.3㎝以下5層1%
4黒褐色粘土（10YR3/2）　しまり強　粘性強　径3㎝以下5層10%
5褐色粘土（10YR4/6）　しまりきわめて強　粘性強　径10㎝以下角レキ5%　地山

7号ピット

完掘

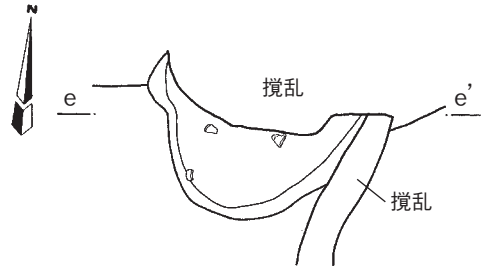


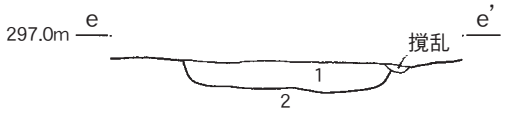
埋甕出土状況



4号ピット
1黒褐色粘土（10YR3/1）　しまり強　粘性強　径5㎝以下地山①10%　径2㎝以下地山②5%
2黒褐色粘土（10YR3/1）　しまり強　粘性強　径1㎝以下地山①②3%
3黒色粘土（10YR2/1）　径1㎝以下地山②1%
地山①　黄褐色粘土（10YR5/6）　しまり強　粘性強　径2㎝以下灰色粘土（5Y6/2）20%
径50㎝以上レキ部分的含む
地山②　灰色粘土（5Y6/1）　しまり強　粘性強

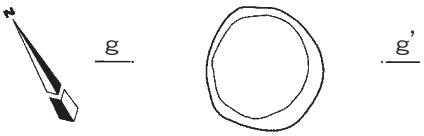
4号ピット

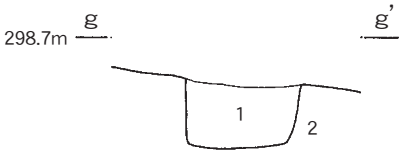




6号ピット
1黒褐色土（10YR2/3）　しまりやや弱　粘性強　径0.5㎝以下赤褐色スコリア1%
径1.5㎝以下黄褐色土5%　径0.5㎝以下炭化材1%
2暗褐色粘土（7.5YR3/3）　しまりきわめて強　粘性強　径0.1㎝以下角レキ30%　地山

6号ピット

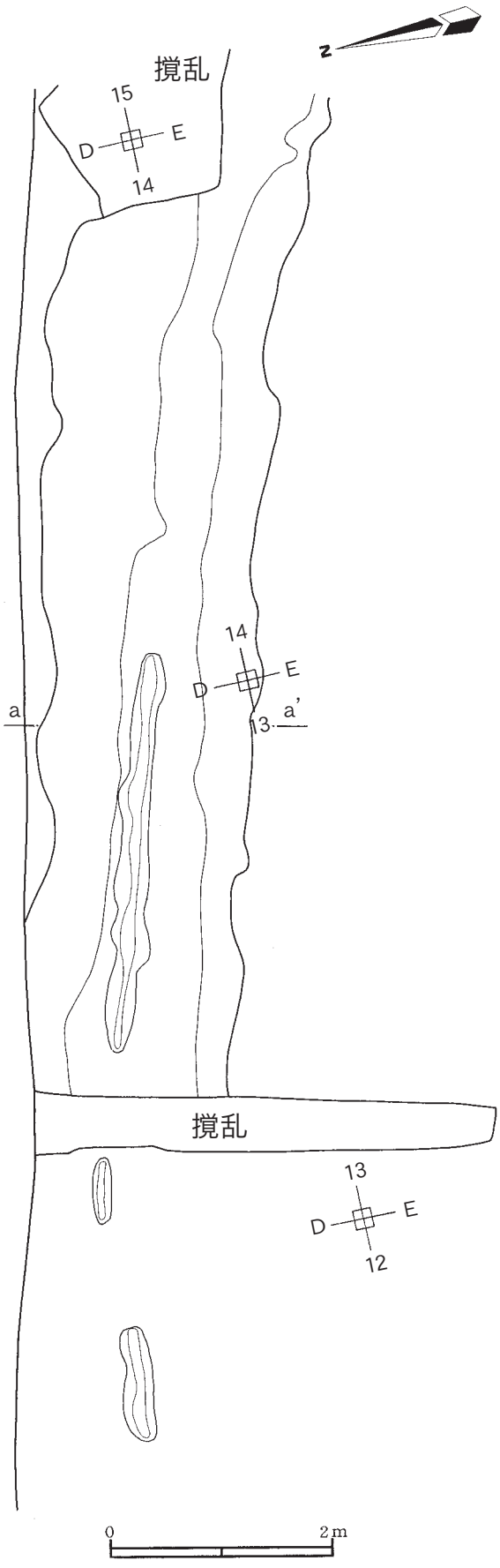


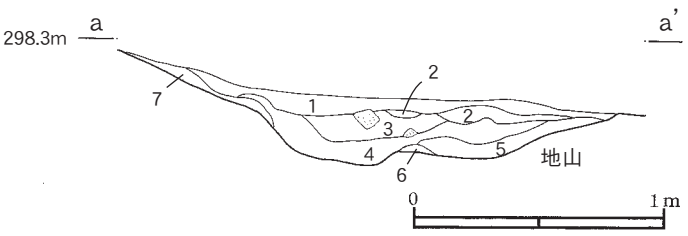


8号ピット
1黒褐色粘土（10YR3/2）　しまりやや強　粘性強　径0.3㎝以下炭化材1%　径0.5㎝以下レキ2%
2暗褐色粘土（7.5YR3/4）　しまりきわめて強　粘性強　径15㎝以下角レキ5%
径100㎝大角レキ部分的含む　地山

8号ピット

第6図　1号埋甕　4～8号ピット（S=1/30）





1号溝

1 黒褐色粘土（10YR2/3）　しまりやや強　粘性強　径0.5㎝以下炭化材2%
径0.3㎝以下焼土3%

2 暗褐色粘土（7.5YR3/3）　しまり強　粘性強　径3㎝以下黄褐色土粒（10YR5/8）10%
径0.3㎝以下炭化材1%

3 黒褐色粘土（10YR2/3）　しまりやや強　粘性強　径15㎝以下角レキ10%
径1㎝以下炭化材1%　径0.5㎝以下焼土3%

4 黒褐色粘土（10YR3/2）　しまり強　粘性強　径0.3㎝以下炭化材1%
径0.5㎝以下焼土5%　径2㎝以下角レキ1%

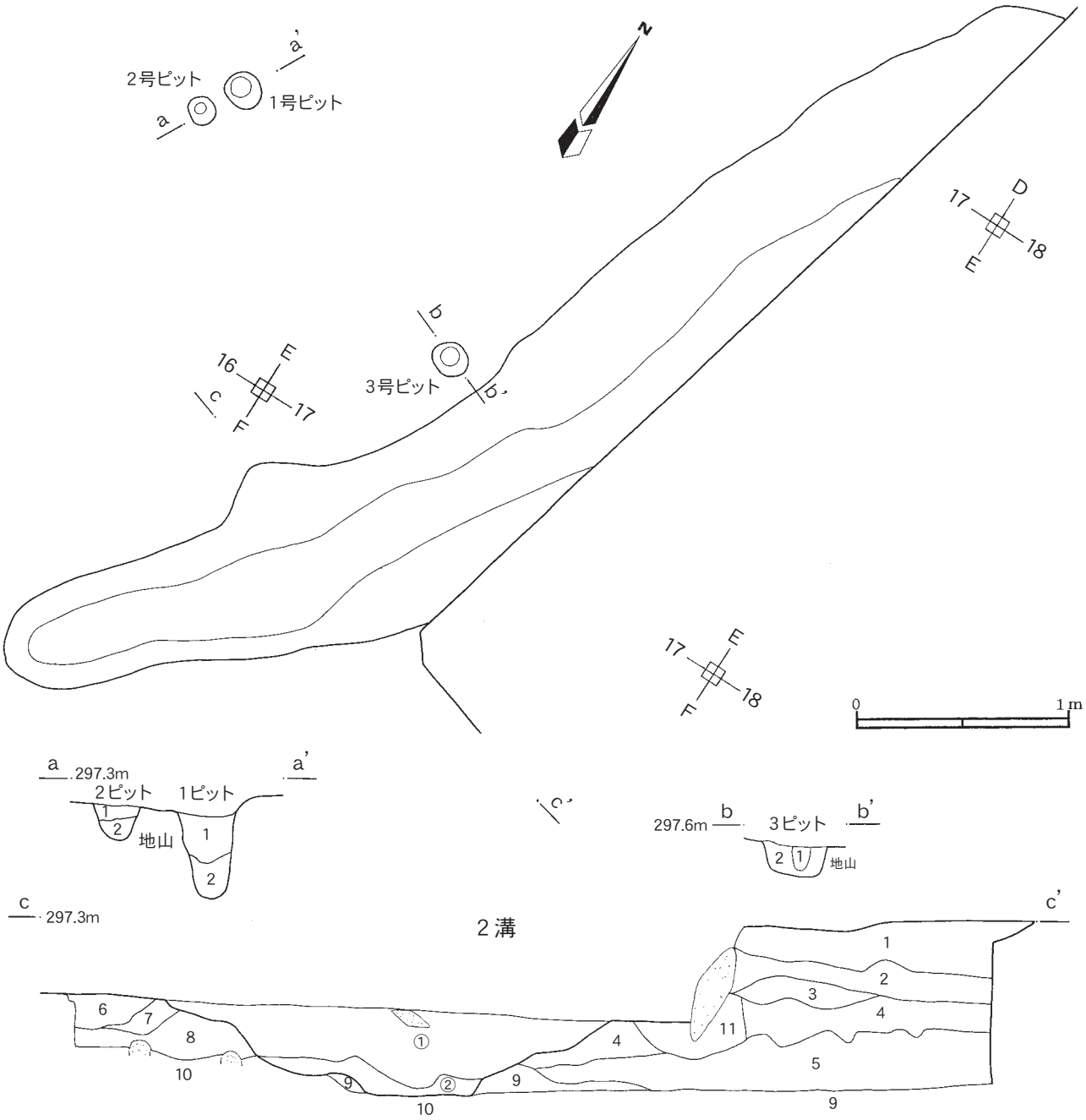
5 極暗褐色粘土（7.5YR2/3）　しまり強　粘性強　径1㎝以下炭化材1%
径1㎝以下黄褐色土（10YR5/8）5%

6 暗褐色粘土（10YR3/4）　径1㎝以下黄褐色土（10YR5/8）10%

7 褐色粘土（10YR4/6）　しまりやや強　粘性強　暗褐色土（10YR3/3）3%

地山　にぶい黄橙色粘土（10YR6/4）　しまりきわめて強　粘性強　径2㎝以下角レキ2%

第7図　1号溝（S=1/60・S=1/30）



2号溝
1黒褐色粘土（10YR2/1）　しまり強　径4cm以下角レキ2%　径0.5cm以下炭化材2%
径1cm以下黄褐色レキ3%
2黒褐色粘土（7.5YR2/2）　しまり強　径2cm以下黄褐色レキ7%

2号溝側（東側調査区）
1　暗褐色粘土（10YR3/3）　表土　しまり強　粘性弱　径1cm以下角レキ7%
径0.3cm以下炭化材3%
2暗褐色粘土（7.5YR3/3）　しまり強　径1cm以下角レキ2%
径0.2cm以下赤褐色スコリア・炭化材3%
3暗褐色粘土（10YR3/3）　しまり強　径2cm以下黄褐色レキ10%
4黒褐色粘土（10YR2/2）　しまり強　径0.3cm以下黄褐色レキ7%
5暗褐色粘土（7.5YR3/3）　しまり強　径1cm以下黄褐色レキ5%
6黒褐色粘土（7.5YR3/2）　しまり強　径1cm以下黄褐色レキ2%
7褐色粘土（10YR4/6）　しまり強　径2cm以下黄褐色レキ30%
8褐色粘土（10YR4/6）　しまり強　径1cm以下円レキ3%　地山
9暗褐色粘土（10YR3/4）　しまり強　径5cm以下黄褐色レキ10%
10褐色粘土（10YR4/6）　しまり強　径25cm以下円レキ40%　地山　流路
11黒褐色粘土（10YR3/2）　しまり強　径1cm以下炭化材5%
径0.5cm以下黄褐色レキ5%

1号ピット
1黒褐色粘土（10YR2/3）　しまり強　粘性強　径0.5cm以下炭化材20%
径0.3cm以下黄褐色砂10%　径0.5cm以下赤褐色スコリア5%
2暗褐色粘土（10YR3/3）　しまり強　粘性強　径0.3cm以下黄褐色砂・赤色スコリア3%

2号ピット
1黒褐色粘土（10YR2/3）　しまり強　粘性強　径0.5cm以下炭化材2%　径0.5cm以下赤色スコリア3%
2黒褐色粘土（10YR3/2）　しまり強　粘性強　径1cm以下黄褐色レキ5%　径0.3cm以下赤褐色スコリア3%

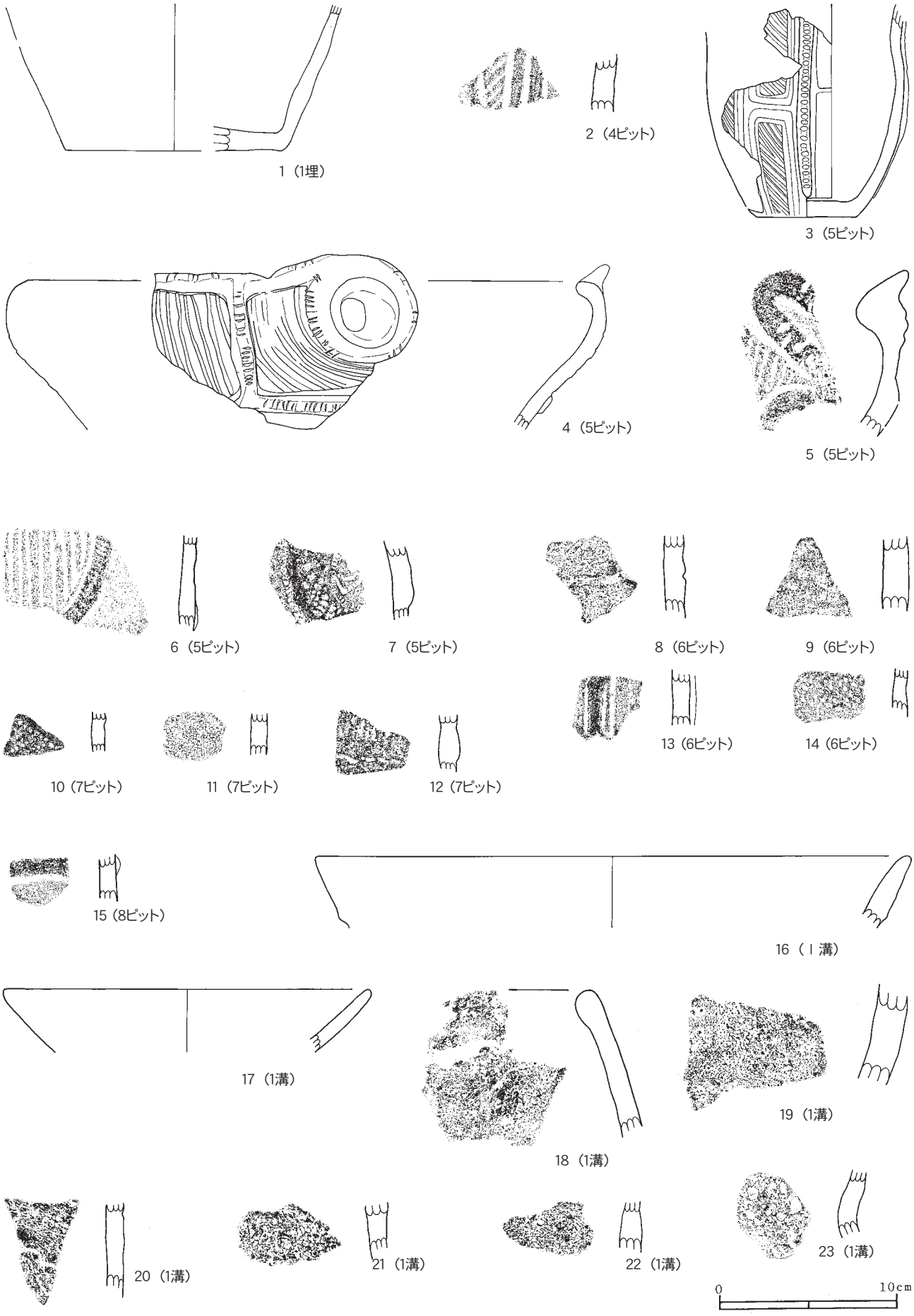
地山　褐色粘土（10YR4/6）　しまり強　粘性強　暗褐色粘土粒（10YR3/4）含む　径2cm以下角レキ5%

3号ピット
1黒褐色粘土（10YR2/2）　しまり強　粘性強　径0.4cm以下炭化材2%　径0.3cm以下赤褐色スコリア2%
2黒褐色粘土（10YR2/3）　しまり強　粘性強　径0.8cm以下黄褐色レキ3%　径0.3cm以下赤褐色スコリア2%

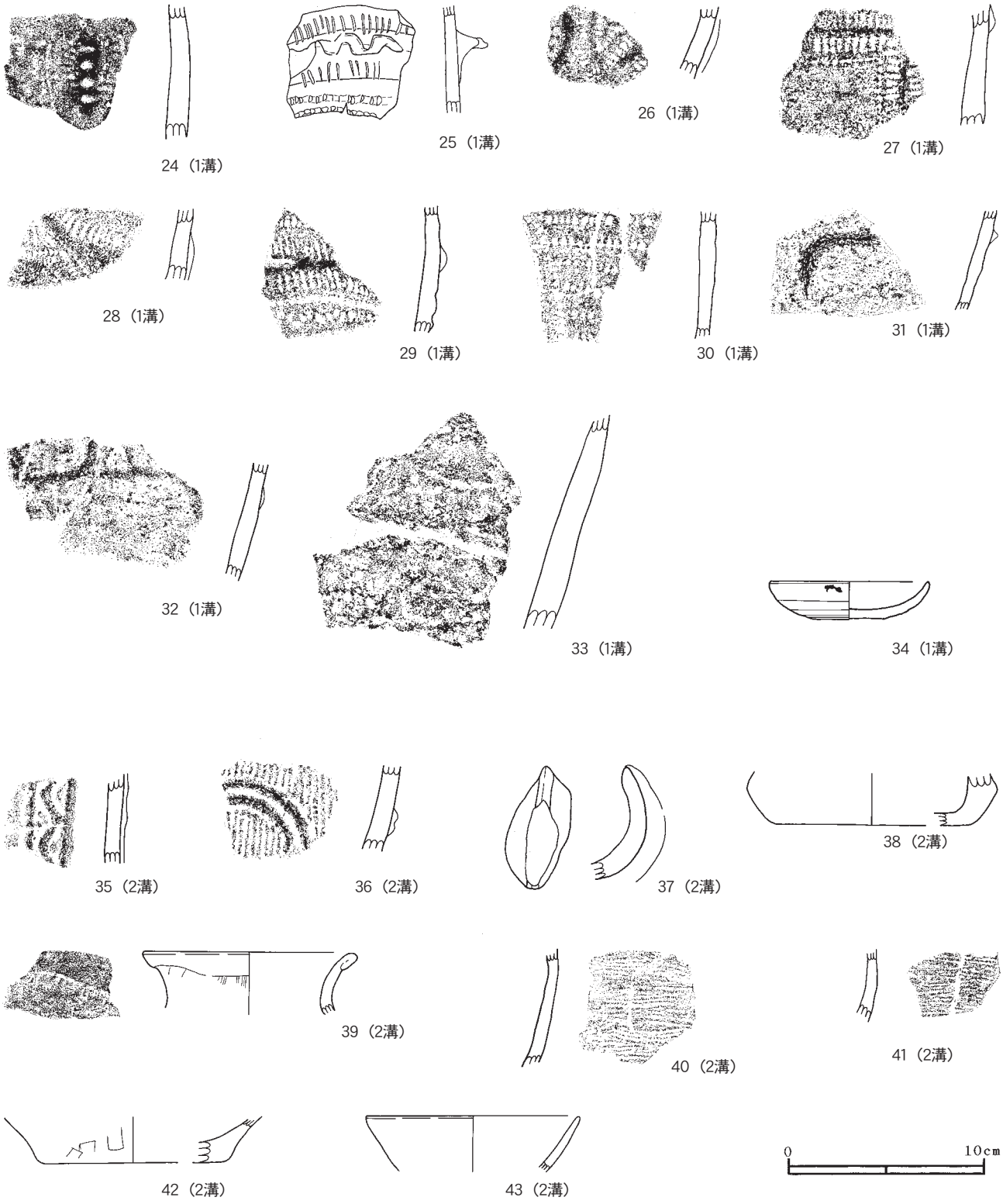
地山　褐色粘土（10YR4/6）　しまり強　径10cm以下円レキ50%　旧流路

0　2m

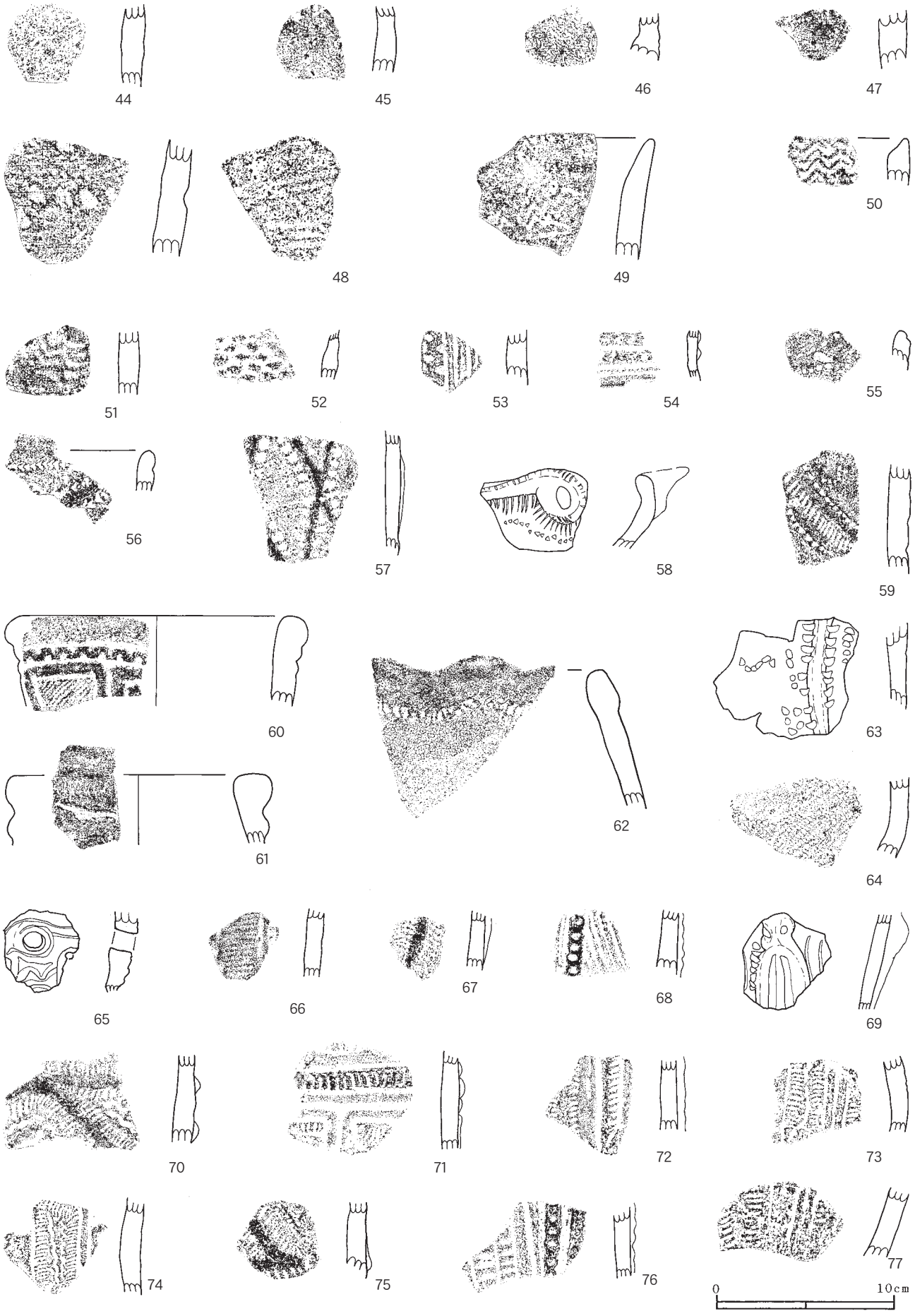
第8図　1～3号ピット・2号溝（S=1/60・S=1/30）


1（1埋）
2（4ピット）
3（5ピット）
4（5ピット）
5（5ピット）
6（5ピット）
7（5ピット）
8（6ピット）
9（6ピット）
10（7ピット）
11（7ピット）
12（7ピット）
13（6ピット）
14（6ピット）
15（8ピット）
16（Ⅰ溝）
17（1溝）
18（1溝）
19（1溝）
20（1溝）
21（1溝）
22（1溝）
23（1溝）
0
10cm

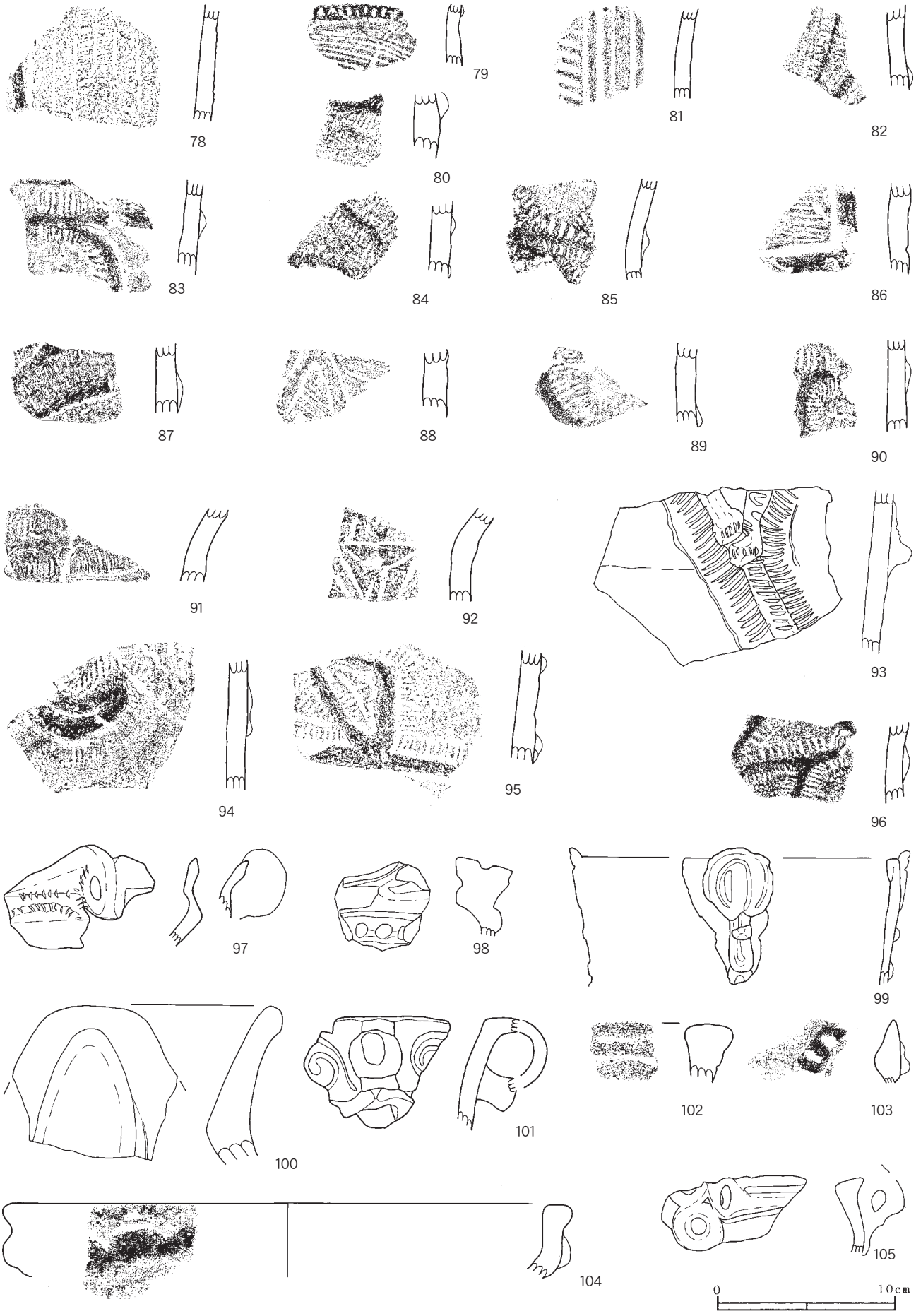
第９図　遺構出土土器（1）



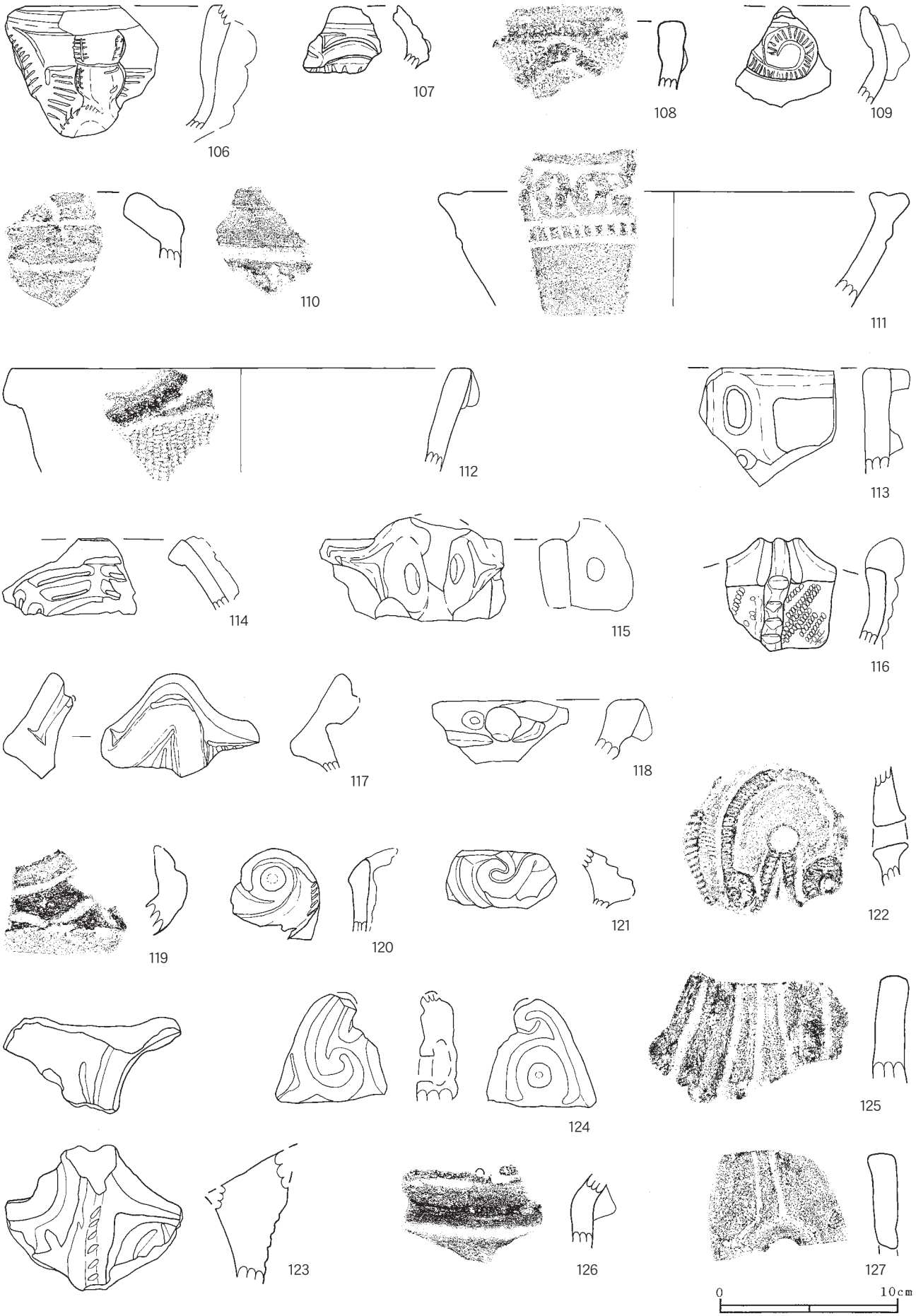
第10図　遺構出土土器（2）



第11図　遺構外出土縄文土器（1）

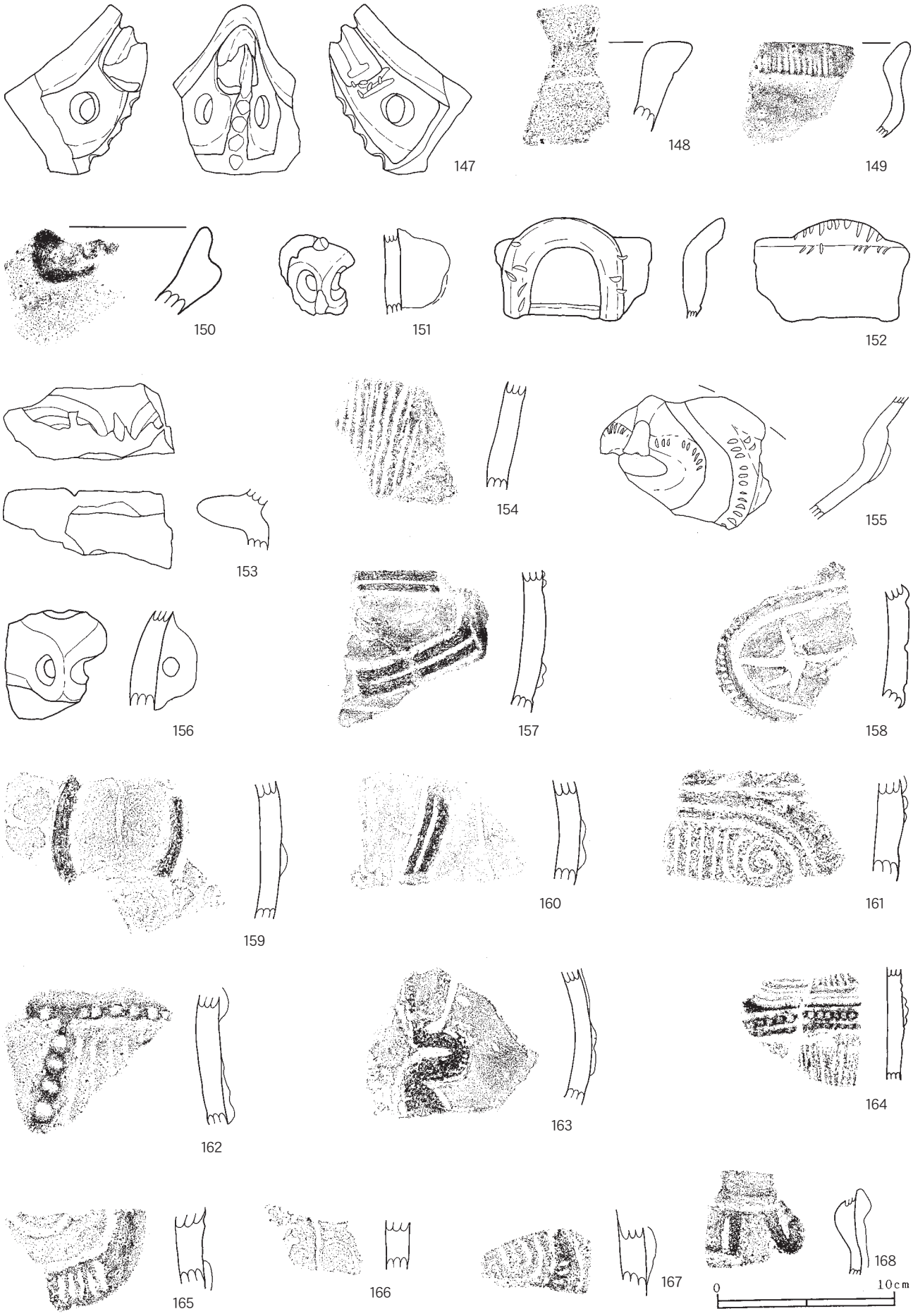


第12図　遺構外出土縄文土器（2）

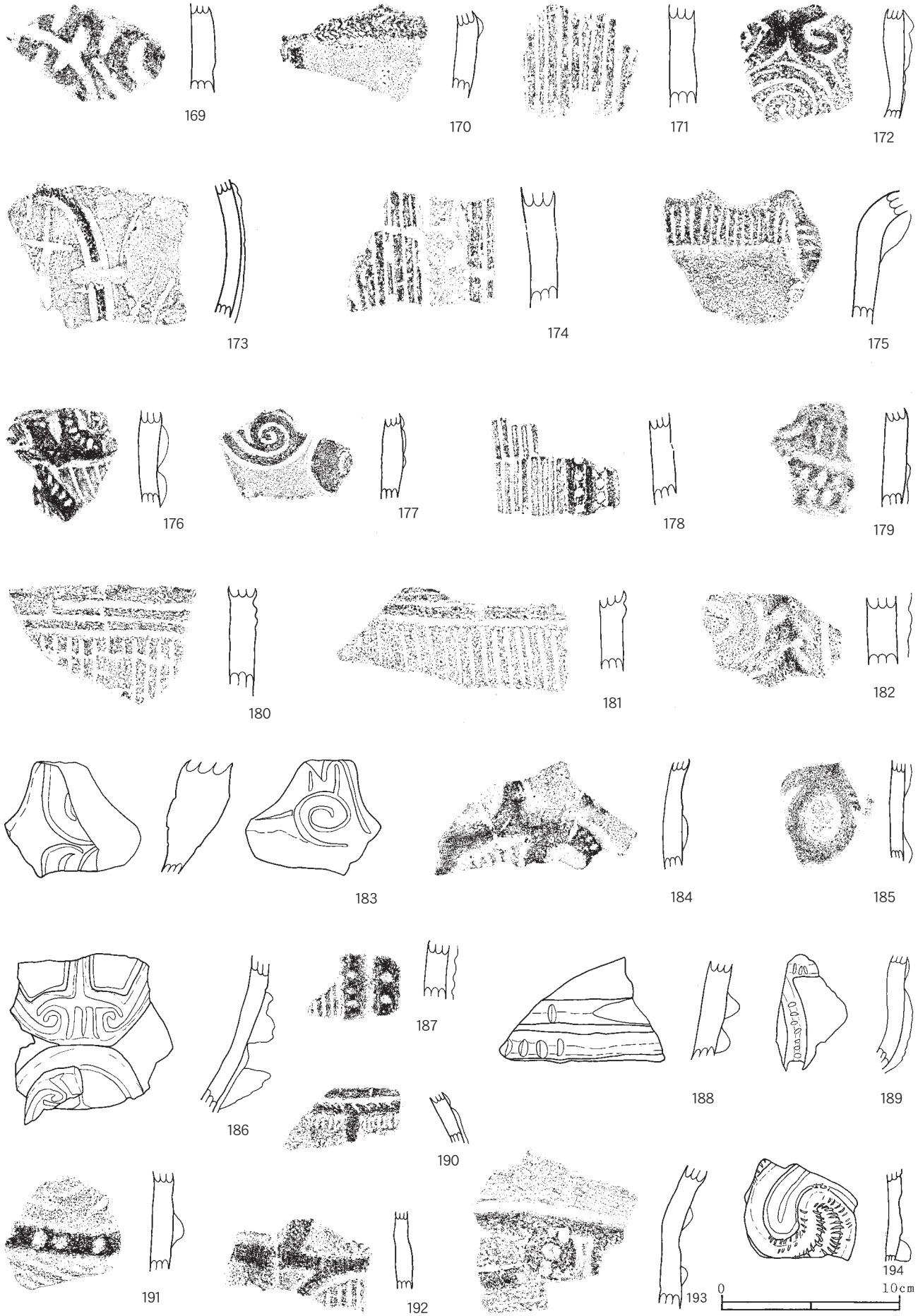


第13図　遺構外出土縄文土器（3）

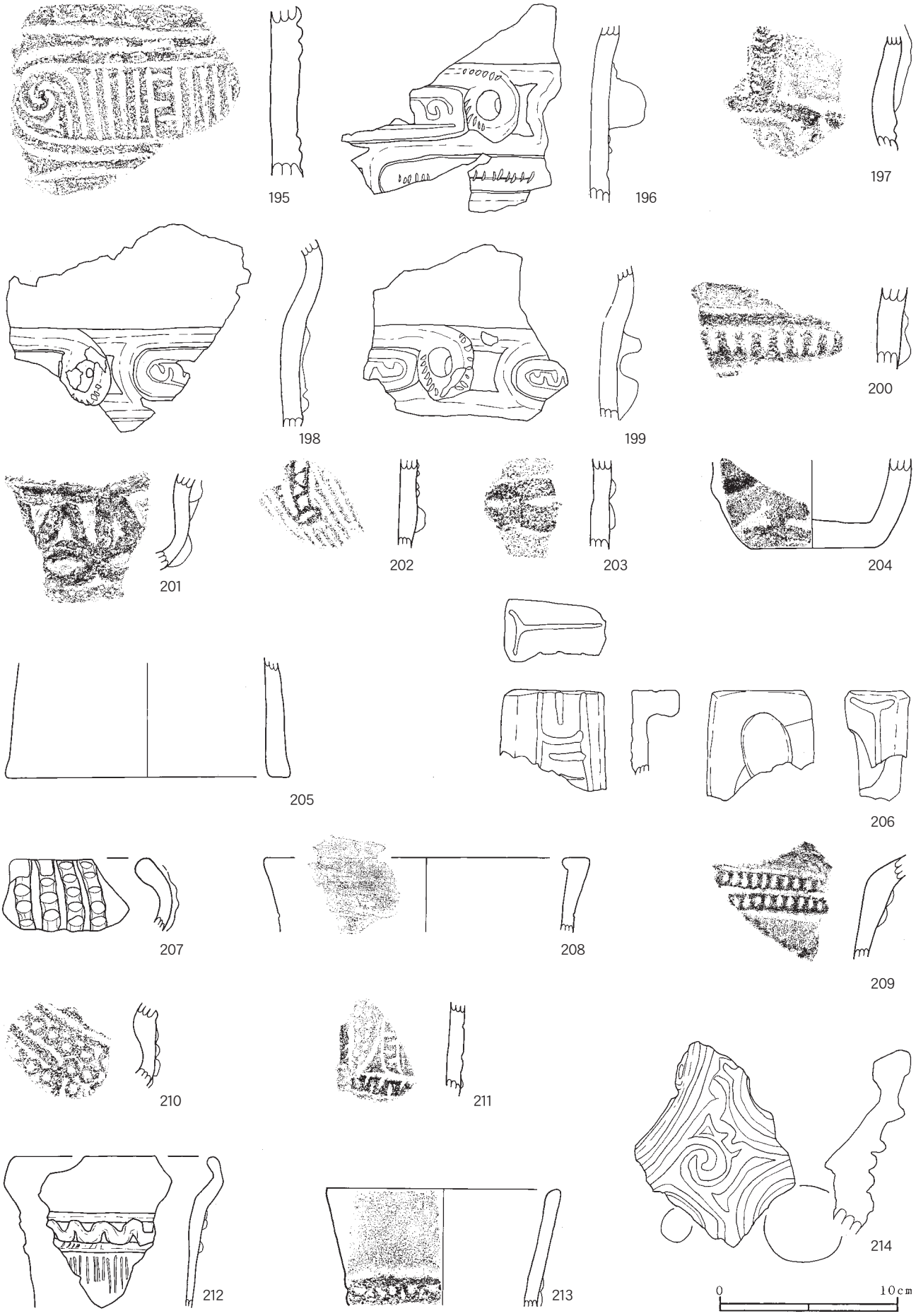
第14図　遺構外出土縄文土器（4）



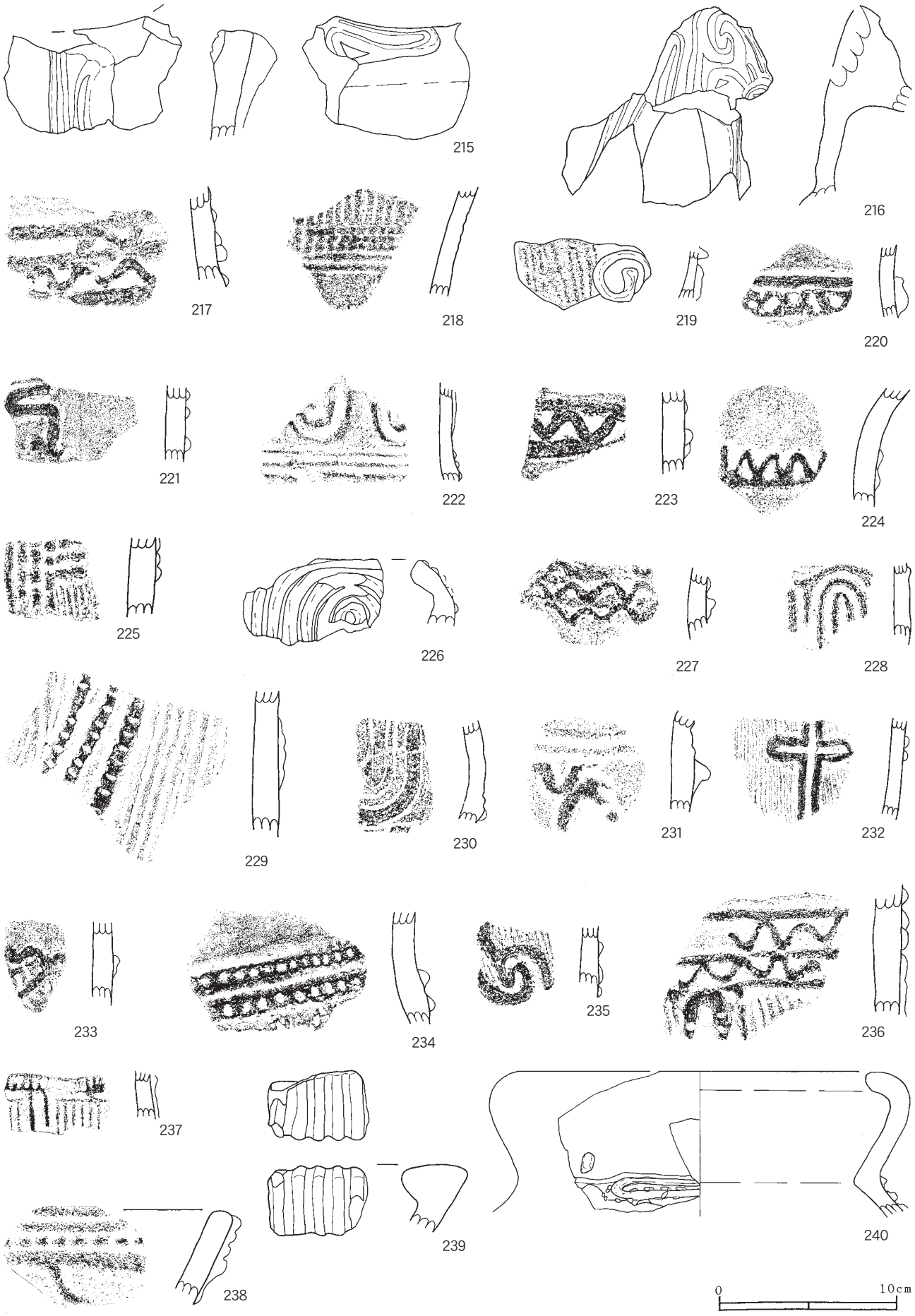
第15図　遺構外出土縄文土器 (5)



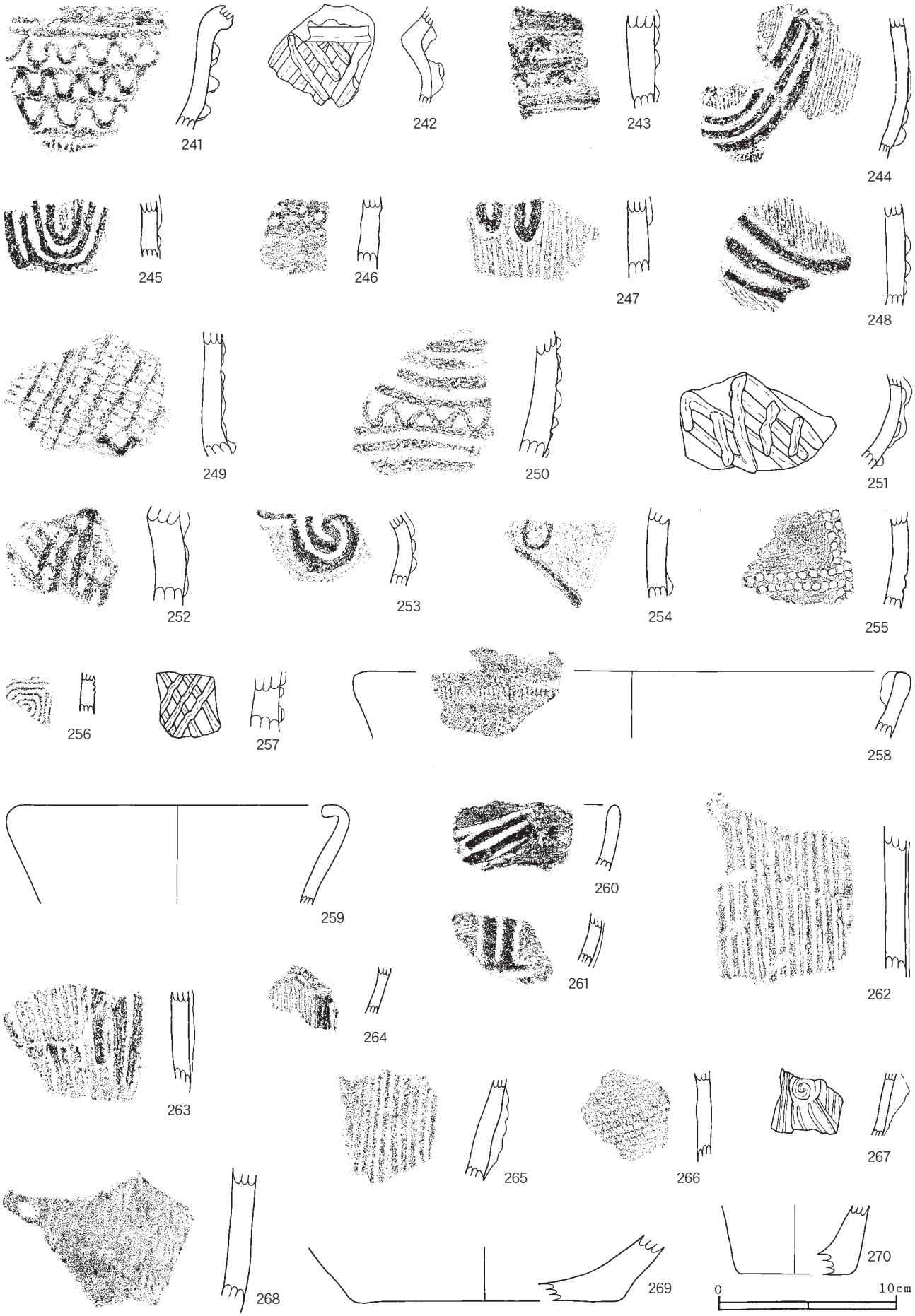
第16図　遺構外出土縄文土器（6）



第17図　遺構外出土縄文土器（7）

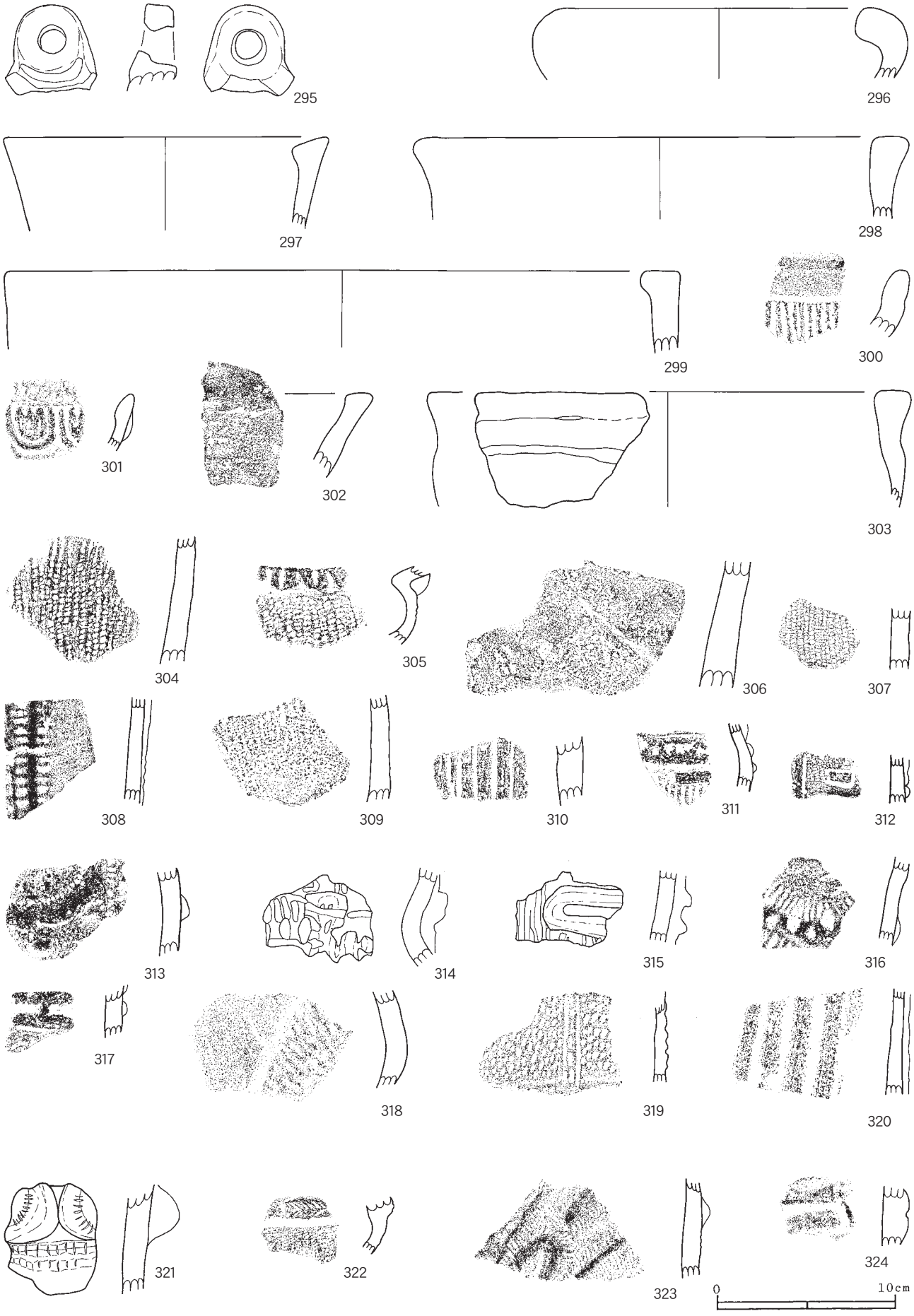


第18図　遺構外出土縄文土器 (8)

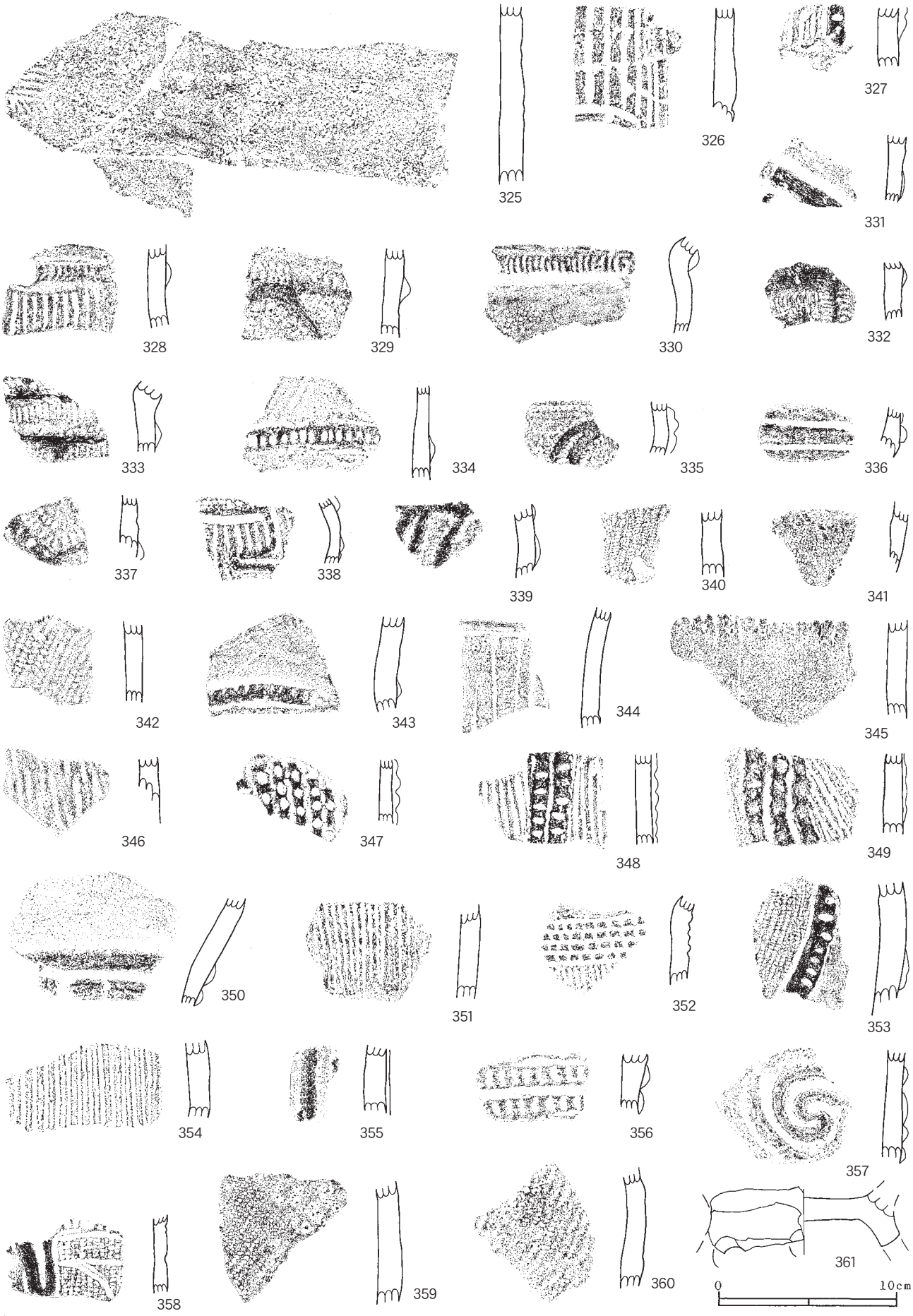


第19図　遺構外出土縄文土器（9）

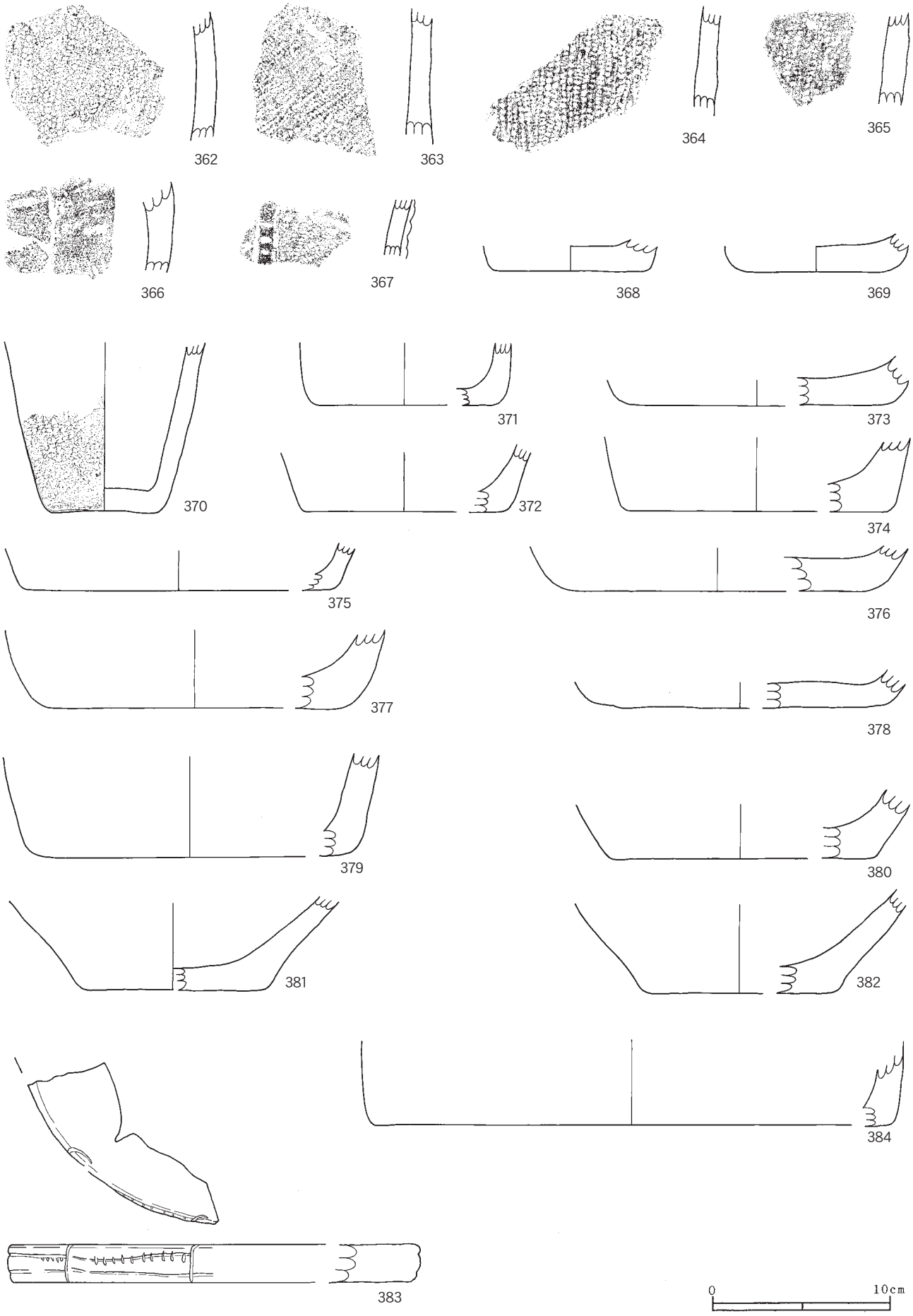
第20図　遺構外出土縄文土器（10）



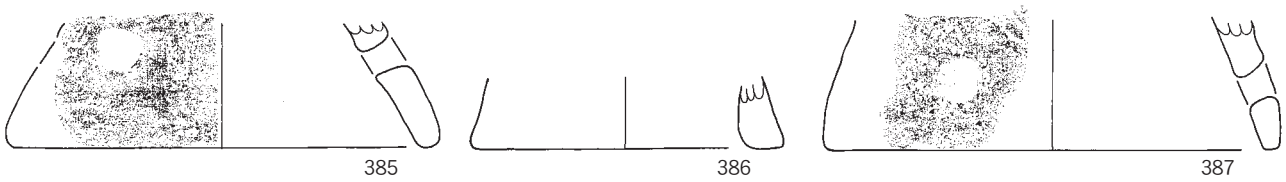
第21図　遺構外出土縄文土器（11）



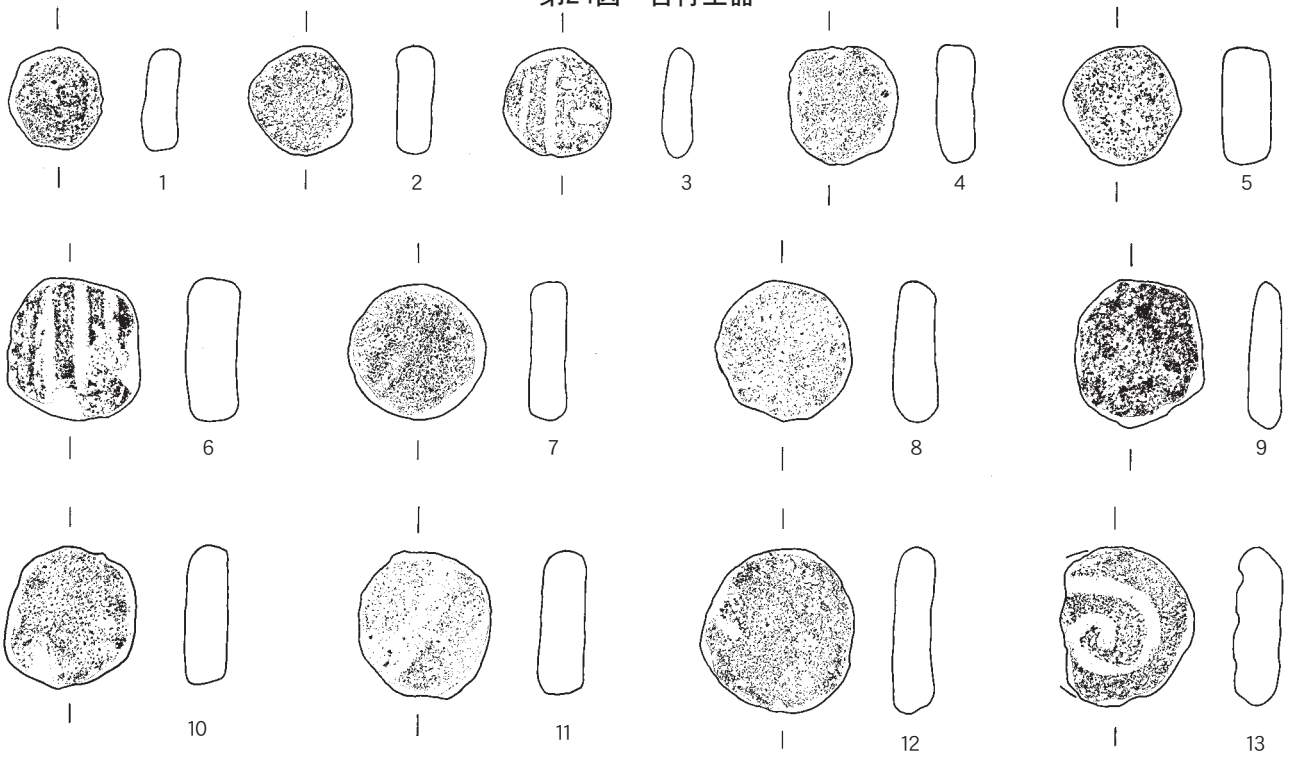
第22図　遺構外出土縄文土器（12）



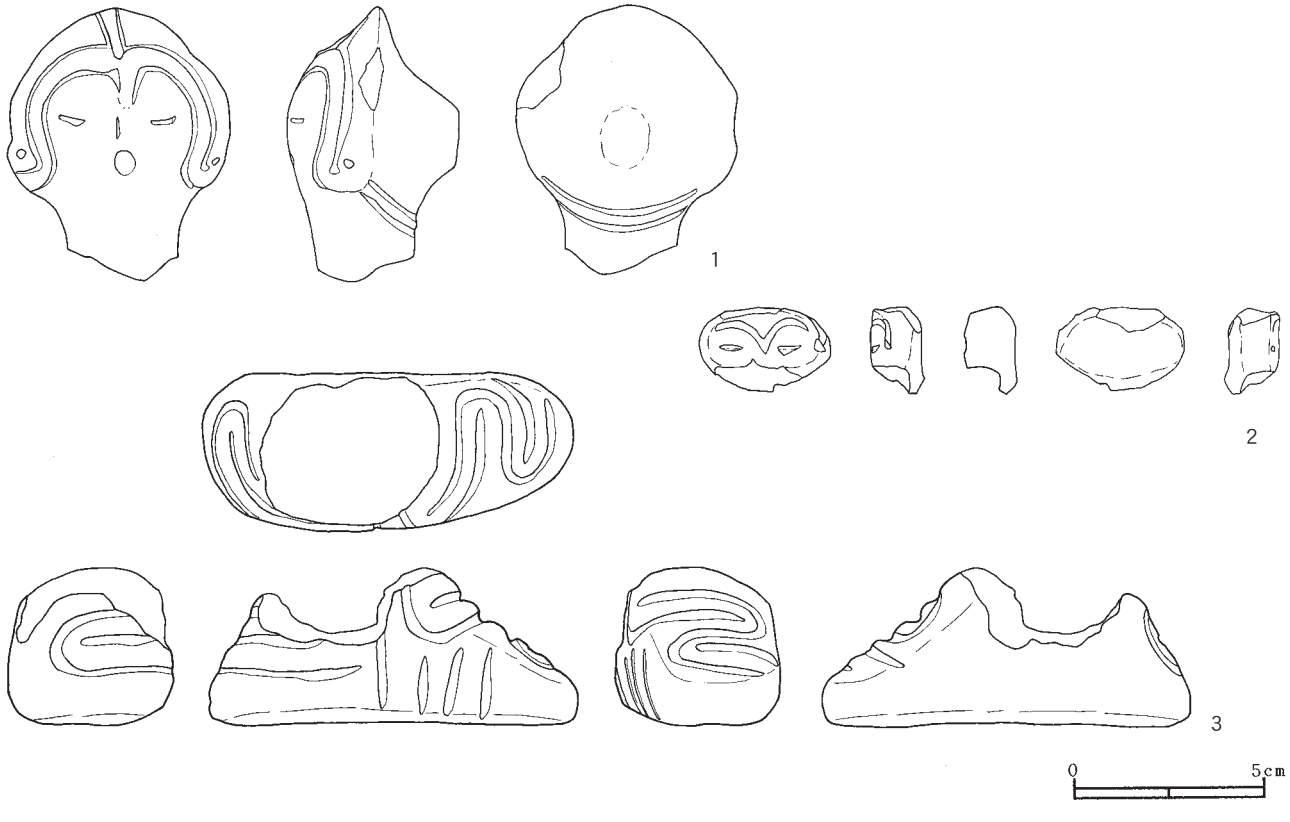
第23図　遺構外出土縄文土器（13）



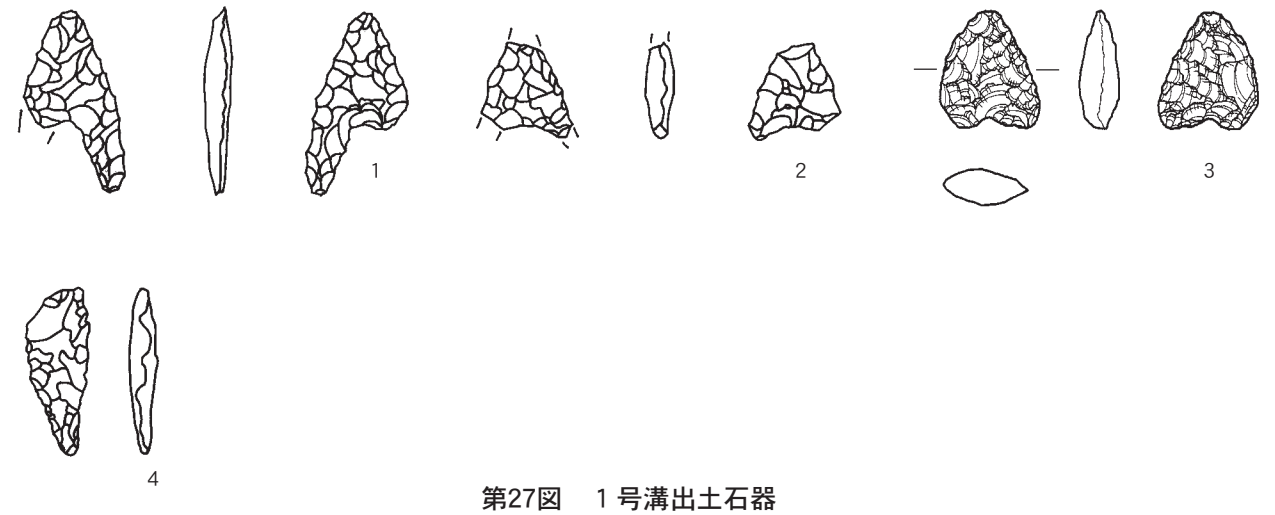
第24図　台付土器



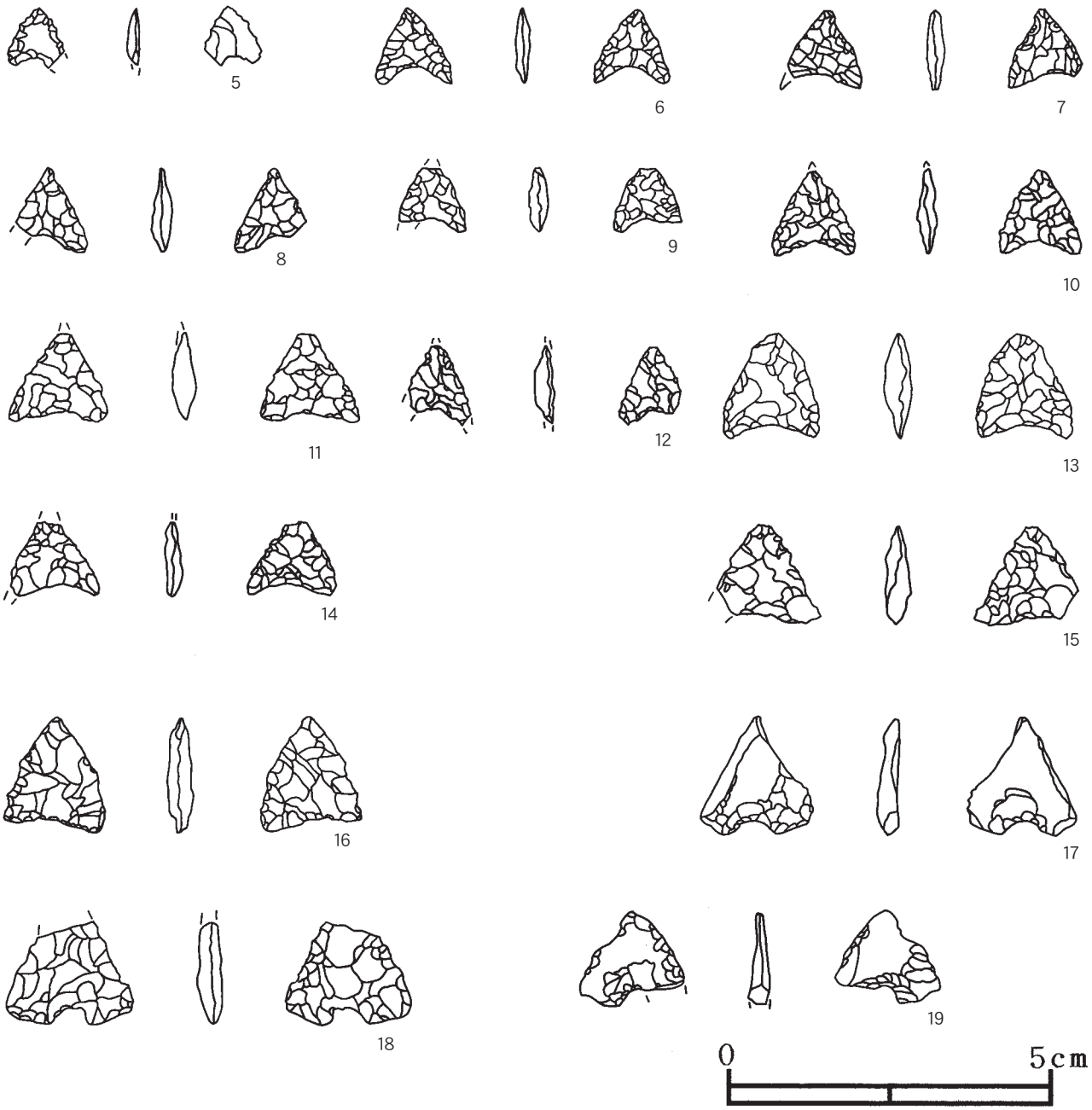
第25図　土製円盤



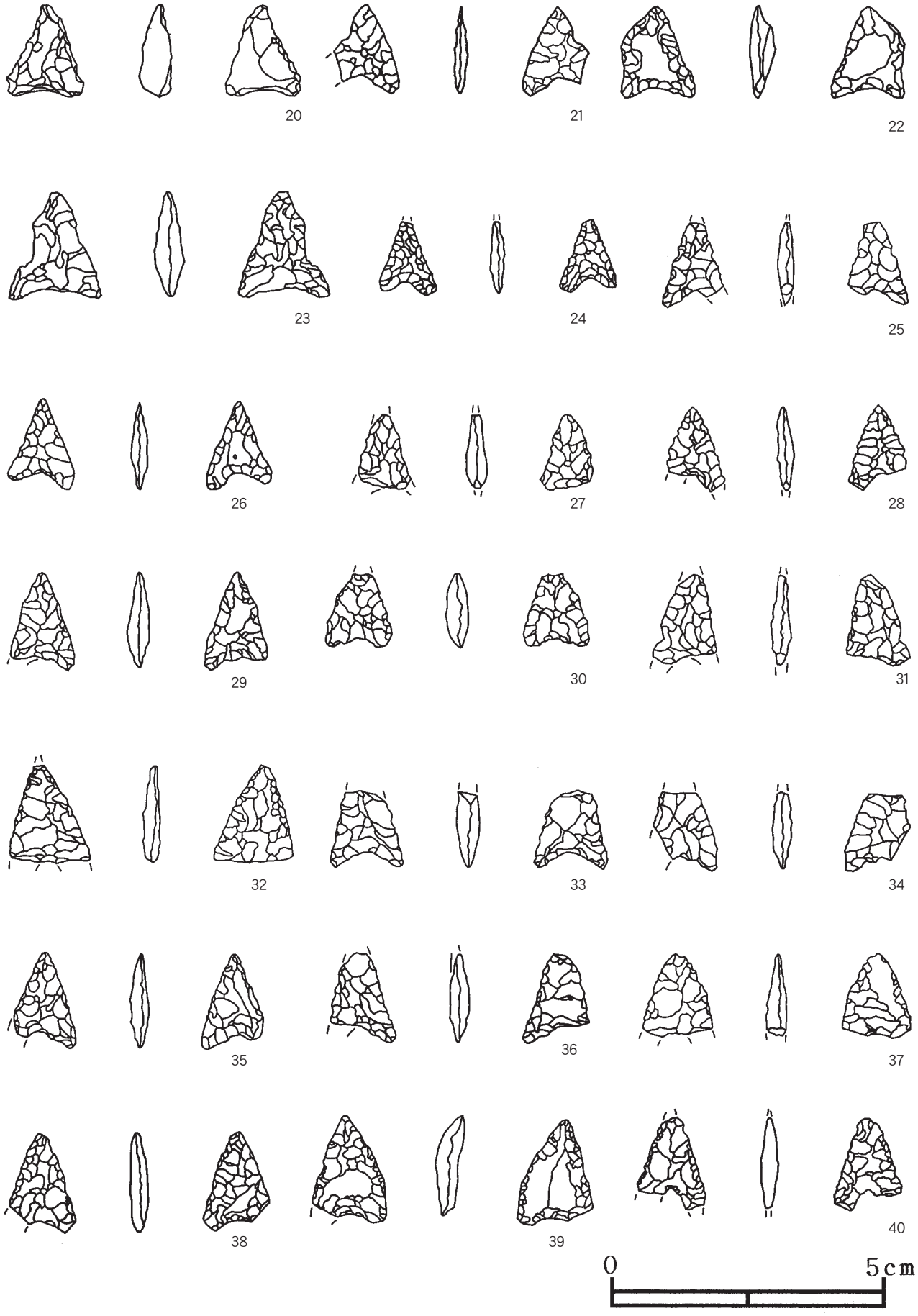
第26図　土偶



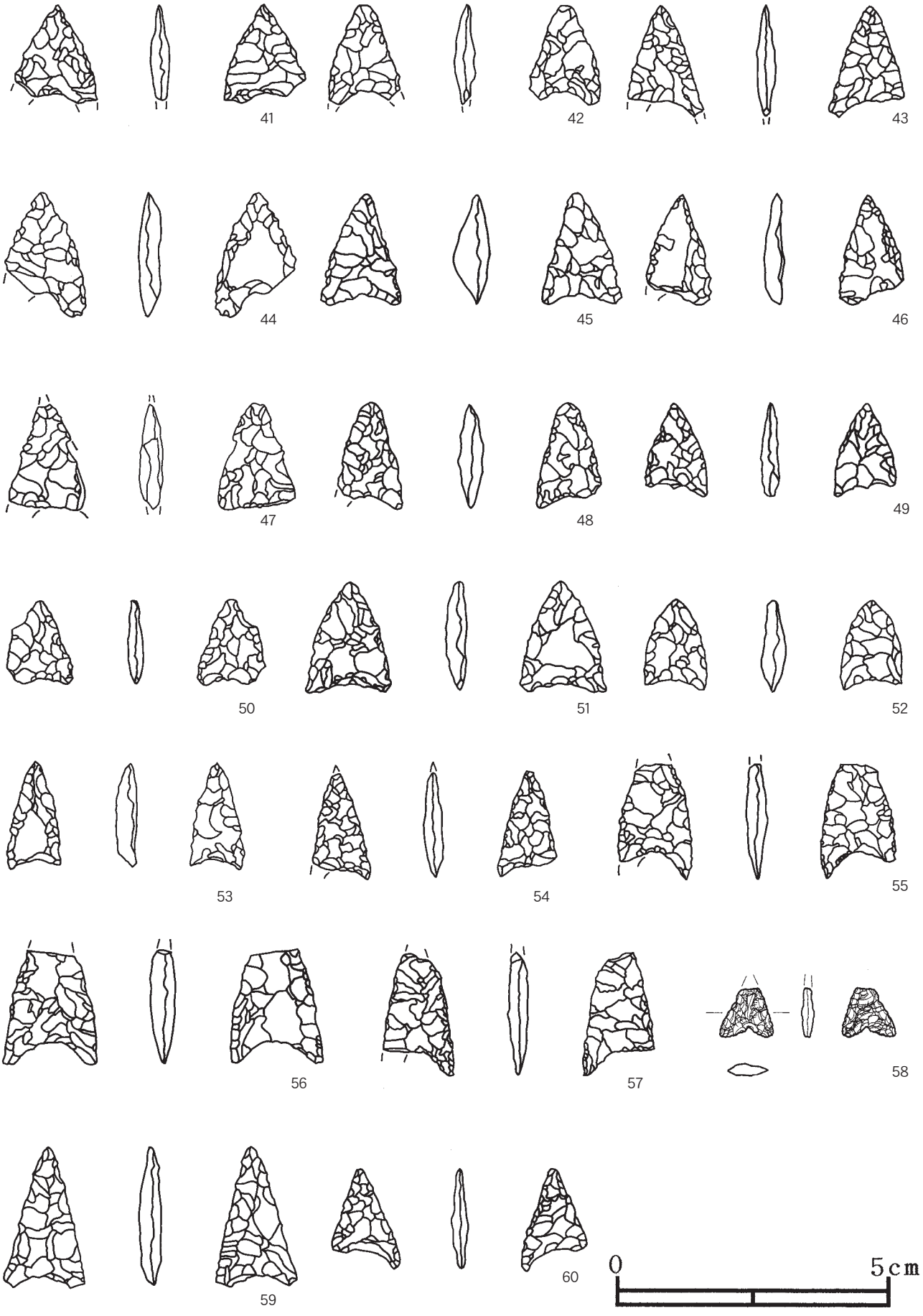
第27図　1号溝出土石器



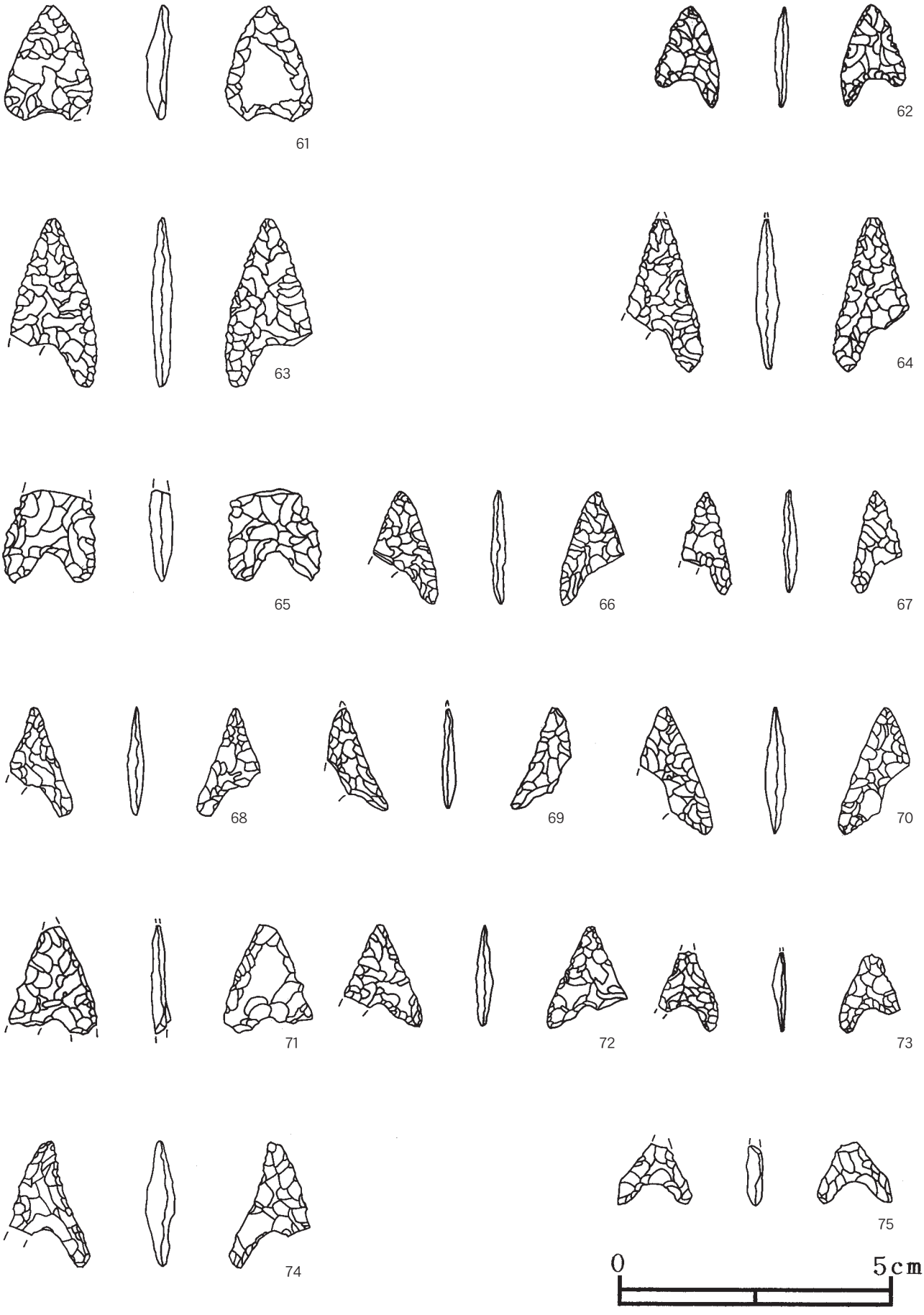
第28図　遺構外出土石器（1）



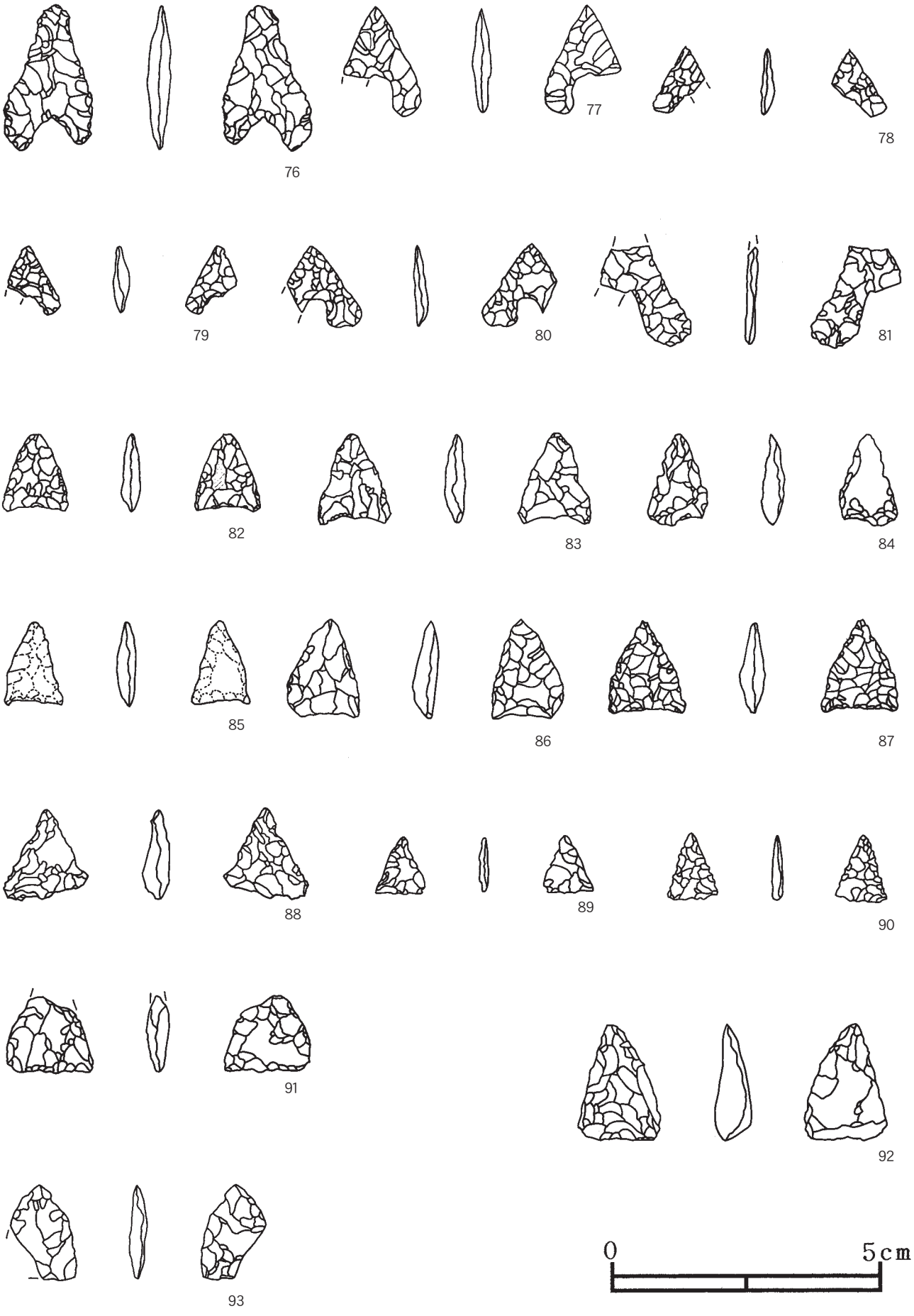
第29図　遺構外出土石器 (2)



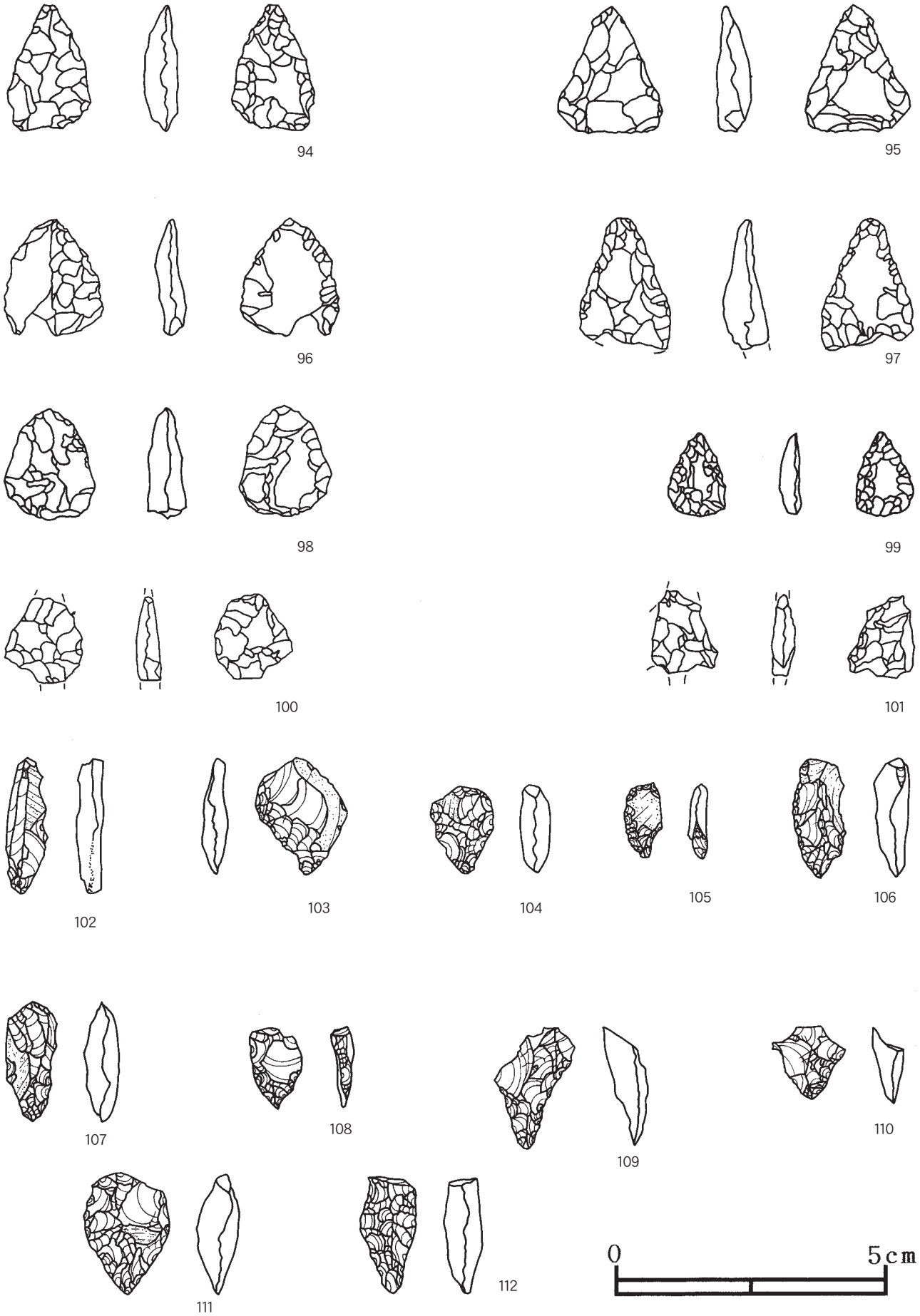
第30図　遺構外出土石器（3）



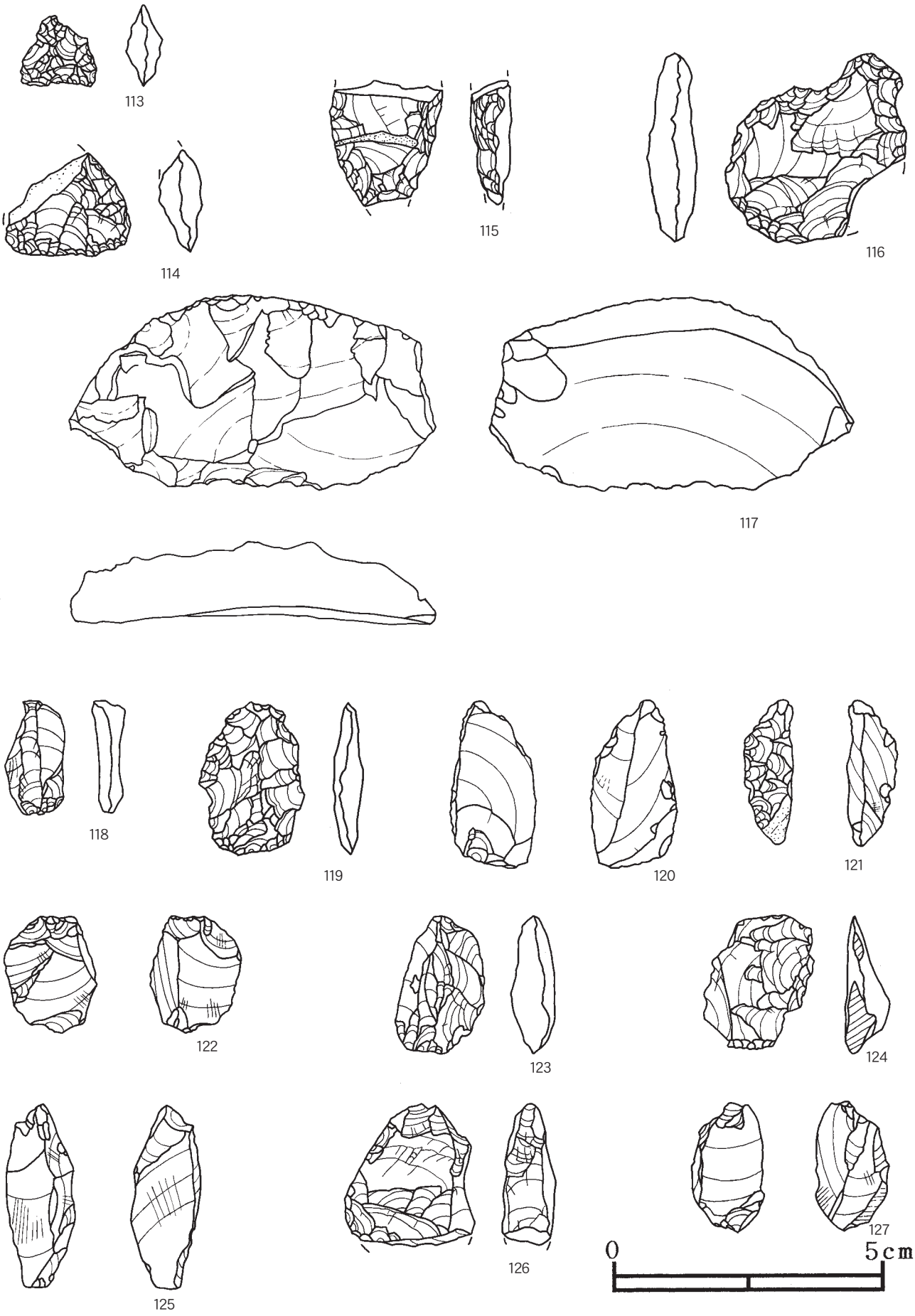
第31図　遺構外出土石器（4）



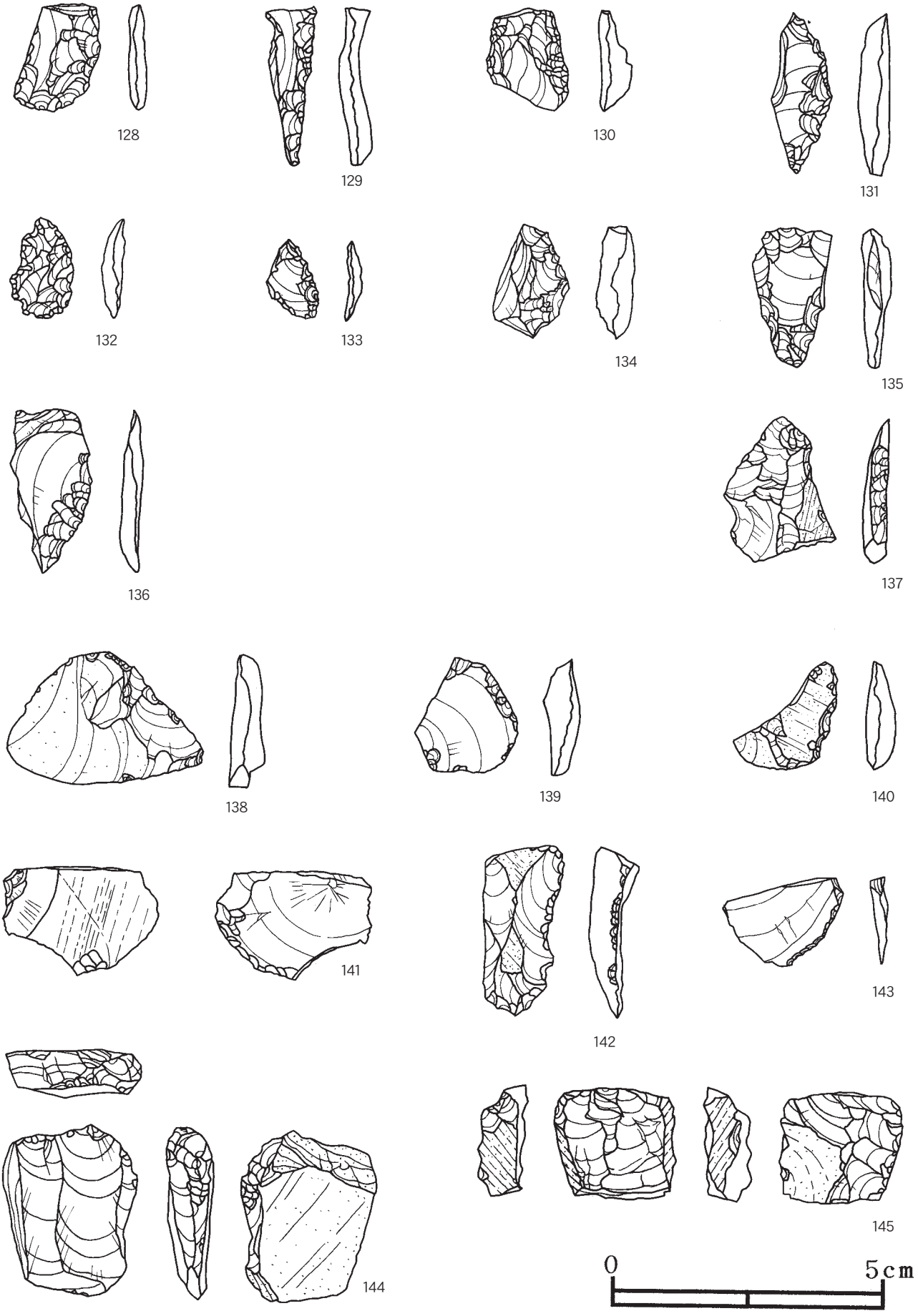
第32図　遺構外出土石器 (5)



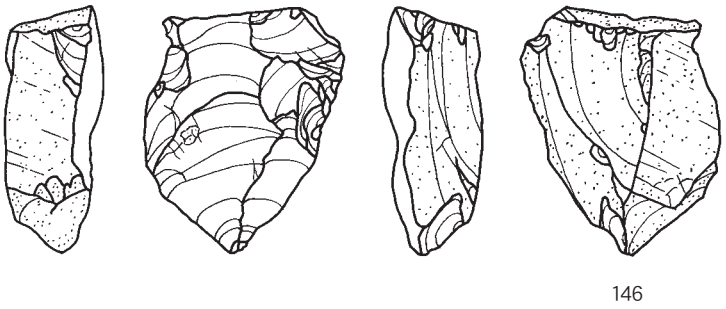
第33図　遺構外出土石器（6）



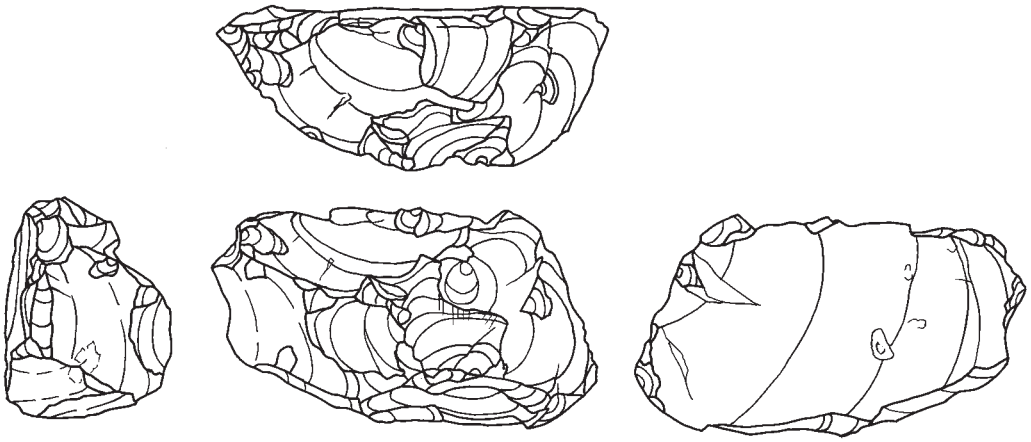
第34図　遺構外出土石器（7）



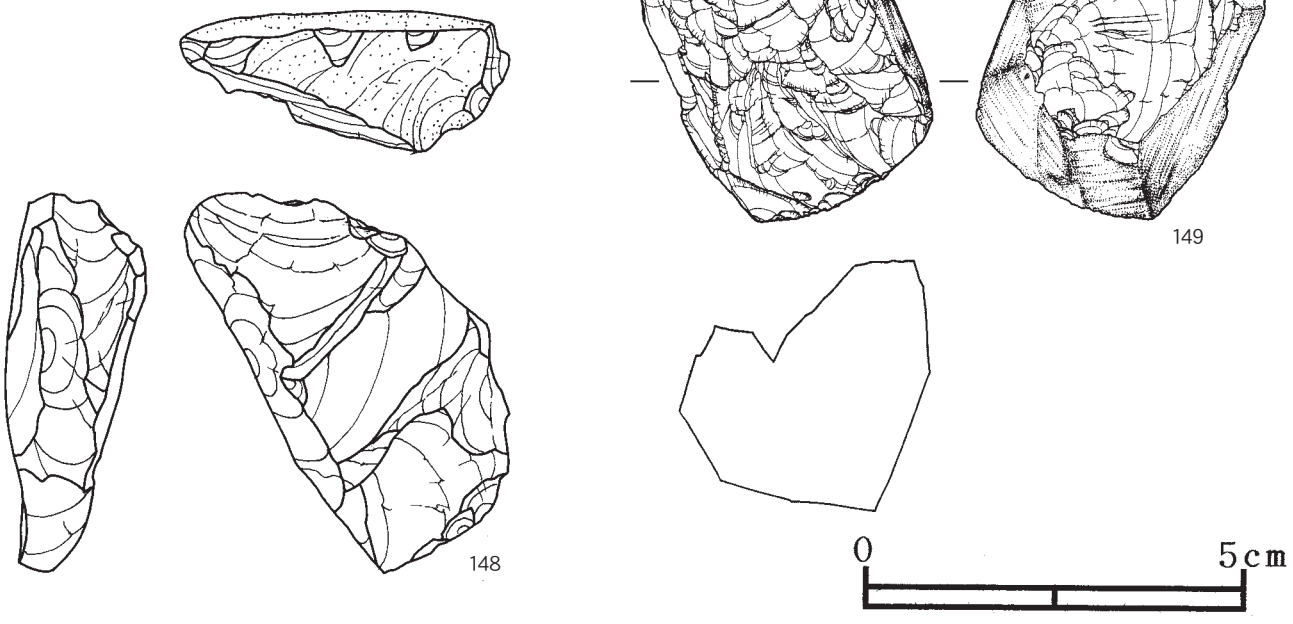
第35図　遺構外出土石器 (8)



146



147

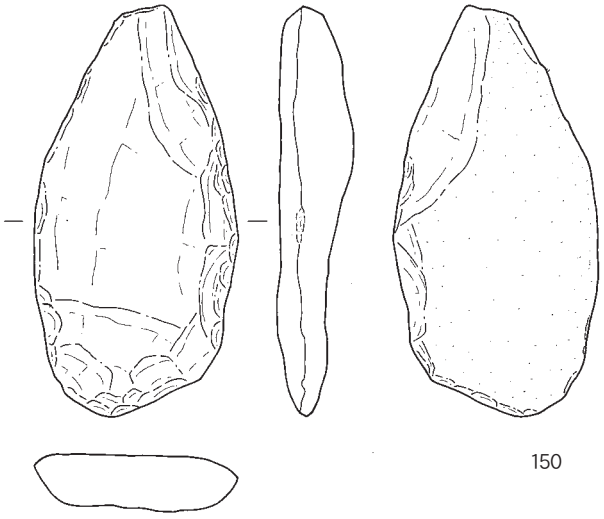


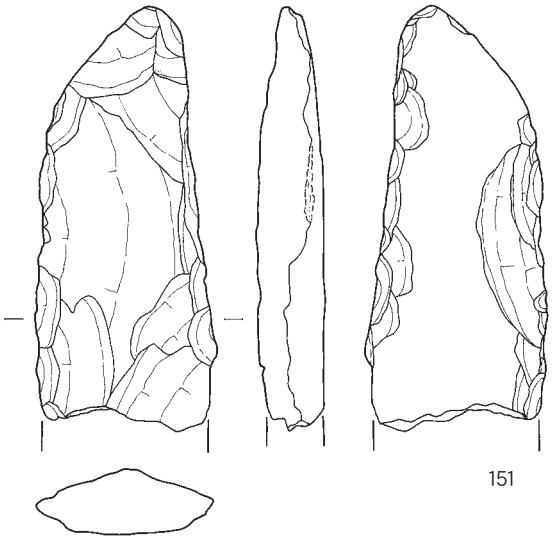
148

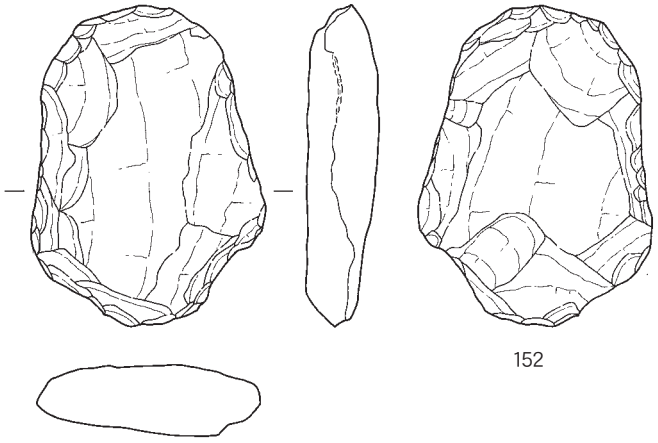
149

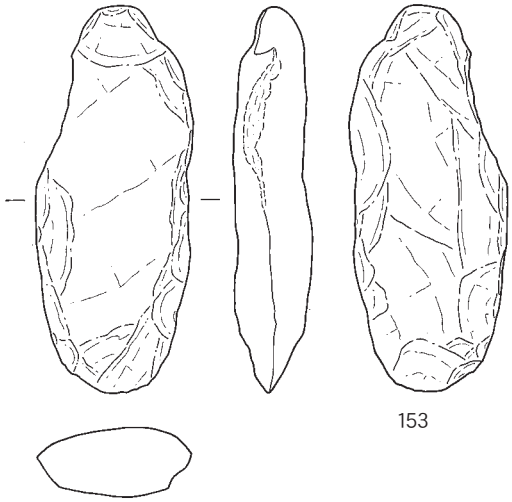
0 5cm

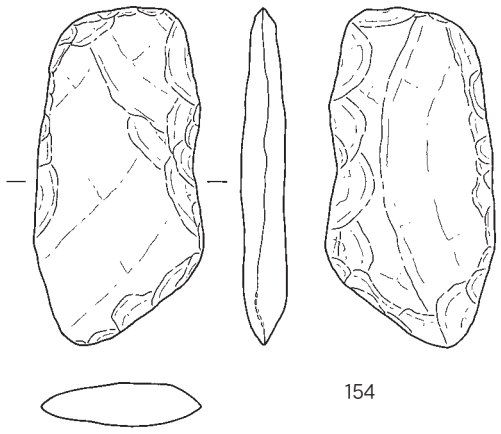
第36図　遺構外出土石器 (9)

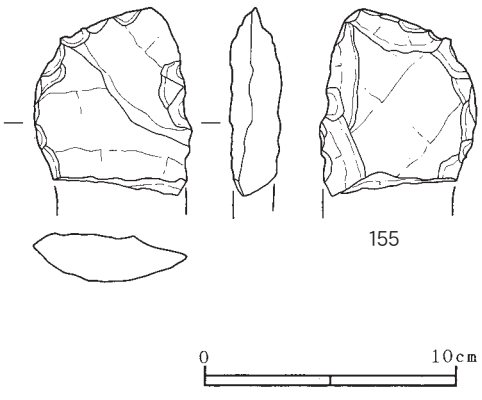




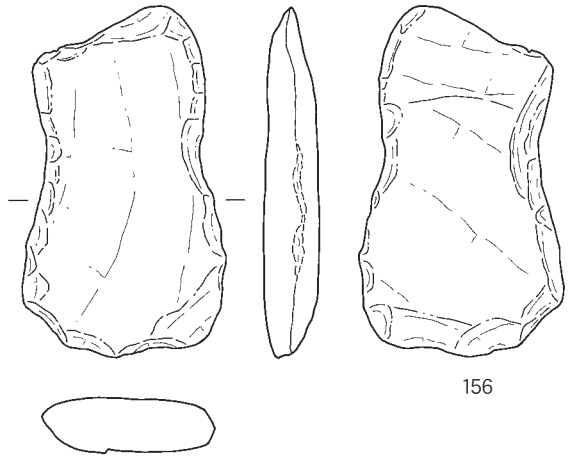


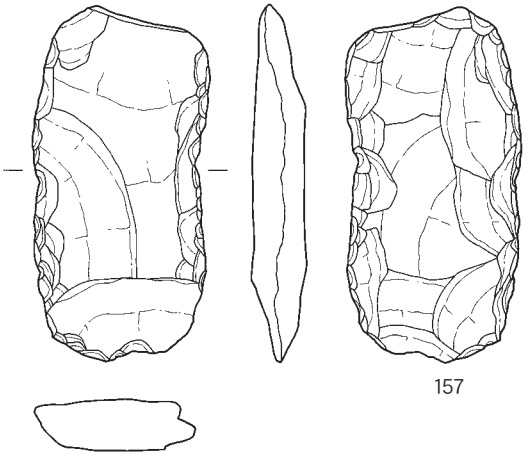


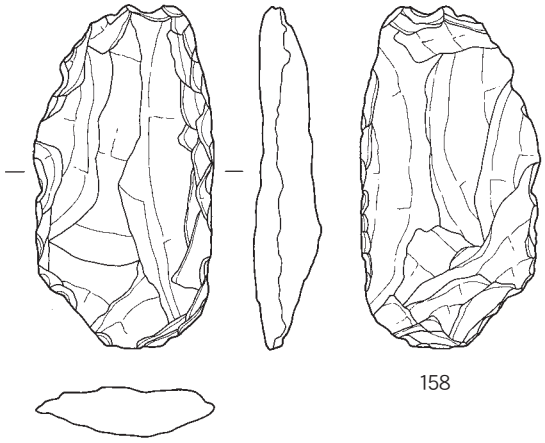


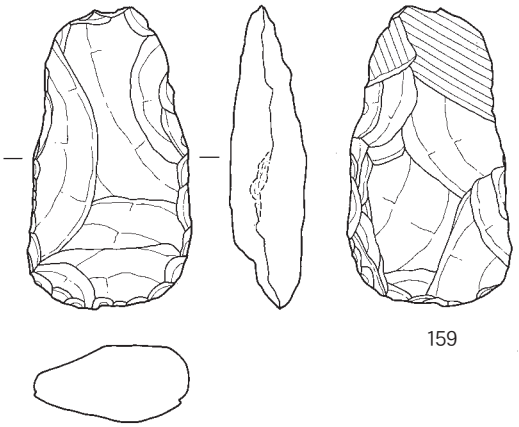


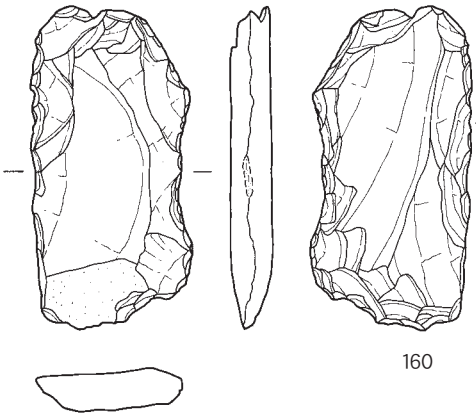
第37図　遺構外出土石器（10）

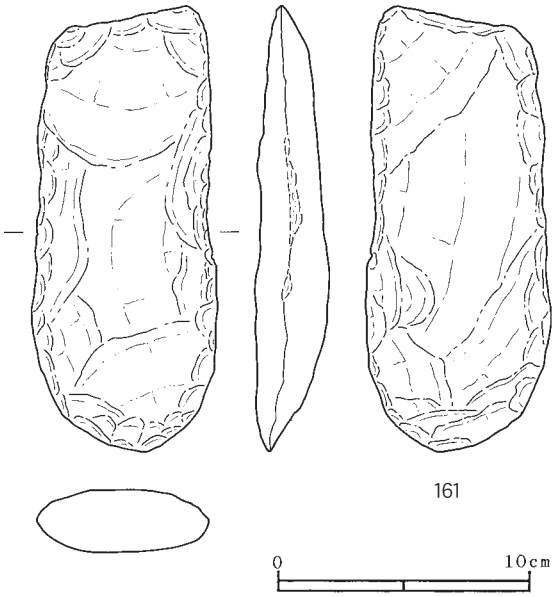




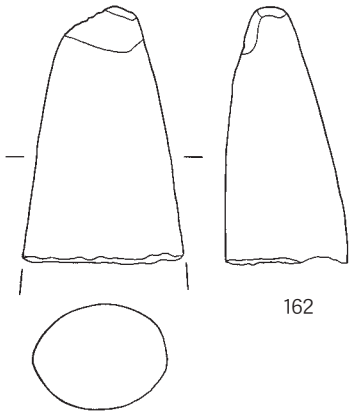


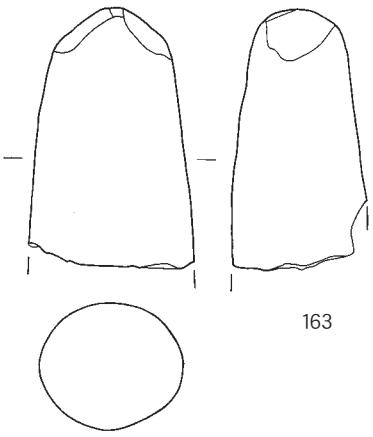


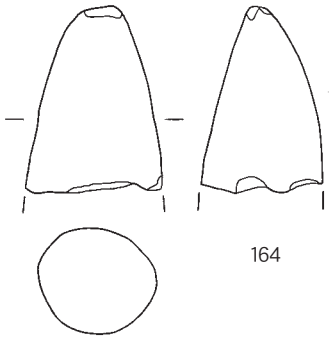


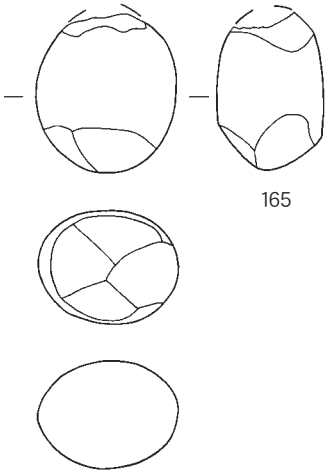


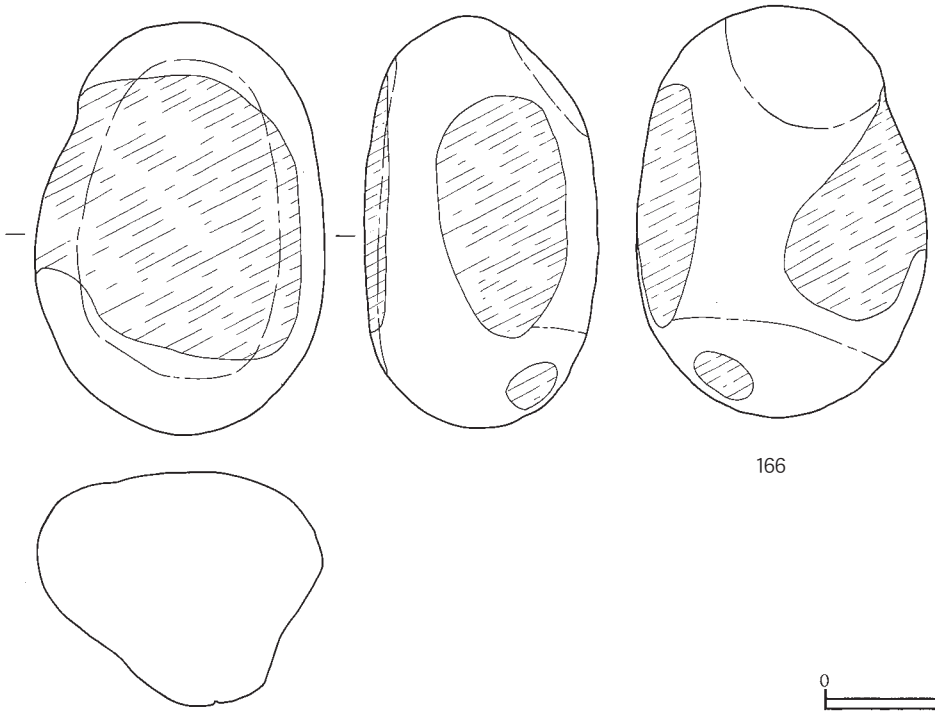
第38図　遺構外出土石器（11）



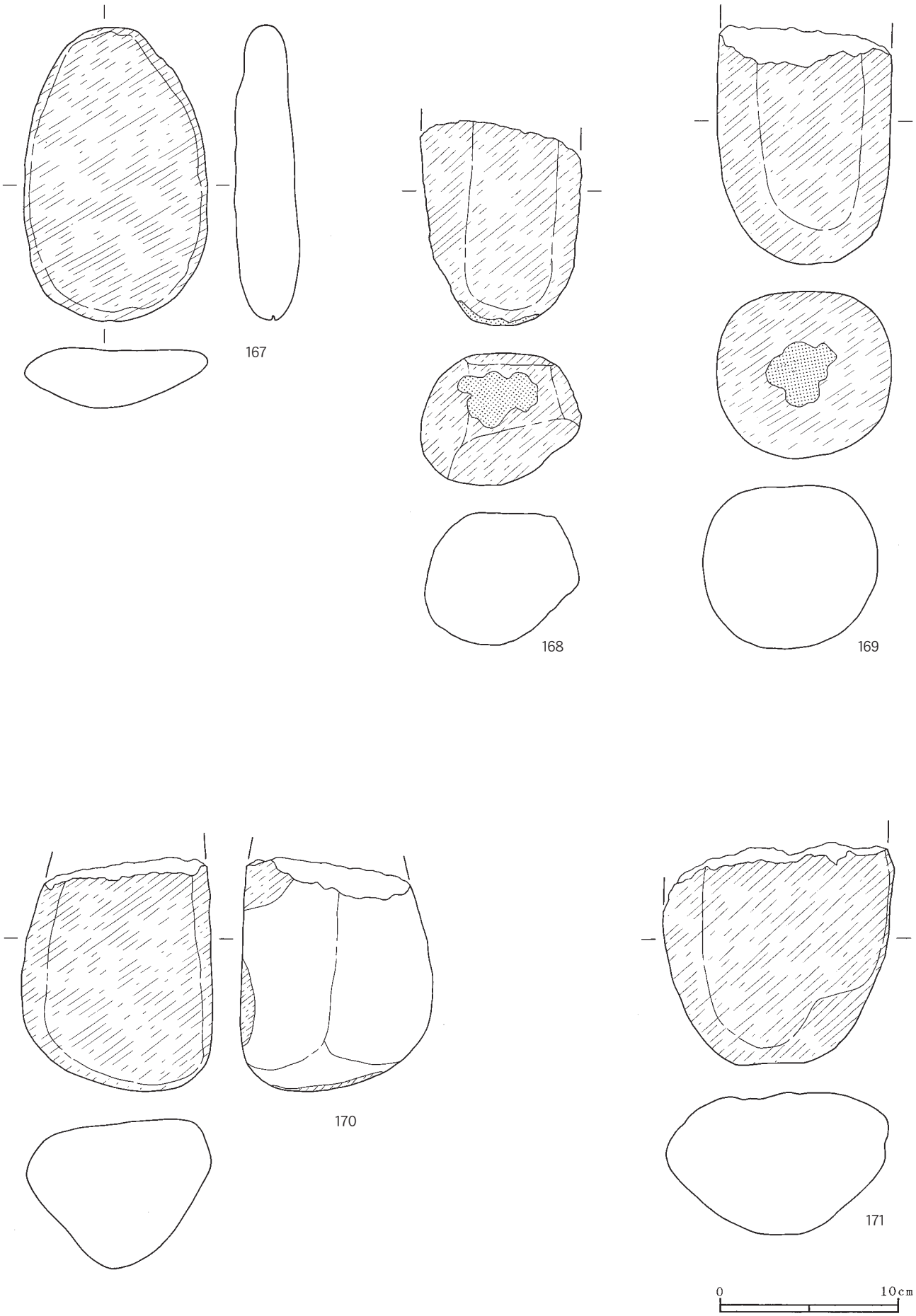




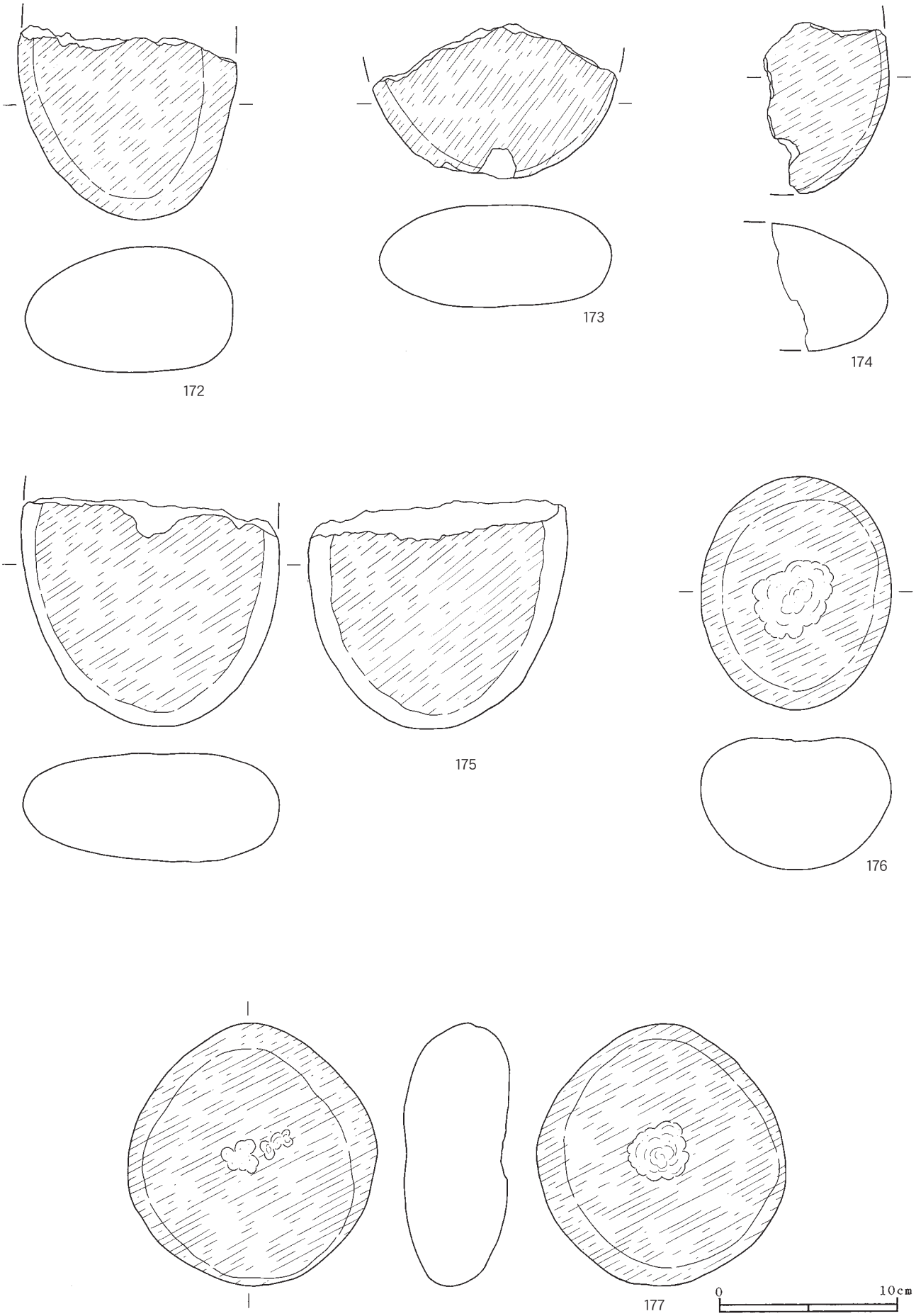




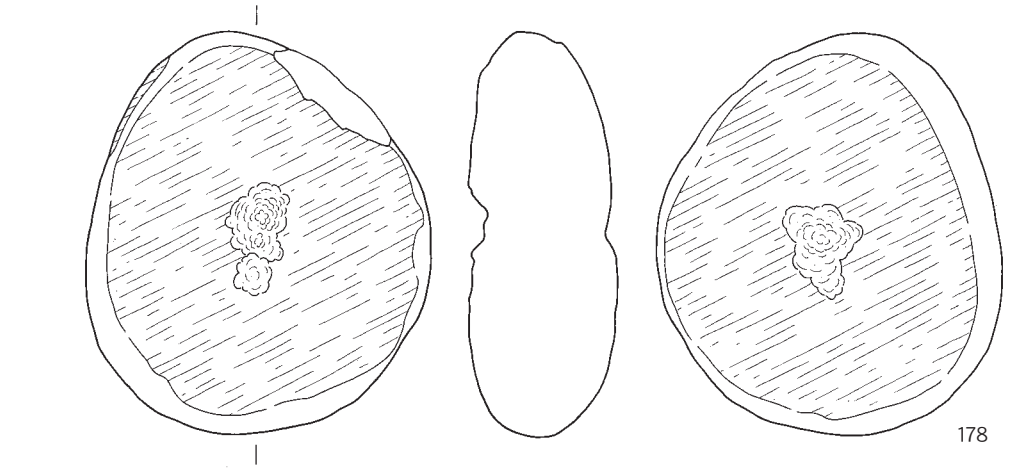
第39図　遺構外出土石器 (12)

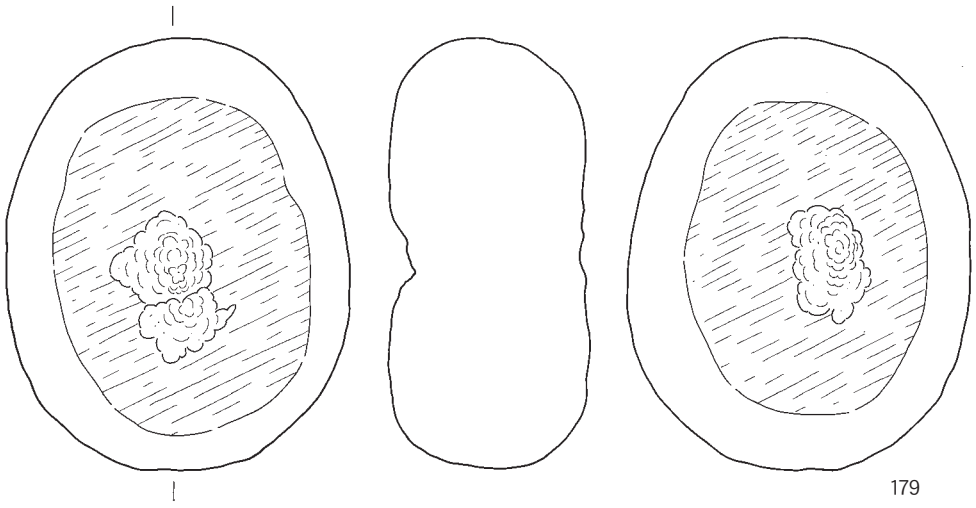


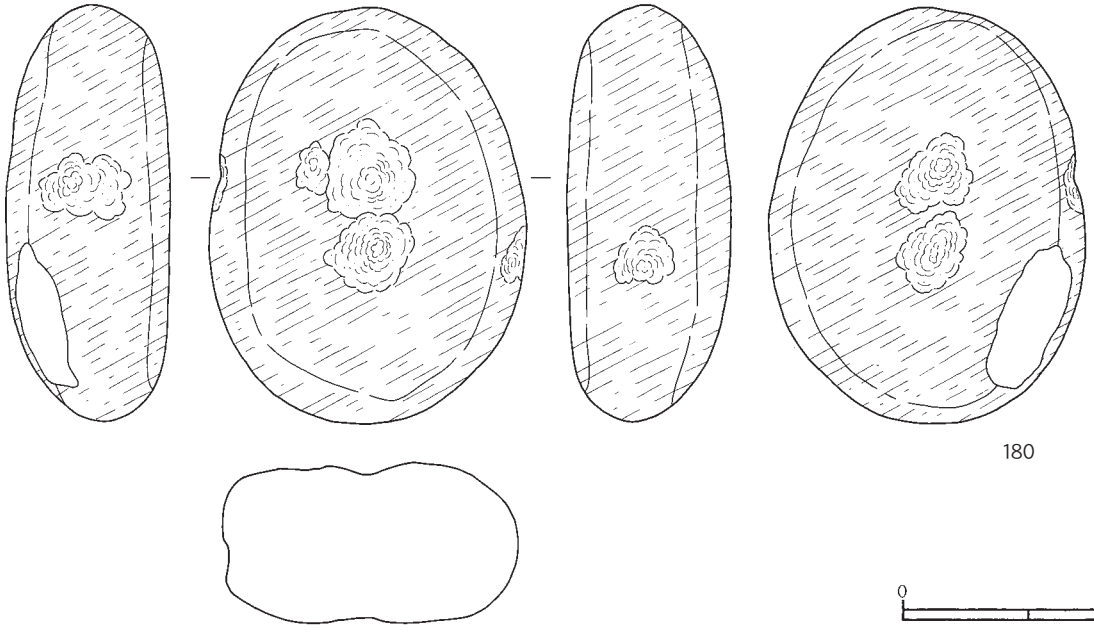
第40図　遺構外出土石器 (13)



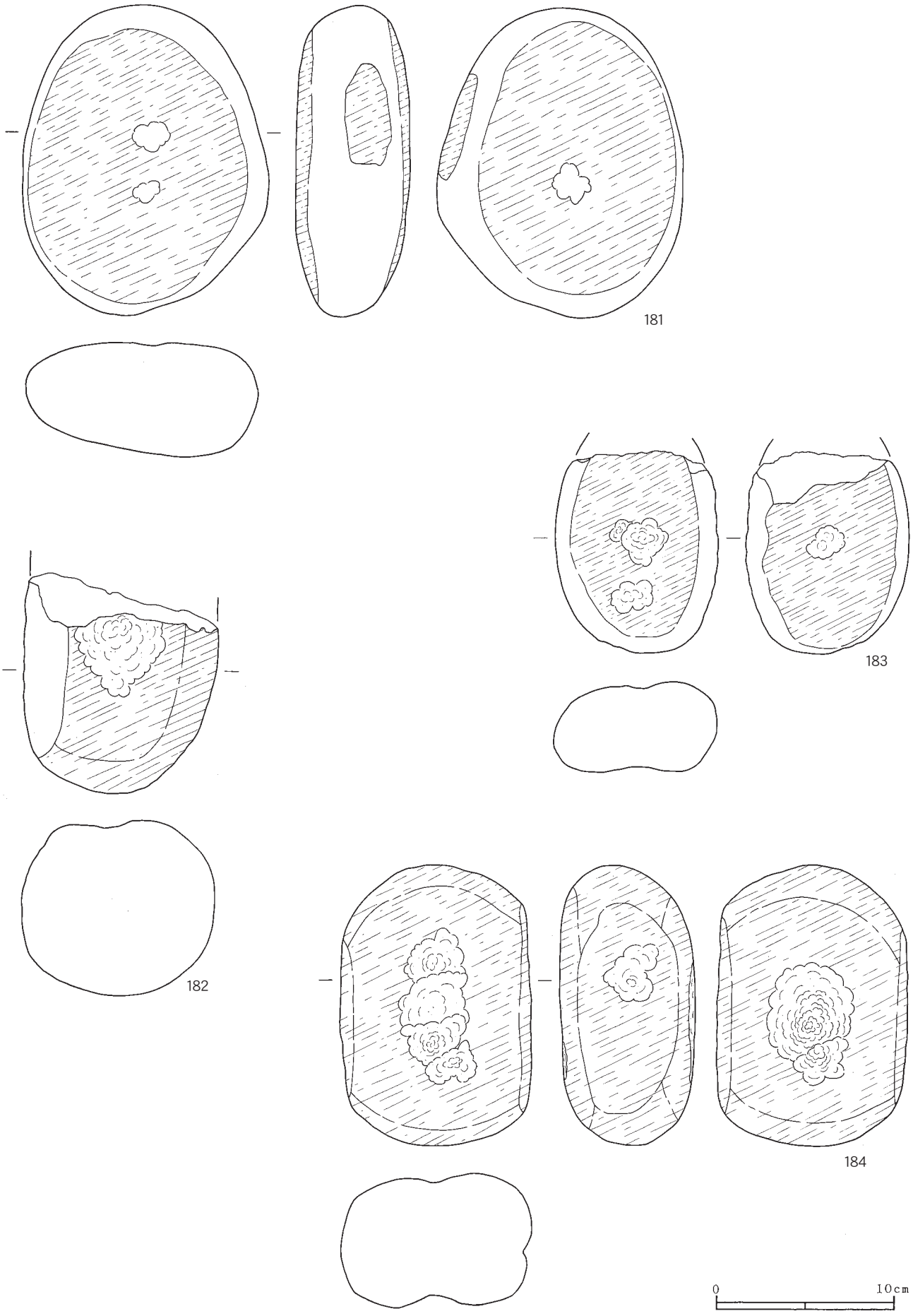
第41図　遺構外出土石器（14）



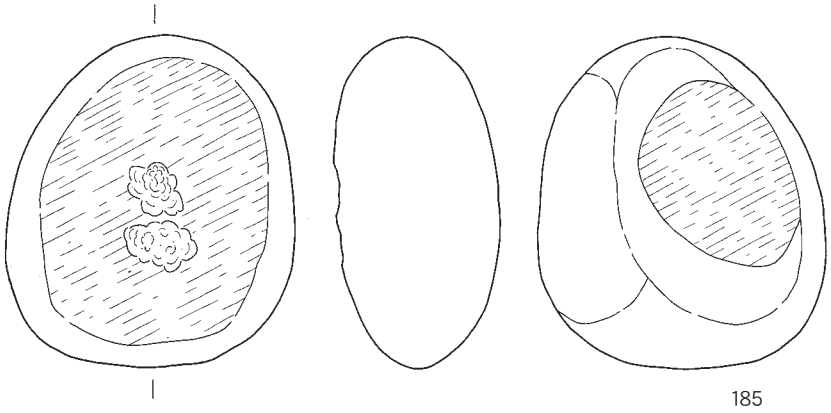


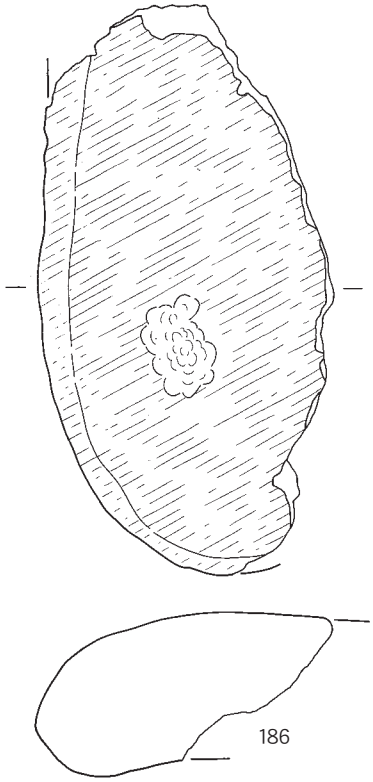


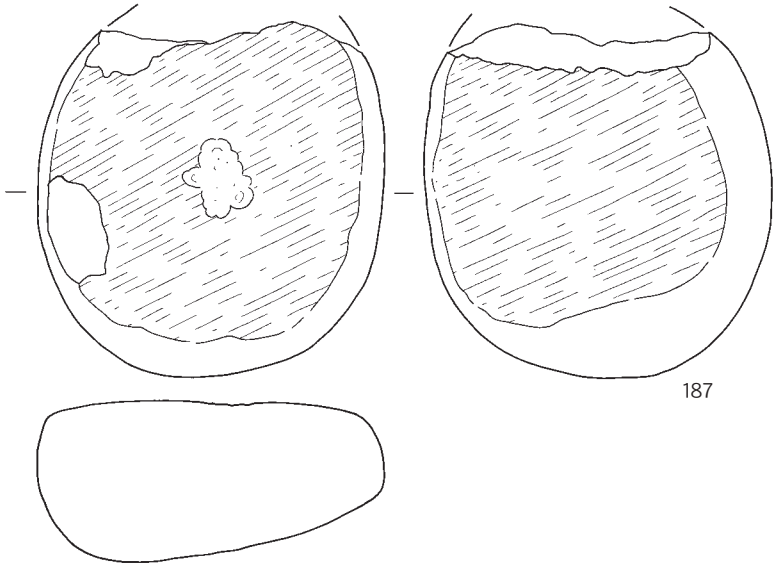
第42図　遺構外出土石器（15）

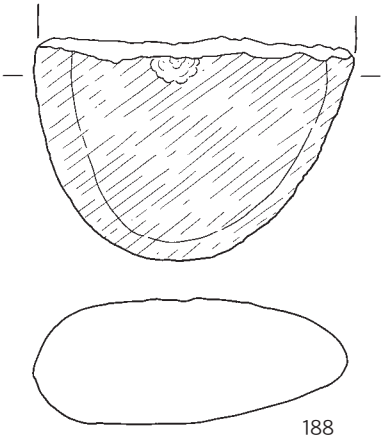


第43図　遺構外出土石器（16）

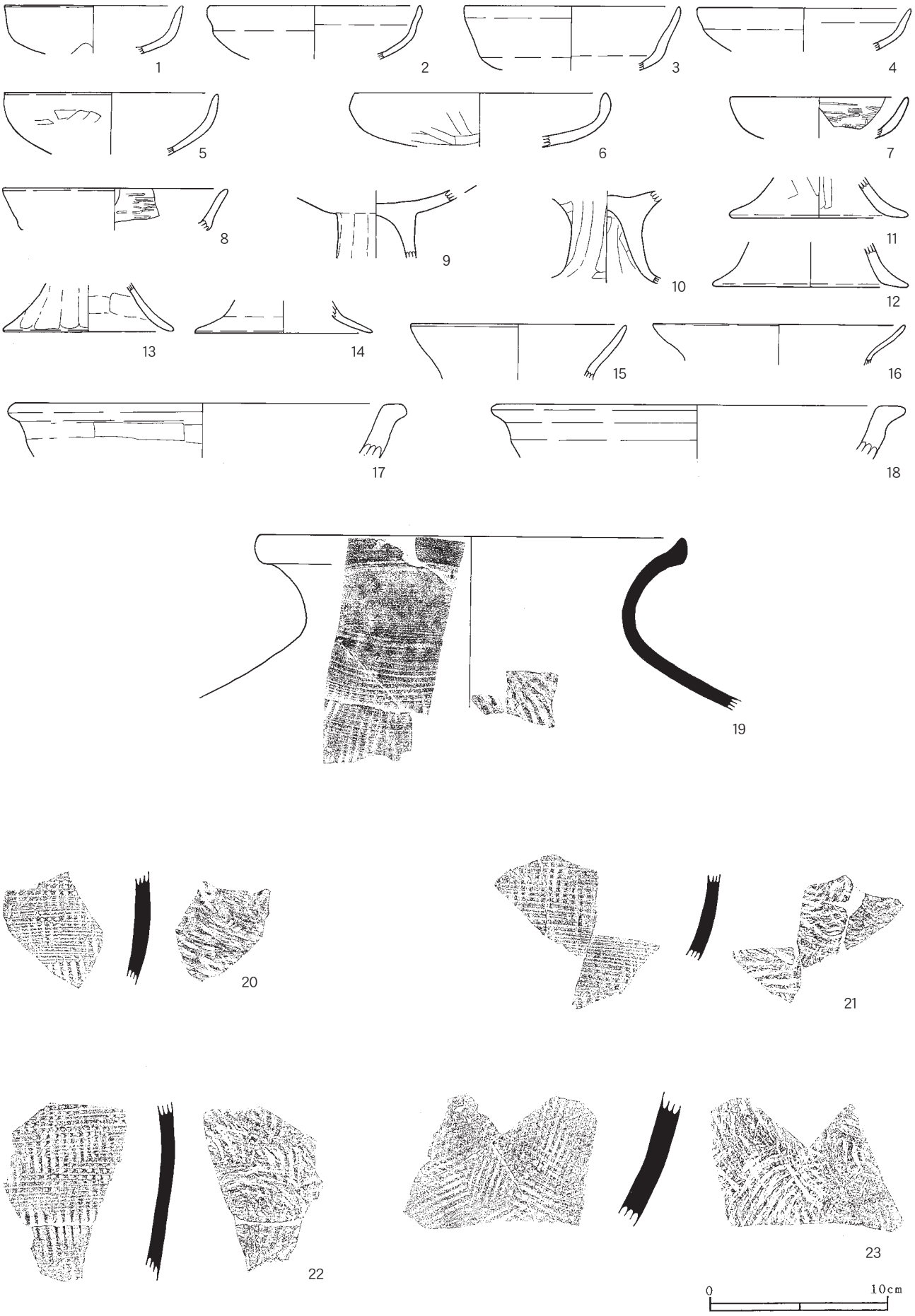




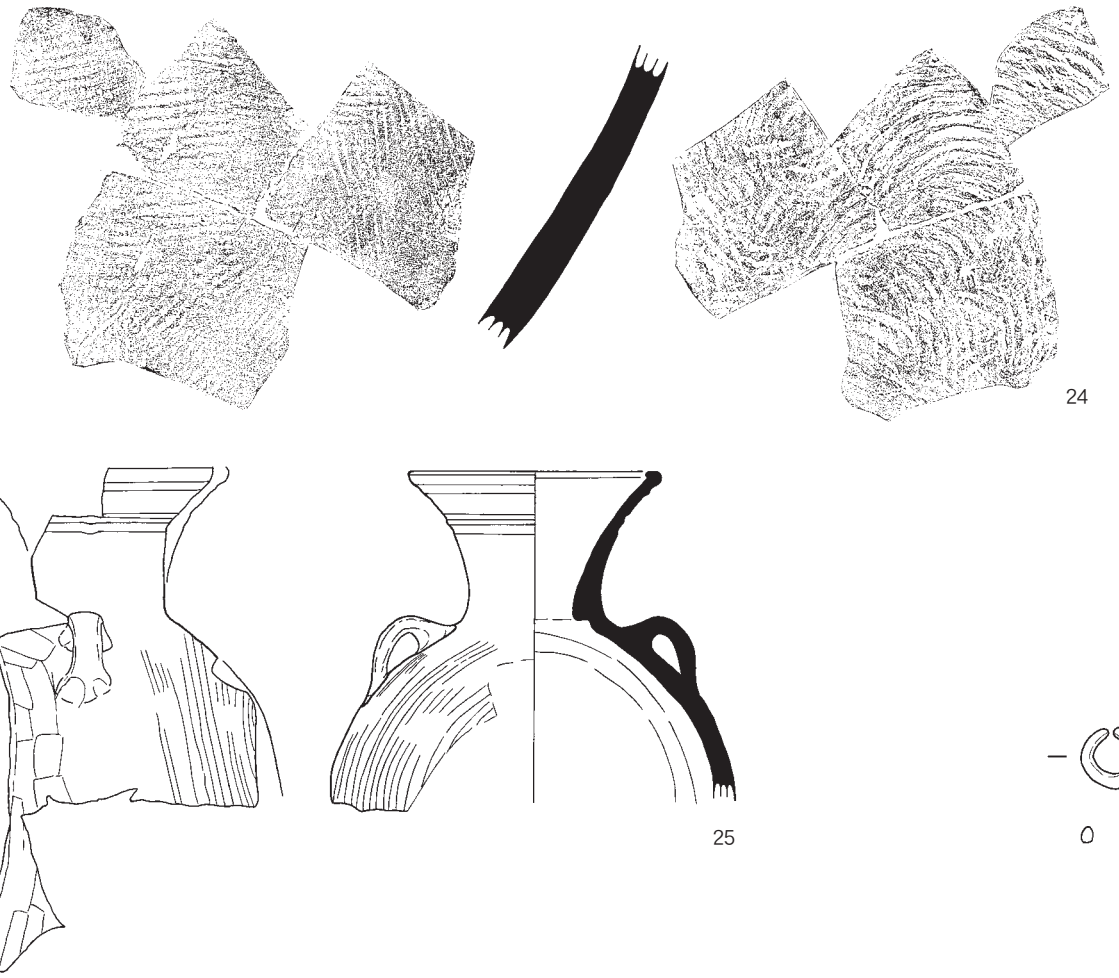




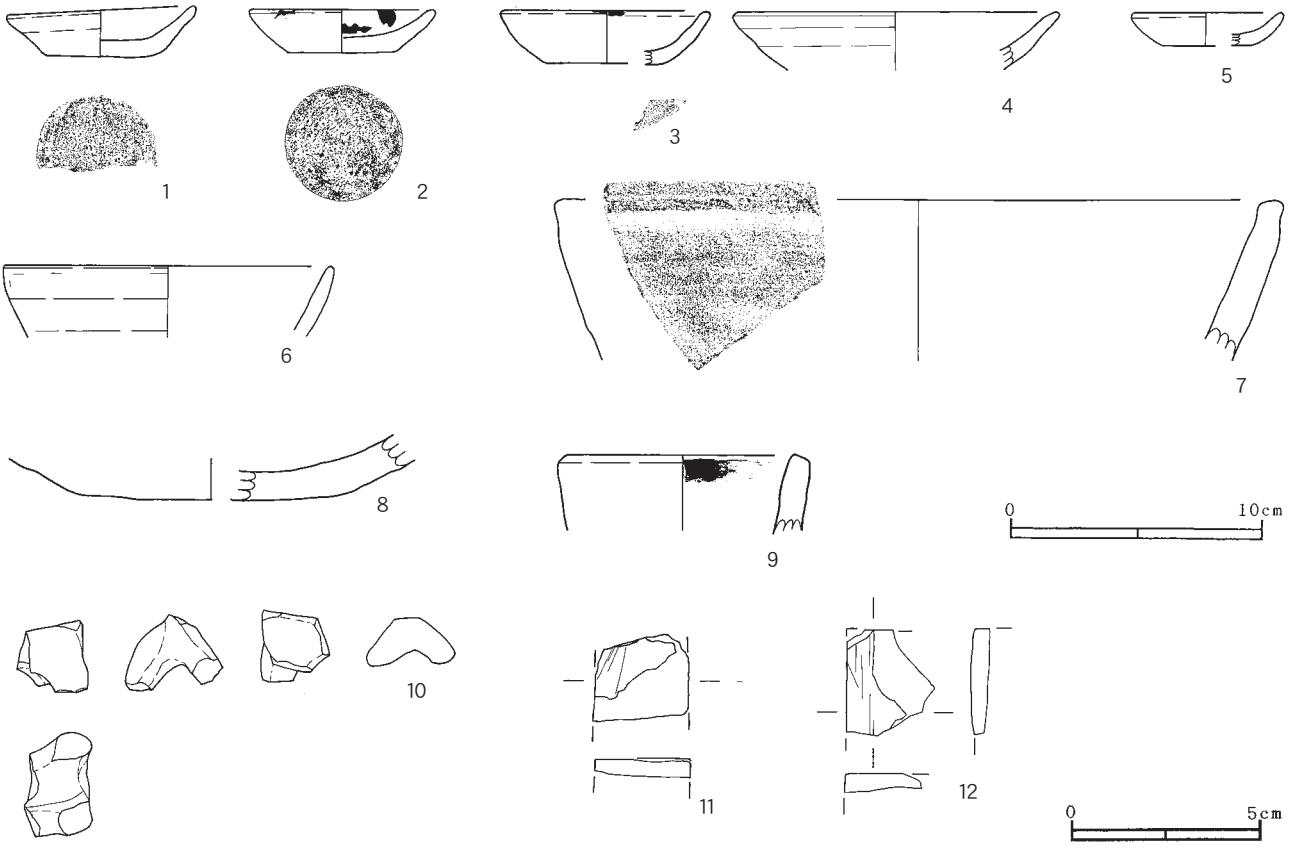
第44図　遺構外出土石器（17）



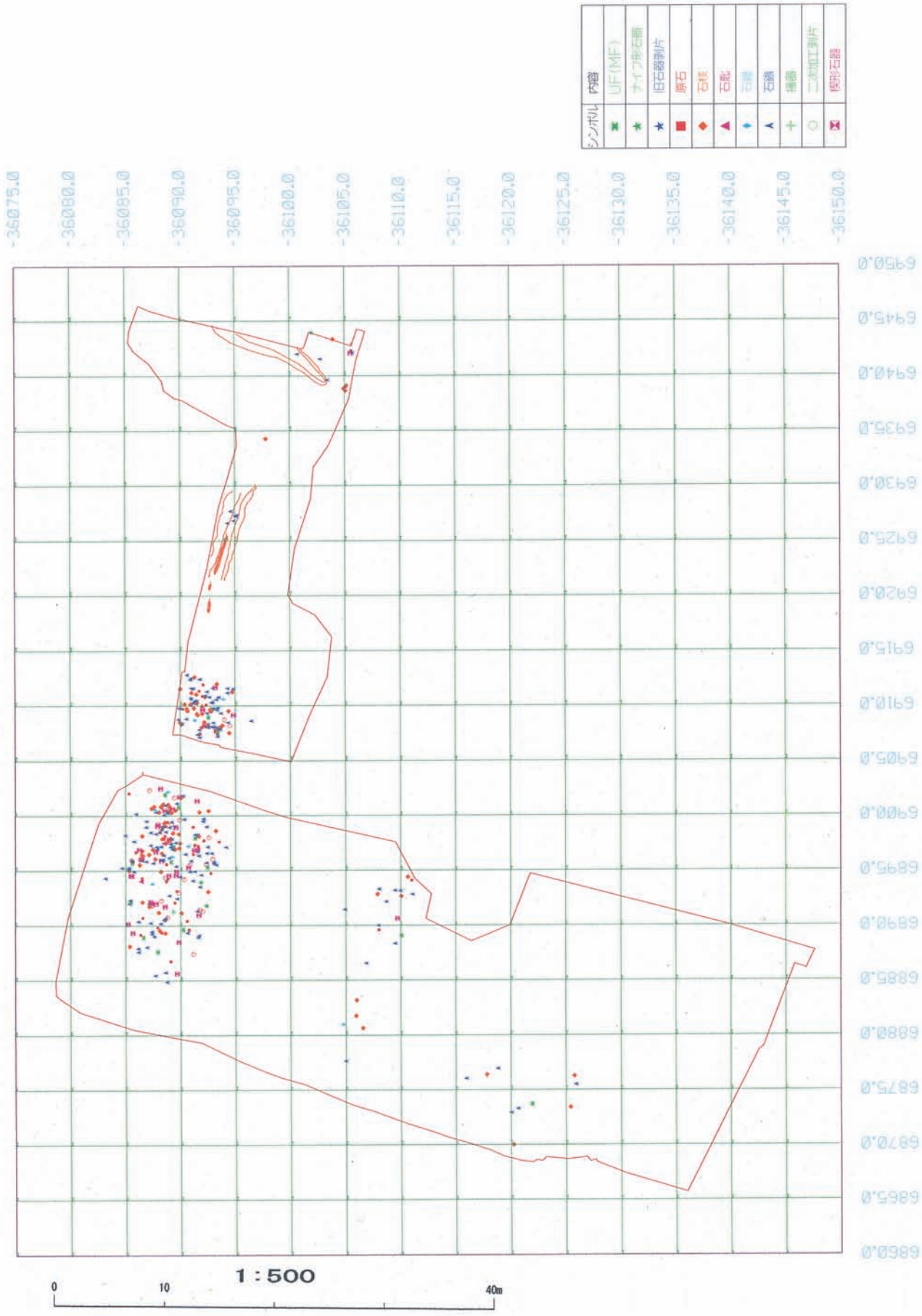
第45図　古墳時代出土遺物（1）



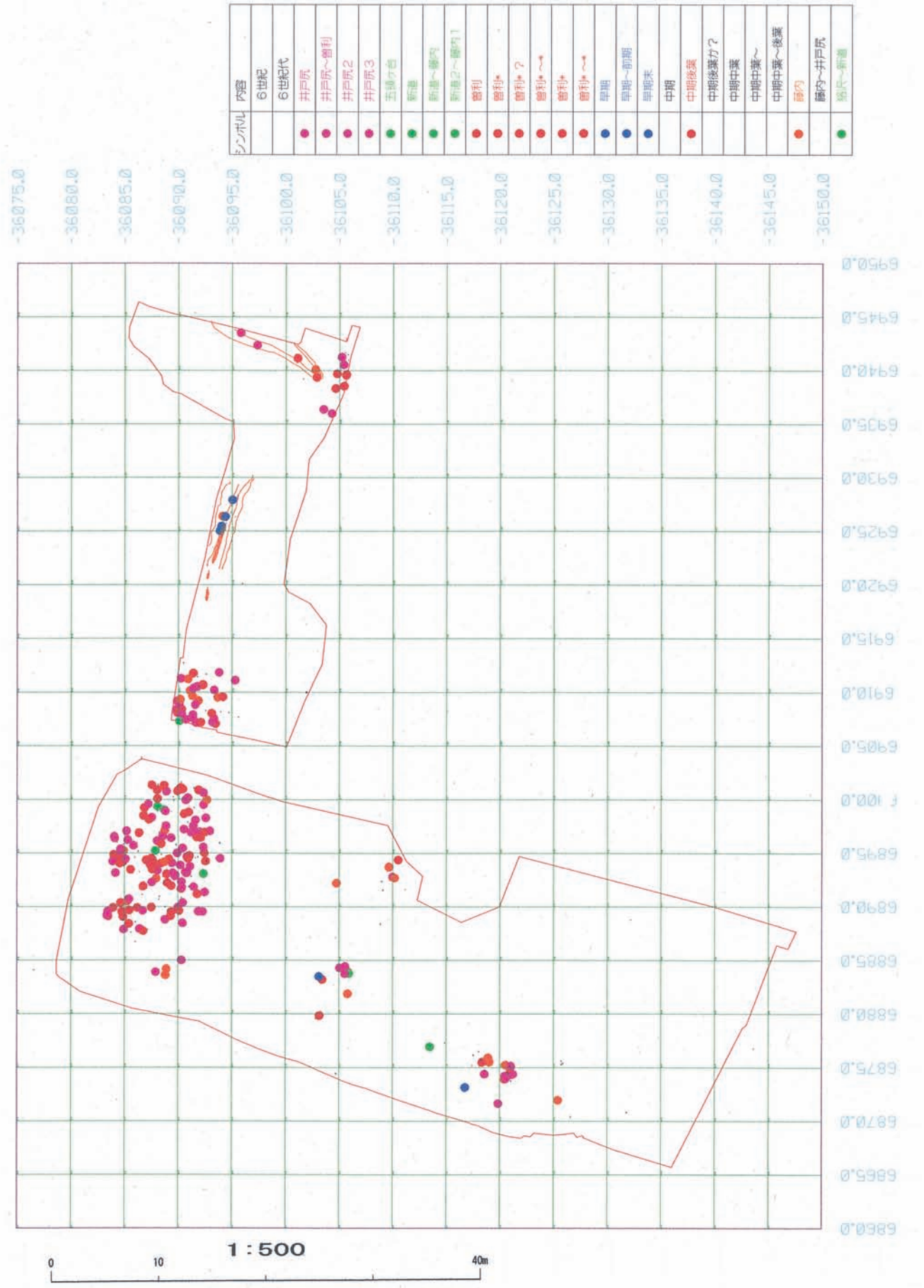
第46図　古墳時代出土遺物 (2)



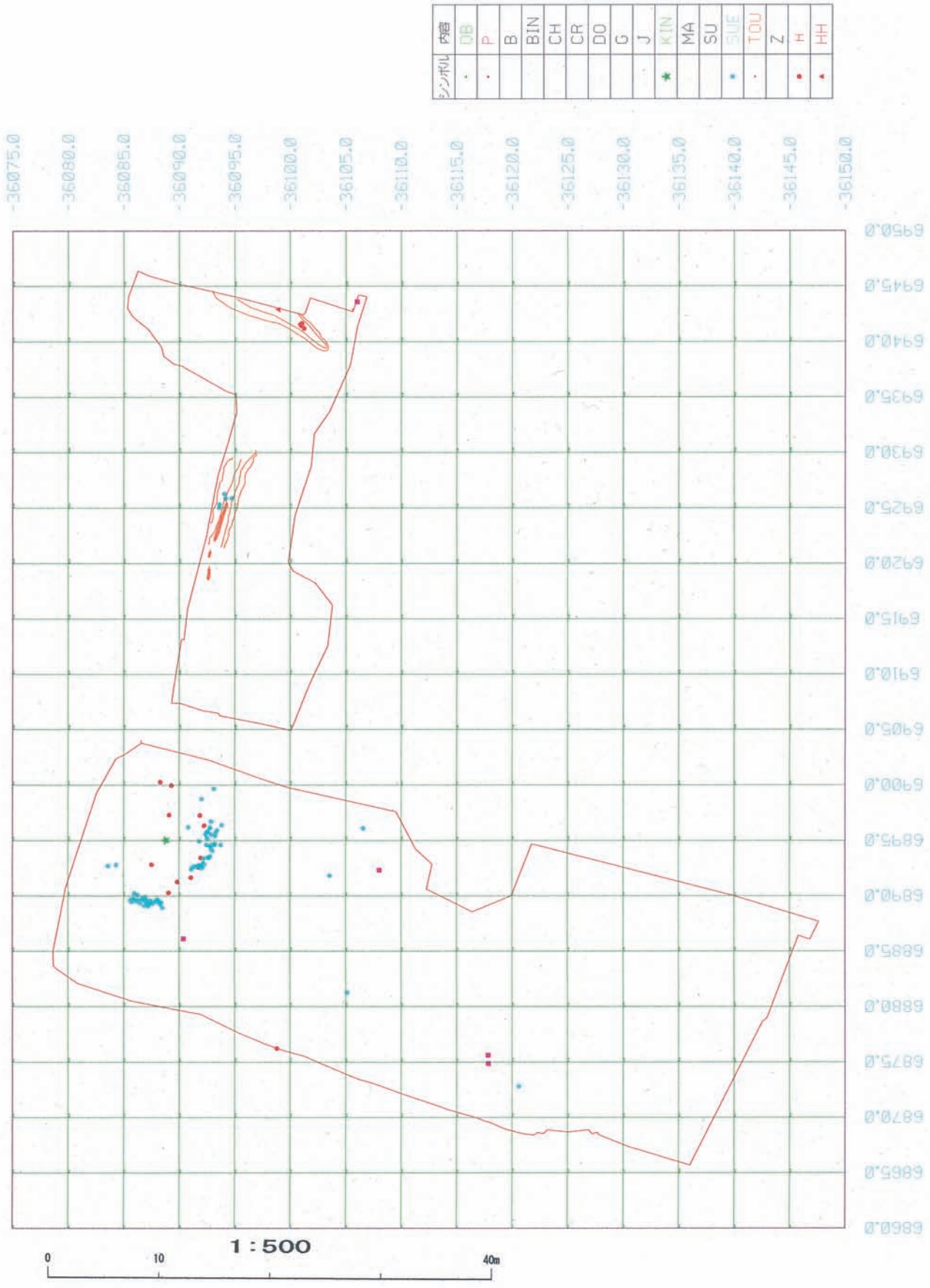
第47図　中世以降出土遺物



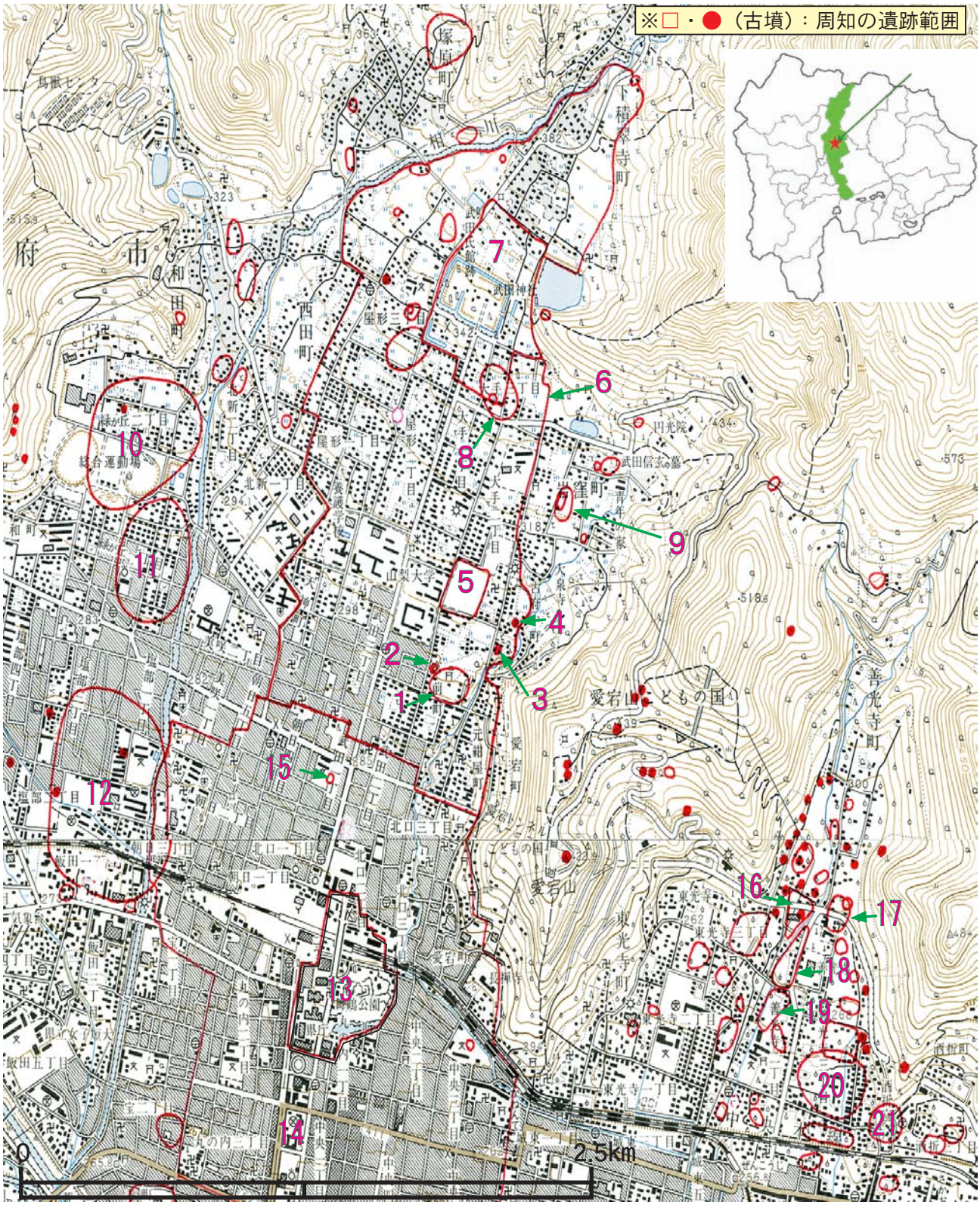
第48図　旧石器・縄文石器分布図



第49図　縄文土器分布図



第50図　古墳時代遺物分布図



1.八幡神社遺跡（縄文・古墳～近代）　2．山八幡古墳　3．うなり塚古墳　4．コツ塚古墳　5．山梨大学遺跡（奈良・平安）　6．武田城下町（中世）　7．武田氏館跡（中世）　8．大手下遺跡（縄文～平安）　9．中道西遺跡（古墳）　10．緑ヶ丘2丁目遺跡（縄文～平安）　11．緑ヶ丘1丁目遺跡（古墳）　12．塩部遺跡（弥生～近世）　13．甲府城跡（近世）　14．甲府城下町遺跡（近世）　15．新紺屋小学校遺跡（近世）　16．北原遺跡（縄文・平安）　17．善光寺裏遺跡（縄文･平安）　18．宮の脇Ａ遺跡（縄文・平安）　19．宮の前遺跡（縄文）　20．本郷遺跡（縄文・古墳）　21．酒折縄文遺跡（縄文）

第51図　周辺の遺跡（S=1/25,000）

写　真　図　版

1. 調査前全景（南から）

2. 調査区全景（南から）

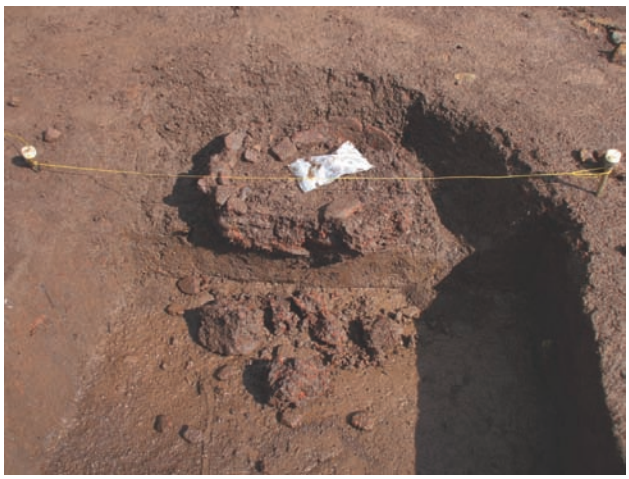
写真図版 2

1. Ｄ－ 11 北壁セクション

2. Ａ～Ｄ－４・５西壁セクション

1. Ｆ－３・４西壁セクション

2. １号埋甕検出状況



3. １号埋甕崩落状況

4. １号埋甕セクション

5. １号埋甕内土完掘状況

写真図版 4

1. 1 号ピットセクション

2. 2 号ピットセクション

3. 1・2 号ピット完掘

4. 3 号ピットセクション

5. 3 号ピット完掘

6. 4 号ピットセクション

7. 4 号ピット完掘

1. 5 号ピットセクション

2. 5 号ピット遺物出土状況

3. 5 号ピット完掘

4. 6 号ピットセクション

5. 6 号ピット遺物出土状況

6. 6 号ピット完掘

7. 7 号ピットセクション

8. 7 号ピット完掘

写真図版 6

1. 8 号ピットセクション

2. 8 号ピット完掘

3. 1 号溝セクション

4. 1 号溝中央部遺物出土状況

5. 1 号溝完掘

1. 2 号溝セクション

2. 2 号溝遺物出土状況

3. 2 号溝完掘

写真図版 8

1. C ～ E － 10・11 遺物出土状況

2. B ～ D － 5 ～ 9 遺物出土状況

1. Ｆ・Ｇ－４～７遺物出土状況

2. 土偶１遺物出土状況

3. 土偶３出土状況

4. Ｃ－６須恵器出土状況

写真図版 10

1. 旧石器

2. 縄文土器・繊維（6 ピット・1 溝）

3. 縄文土器・繊維

2. 縄文土器・押型文

5. 1 号埋甕

6. 5 号ピット出土土器（1）

7. 5 号ピット出土土器（2）

1. 土偶１（正面）

2. 土偶１（裏面）

3. 土偶１（下面）

4. 土偶１（上面）

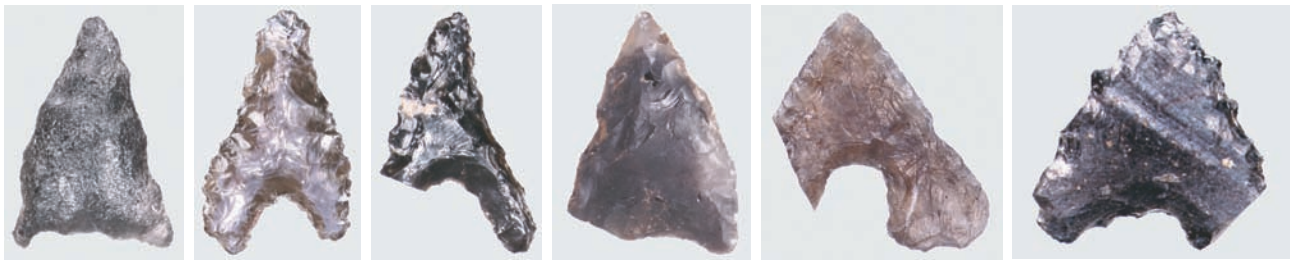
5. 土偶１（側面）

6. 土偶２（左：正面）・（右：下面）

7. 土偶３（正面）

8. 土偶３（上面）

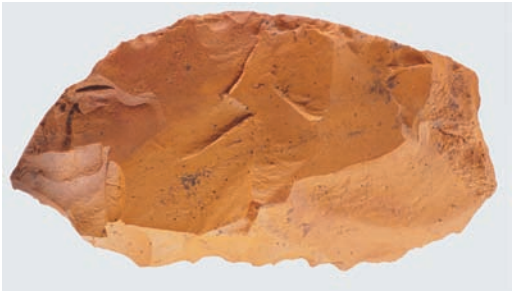
写真図版 12



1. 石鏃（黒曜石）

2. 石鏃（左：ジャスパー）・（右：水晶）

3. 石匙（ジャスパー）



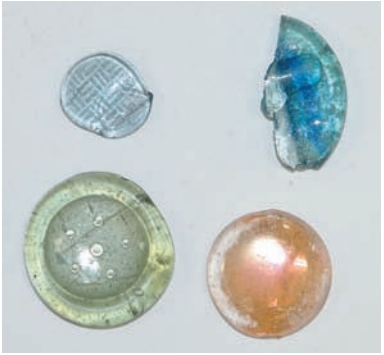
4. 掻器（黄玉石）

5. 須恵器・提瓶

6. 環（金箔）

7. 青磁（I － 3）

8. 碁石
（左：1 号ピット、右：E － 15）



9. ガラス・おはじき
（東側調査区・試掘 5 トレ）

10. 国民食器・丼（岐　1.066）
（M － 4 撹乱）

11. 陶器・卸皿
（E・F － 10）

12. ガラス・石蹴り
（東側調査区）

報告書抄録

ふりがな	はちまんじんじゃいせき
書名	八幡神社遺跡
副書名	研究棟建設事業に伴う発掘調査報告書
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第２６５集
著者名	保坂康夫・田口明子
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター
所在地	〒 400 － 1508　山梨県甲府市下曽根町 923　電話：055 － 266 － 3016
発行者	山梨県教育委員会
発行日	2010（平成 22）年 3 月 15 日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
はちまんじんじゃいせき	やまなしけんこうふしみやまえちょう	19201	242	35°40′16″	138°34′45″	2008（平成 20）年 7 月 1 日～ 10 月 10 日	2,200㎡	研究棟建設事業に伴う発掘調査
八幡神社遺跡	山梨県甲府市宮前町 6 － 43							

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
八幡神社遺跡	遺物散布地 石器製作跡 古墳	旧石器・縄文・古墳・平安・中世・近世	埋甕・ピット・溝	石器・土器・土偶・土師器・須恵器・陶磁器等	旧石器の出土。縄文時代の石鏃製作跡。古墳 1 基。

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第２６５集

八幡神社遺跡

研究棟建設事業に伴う発掘調査報告書

印刷日　2010（平成 22）年 3 月 10 日
発行日　2010（平成 22）年 3 月 15 日
編　集　山梨県埋蔵文化財センター
　　山梨県甲府市下曽根町 923　電話：055 － 266 － 3016
発　行　山梨県教育委員会
印　刷　株式会社　峡南堂印刷所